

2024年度 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 単位互換科目シラバス

滋賀大学	
1. 福祉と教育	2
2. 日本と世界の文化	4
3. 近江の歴史	6
4. 経営学からの問い	7
5. 線形代数への招待	10
6. 言語と文化	12
7. 現代社会と法	14
8. 現代の諸問題	16
9. 環境問題を学ぶ	18
10. データサイエンス・AIへの招待	20
滋賀医科大学	
11. 医療イノベーションの基礎	22
滋賀県立大学	
12. おうみ学生未来塾（湖東）	24
13. SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション 近江の暮らしとなりわい	25
14. 地域コミュニケーション論	26
15. びわこ環境行政論	27
16. 地域産業・企業から学ぶ社長講義	28
滋賀短期大学	
17. 近江学入門	29
18. 数の不思議	30
19. 地域ビジネス論	31
滋賀文教短期大学	
20. 古典文学講読Ⅱ	32
21. 文学と地域	34
22. 地域の歴史と民俗文化	36
23. 書道Ⅰ	38
成安造形大学	
24. 近江学B(おうみ学生未来塾（湖西）)	40
25. 東洋・日本美術史概説A	41
26. 東洋・日本美術史概説B	42
27. 西洋美術史概説A	43
28. 西洋美術史概説B	44
29. デザイン史概説A	45
30. デザイン史概説B	46
聖泉大学	
31. 哲学	47
32. 心理学概論A	49
33. 基礎看護論	51
34. 成人看護論	52
長浜バイオ大学	
35. 生物学基礎	53
36. 基礎微生物学	54
37. 遺伝子工学	55
38. 近江でのSDGsの実践	56
びわこ学院大学	
39. 子ども学総論	58
40. 滋賀の環境	59
41. スポーツ生理学Ⅱ	60
42. メンタルトレーニング論	61
43. レクリエーション論	62
44. 生活と福祉	63
びわこ成蹊スポーツ大学	
45. 栄養と健康	64
46. スポーツ社会学概論	65
47. レジャー・レクリエーション論	66
48. スポーツバイオメカニクス概論	67
びわこリハビリテーション専門職大学	
49. 神経科学総論A	68
50. 神経科学総論B	69
立命館大学	
51. スポーツマネジメント概論	70
52. 経済学特殊講義Ⅱ	72
（金融・証券分析基礎）	
53. 生命科学概論	74
54. 近現代の科学技術（G1）	76
55. 薬学概論	78
龍谷大学	
56. 里山学	80
57. 環境の科学	82
58. 生活の中の数学	84
59. 社会人類学	86
60. びわ湖・滋賀学	88
61. 環境社会学	90
62. コミュニティ論	92
63. 社会貢献論	95
64. 植物生理・生化学Ⅰ	99
65. 食の文化論	101

科目番号	1	科目名	福祉と教育	
英文科目名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連絡先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担当教員	平松 紀代子 (教育 学部 准教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	大津キャンパス:第24講義室 彦根キャンパス:第14講義室	会場	大津キャンパス(彦根でも受講可)	
授業期間	2024年4月10日(水)～2024年7月17日(水) <毎週水曜日> 3 時限・講時 12 : 50 ~ 14 : 20			
超過時の選考方法	書類により選考			
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%
	レポート試験 (期末)			%
	平常点 (出席・授業態度)			%
	その他	(各種提出物、小テスト、期末レポートによって評価します。その割合は1:1:1です。詳細は学期が始まってから授業内でお伝えします。)	100	%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標></p> <p>【授業の目的と概要】 日本における社会福祉制度の成立過程を歴史的にたどりつつ、社会福祉の理念を学び、現代社会における社会福祉の担うべき役割および社会的意義について基本的知識の修得を目的とする。</p> <p>【授業の到達目標】 社会福祉施策の今日的課題を学びつつ、身近な社会福祉施策に目配りする。 具体的には①社会福祉の理念を理解、②社会福祉制度の成立過程を理解、③システム論的な視点を習得、④障がいのある人、高齢者、女性、子どもなど時に社会的に弱い立場におかれる人あるいは当事者として、他者にどのように寄り添うことができるのか自問する視点を育む。</p> <p>【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 現代の社会福祉に関わる問題を身近に感じるために、ボランティア活動に主体的に関わることや新聞・ニュース記事を毎日読むことを心がけてください。 毎週の事後学習として、授業内容振り返りリアクションペーパーを記述し、定期的に提出することが求められます。リアクションペーパーは初回から記入してもらいますので、授業初回までに研究室(B棟277付近の棚の上に留置しています)に取りにきてください。 事前学習2時間、事後学習2時間</p> <p><授業スケジュール></p>			
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月10日	ガイダンス		
2	4月17日	社会福祉の理念		
3	4月24日	社会福祉の体系と流れ		
4	5月1日	社会福祉の歴史的展開		
5	5月8日	理念を实践した人物①マザーテレサ		
6	5月15日	福祉の理念を实践した人物②井深八重		
7	5月22日	ソーシャルワーク		

8	5月29日	システム論的アプローチ①客観的な視点を持つ
9	6月5日	システム論的アプローチ②ジェノグラム・エコマップを描く
10	6月12日	システム論的アプローチ③身近な事例を読み解く
11	6月19日	子どもと社会福祉
12	6月26日	リプロダクティブヘルス&ライツ
13	7月3日	障がいのある人と社会福祉
14	7月10日	バリアフリーとユニバーサルデザイン
15	7月17日	社会福祉の今後の課題

<教科書・参考書>

【教科書】

ISBN 9784623059256

書名 福祉とは何だろう

著者名 加藤博史 編著

出版社 ミネルヴァ書房

出版年 2011

科目番号	2	科目名	日本と世界の文化																			
英文科目名																						
大学・短期大学名	滋賀		大学																			
連絡先	滋賀大学学務課総務係																					
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122																		
担当教員	江崎 麻里 (教育 学部 非常勤講師)																					
実施方法	対面授業		遠隔授業 対面・遠隔併用																			
教室名	大講義室	会場	大津キャンパス																			
授業期間	2024 年 8 月 26 日 (月) ~ 2024 年 8 月 29 日 (木) <毎週 曜日> 時限・講時 8 : 50 ~ 16 : 00																					
超過時の選考方法	書類により選考																					
成績評価方法	定期試験 (筆記)	40		%																		
	レポート試験 (期末)			%																		
	平常点 (出席・授業態度)	60		%																		
	その他 ()			%																		
別途負担費用	なし		あり()円																			
その他特記事項																						
<p><講義概要・到達目標></p> <p>【授業の目的と概要】 「フランケンシュタイン」とは怪物の名前ではなく、それをつくった科学者の名前であることをご存じですか。</p> <p>この科目は、19歳のうら若きイギリス人女性が著した小説『フランケンシュタイン』を精読し、イギリスの文化を知る授業です。 大勢で集まって文学作品を読む意義は、ひとりで読んでいては気づくことのできないさまざまな「読み」(視点)を獲得することにあります。ふだん文学は読まないという人も、かの有名なモンスターがどのようにして生まれたのか、その経緯をたどりながら、異文化に親しんでみませんか。</p> <p>授業形態は「対面授業」です。 授業は、グループに分かれてディスカッションを行い、発表し、互いに評価しながら、作品を読み進めます。議論がどこに向かうのか、それは今夏集う受講生次第です。適宜、作品理解の助けとなる情報を、映像資料を軸にして紹介します。</p> <p>【授業の到達目標】 異国の文学を「読む」ことを楽しみ、その思いを明確に表現し、伝えられるようになること。また、他者の意見を理解して、さまざまな視点を獲得し、多角的な分析ができるようになること。</p> <p>【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 その場ではじめて作品を読んでいては、意見を言うことができないので、事前に作品を読了しておくことが受講条件です。英語文学ですが、页数も多く、英語を専門としていない受講生のことも考えて、教科書は日本語訳を指定しました。必ず、予習をして授業に臨みましょう。 目安として、各区分で三か所以上、おもしろいと思うところとその理由、共感するところとその理由、異国情緒を感じる場所、発見したこと、疑問点など、ノートに書き出して持ってきてください。 具体的に、初日に第一章(pp.23-66)を扱って「読み方」を実践します。詳細は、SUCCESS で連絡しますので、講義期間前と期間中は特に注意して SUCCESS を見るようにしてください。</p> <p>1時限あたり事前学習に3時間、事後学習に1時間</p>																						
<p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>8 月 26 日</td> <td>1日目 1限 作品を「読む」とはどうか 授業の目標を確認しよう</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>8 月 26 日</td> <td>1日目 2限 「小説」とは何か</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>8 月 26 日</td> <td>1日目 3限 メアリ・シェリーの人生</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>8 月 26 日</td> <td>1日目 4限 さっそく第一章(pp. 23-66)を「読んで」みよう</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>8 月 27 日</td> <td>2日目 1限 第三章から第五章まで(pp. 78-117) ディスカッションと発表</td> </tr> </tbody> </table>					回	月日	テーマ・キーワード	1	8 月 26 日	1日目 1限 作品を「読む」とはどうか 授業の目標を確認しよう	2	8 月 26 日	1日目 2限 「小説」とは何か	3	8 月 26 日	1日目 3限 メアリ・シェリーの人生	4	8 月 26 日	1日目 4限 さっそく第一章(pp. 23-66)を「読んで」みよう	5	8 月 27 日	2日目 1限 第三章から第五章まで(pp. 78-117) ディスカッションと発表
回	月日	テーマ・キーワード																				
1	8 月 26 日	1日目 1限 作品を「読む」とはどうか 授業の目標を確認しよう																				
2	8 月 26 日	1日目 2限 「小説」とは何か																				
3	8 月 26 日	1日目 3限 メアリ・シェリーの人生																				
4	8 月 26 日	1日目 4限 さっそく第一章(pp. 23-66)を「読んで」みよう																				
5	8 月 27 日	2日目 1限 第三章から第五章まで(pp. 78-117) ディスカッションと発表																				

6	8月27日	2日目 2限 身ごもる物語 当時の出産事情
7	8月27日	2日目 3限 第六章から第八章まで(pp. 117-166) ディスカッションと発表
8	8月27日	2日目 4限 人が人を裁く 死刑を執行する国
9	8月28日	3日目 1限 第十章から第十二章まで(pp. 177-209) ディスカッションと発表
10	8月28日	3日目 2限 崇高と美の起源
11	8月28日	3日目 3限 第十三章から第十五章まで(pp. 210-243)と第十七章(pp. 258-267) ディスカッションと発表
12	8月28日	3日目 4限 人は見た目が9割
13	8月29日	4日目 1限 第二十二章から第二十四章まで(pp. 327-371) ディスカッションと発表
14	8月29日	4日目 2限 フェースリ「夢魔」
15	8月29日	4日目 3限 結末を「読む」まとめの記述試験
<p><教科書・参考書></p> <p>【教科書】 ISBN 9784334752163 書名 フランケンシュタイン 著者名 シェリー 著,小林章夫 訳 出版社 Oxford University Press 出版年 2008</p> <p>【参考書】 ISBN 9780199537167 書名 Frankenstein 著者名 Shelley 出版社 Oxford University Press 出版年 2008</p> <p>【教材に対する補足情報】 教科書の小林章夫訳は読了と必携が受講条件です。 参考書の原書は、興味がある方はぜひ、入手してください。原文が必要な箇所は随時、プリントを用意します。 同じ出版社でも版が異なると、頁数・行数が異なりますので、購入の際は気をつけましょう。</p>		

科目番号	3	科目名	近江の歴史	
英文科目名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連絡先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担当教員	馬場 義弘 (教育 学部 教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	大津キャンパス:第24講義室 彦根キャンパス:第14講義室	会場	大津キャンパス(彦根でも受講可)	
授業期間	2024年10月7日(月)～2025年1月27日(月) <毎週月曜日> 4 時限・講時 14 : 30 ~ 16 : 00			
超過時の選考方法	書類により選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)			%
	平常点(出席・授業態度)			%
	その他	(毎回課する史料分析と期末レポートにより評価します。)	100	%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<p><講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 明治前期の滋賀県令をとりあげ、近代国家の形成と県政思想について論じます。 滋賀県地域に関係する史料などを紹介しながら日本史の包括的な流れも論じます。 歴史分析に必要な文献・史料の収集と活用方法についても説明します。 授業の進め方、授業資料等はサルムスに掲載します。</p> <p>【授業の到達目標】 明治前期の滋賀県政を考察することを通して、日本史の方法論について理解を深めるのが第1の目標です。歴史分析に必要な文献・史料の特徴を知り、その収集と活用方法を身につけるのが第2の目標です。</p> <p>【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 課題として、毎回、史料分析を課します。期末レポートも課しますので、授業時間以外に計60時間の学修が必要です。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	10月7日	はじめに(授業の予定)		
2	10月14日	松田道之編1:幕末の松田(尊皇攘夷運動)		
3	10月21日	松田道之編2:栗田口止刑事件		
4	10月28日	松田道之編3:開明派県令として		
5	11月4日	松田道之編4:その後の松田		
6	11月11日	籠手田安定編1:幕末の籠手田(松浦家近習として)		
7	11月18日	籠手田安定編2:五代友厚との応対		
8	11月25日	籠手田安定編3:新政府への出仕		
9	12月2日	籠手田安定編4:琵琶湖疎水問題		
10	12月9日	籠手田安定編5:その後の籠手田(元老院、島根県知事、新潟県知事)		
11	12月16日	中井弘編1:幕末の中井弘		
12	12月23日	中井弘編2:新政府への出仕、出仕後の経歴		
13	1月6日	中井弘編3:滋賀県令・滋賀県知事時代の業績		
14	1月20日	中井弘編4:滋賀県令以後の中井		
15	1月27日	おわりに 講義のまとめ		
<p><教科書・参考書> 講義の中で参考書を示します。</p>				

科目番号	4	科目名	経営学からの問い		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	滋賀			大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係				
	TEL :	0749-27-1017		FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	小野 善生 (経済 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業 <u>遠隔授業</u> 対面・遠隔併用				
教 室 名	オンデマンド型オンライン	会場	彦根キャンパス		
授 業 期 間	2024 年 4 月 12 日 (金) ~ 2024 年 7 月 19 日 (金) <毎週 金曜日> 5 時限・講時 16 : 10 ~ 17 : 40				
超過時の選考方法	書類により選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			70	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			30	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	そ の 他 ()				%
別 途 負 担 費 用	<u>なし</u>			あり()円	
そ の 他 特 記 事 項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の目的と概要】					
本講義では、組織の「まとめ役となる管理者(マネジャー)には何が求められるのかについて、リーダーシップ論、管理者行動論、その他、関連する諸概念の観点から明らかにしていくことを目的とします。具体的には、管理者行動論の諸研究をはじめ、マネジメントの基礎概念、組織論における人間モデルの変遷、リーダーシップ論における諸研究アプローチを取り上げて説明します。なお、本講義の受講に関しては、組織行動論、経営組織論、経営管理論、人的資源管理論を受講していることが望ましいです。					
【授業の到達目標】					
この授業では、滋賀大学経済学部のディプロマポリシーである「企業経営についての制度や歴史についての基礎的な知識をもっている」、「企業や経営に関する事象を理解するための多くの考え方を習得している」、「広い視野に立って、企業経営、組織の意義、人々の協働の重要性を理解し、それらのあるべき姿についての意見を述べることができる」ことに基づいています。具体的には、管理者(マネジャー)として求められる行動および基本的な考え方を理解することを到達目標とします。					
【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】					
予習・復習の内容については授業時に適宜指示します。事前学習については次週の講義に該当するテキストの章を精読する。そして、参考文献において該当する章もあわせて精読し、予習してもらいます。事後学習については、講義に該当する章を精読して復習し、次週分の章に該当するテキストおよび参考文献の章を精読して次週分の予習をしてください。事前、事後学習を合計して2時間程度の学習時間を要します。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4 月 12 日	イントロダクション 本講義の概要を説明します。また、管理者行動論の中核的概念である、管理者(マネジャー)、マネジメント、リーダーシップについて説明します。			
2	4 月 19 日	組織論における人間観の変遷 管理者(マネジャー)が人を動かすにあたって、どのような人間観に基づいて思考、行動していたのかについて説明します。			
3	4 月 26 日	リーダーシップの基礎概念 リーダーシップの定義の変遷、リーダーが生成するパターン、リーダーシップとパワーの違いについて関連する諸研究にもとづいて説明します。			

4	5月10日	初期リーダーシップ論 ここでは、初期のリーダーシップ研究における代表的アプローチである資質アプローチと行動アプローチに解説します。
5	5月17日	リーダーシップと状況要因 行動アプローチの次に登場した状況に応じてリーダーシップ・スタイルを変える状況アプローチに属する諸研究について解説します。
6	5月24日	カリスマ的リーダーシップとリーダーシップの幻想 カリスマ的リーダーシップについて、カリスマの概念、カリスマ的リーダーシップの代表的研究、そして、カリスマ的リーダーシップを批判的に論じているリーダーシップの幻想について代表的研究に基づいて解説します。
7	5月31日	変革型リーダーシップと組織変革 組織変革を導く変革型リーダーシップの主要研究および組織変革に関する代表的研究を解説します。
8	6月7日	制度的リーダーシップとサーバントリーダーシップ トップリーダーのリーダーシップについて論じた制度的リーダーシップおよび制度的リーダーシップの影響を受けたアプローチであるサーバントリーダーシップについて説明します。
9	6月14日	オーセンティックリーダーシップと企業倫理 リーダーの真正さを論じたオーセンティックリーダーシップ、オーセンティックリーダーシップと深く関係する企業倫理について説明します。
10	6月21日	リーダーシップ研究の最前線 ここでは、昨今注目されているフォロワーの多様性を尊重するインクルーシブリーダーシップとフォロワーの心理的安全性を担保するセキュアベースドリーダーシップについて解説します。
11	6月28日	リーダーシップ開発論 リーダーシップを発揮できる人材を育成するリーダーシップ開発論に関連する諸研究について解説します。
12	6月29日	フォロワーの目から見たリーダーシップ リーダーシップ論においてフォロワーの視点を重視したフォロワー主体アプローチに属する諸研究について説明します。
13	7月5日	フォロワーシップ リーダーをサポートして目標達成に貢献するためにフォロワーに求められる思考や行動であるフォロワーシップについて説明します。
14	7月12日	管理者行動論 I 管理者行動論の代表的論者であるコッターの諸研究について解説します。
15	7月19日	管理者行動論 II 管理者行動論の代表的論者であるミンツバーグの諸研究について解説します。

<教科書・参考書>

【教科書】

ISBN 4502259713

書名 リーダーシップ徹底講座-すぐれた管理者を目指す人のために-

著者名 小野善生

出版社 中央経済社

出版年 2018年

【参考書】

ISBN 9784534050342

書名 最強のリーダーシップ理論集中講義：コッター、マックス・ウェーバー、三隅二不二から、ベニス、グリーンリーフ、ミンツバーグまで

著者名 小野善生 著,

出版社 日本実業出版社

出版年 2013

ISBN 9784532110536

書名 リーダーシップ入門

著者名 金井壽宏 著,

出版社 日本経済新聞社

出版年 2005

【教材に対する補足情報】

基本的に教科書に基づいて講義を進めていきますが、予習および復習においては参考書を積極的に活用してください。なお、教科書および参考書については、原則として購入してください。

科目番号	5	科目名	線形代数への招待																							
英文科目名																										
大学・短期大学名	滋賀			大学																						
連絡先	滋賀大学学務課総務係																									
	TEL :	0749-27-1017		FAX :	0749-24-5122																					
担当教員	笛田 薫			(データサイエンス 学部 教授)																						
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用																							
教室名	オンデマンド型オンライン	会場	彦根キャンパス																							
授業期間	2024 年 4 月 9 日 (火) ~ 2024 年 7 月 16 日 (火) <毎週 火曜日> 2 時限・講時 10 : 30 ~ 12 : 00																									
超過時の選考方法	書類により選考																									
成績評価方法	定期試験 (筆記)				%																					
	レポート試験 (期末)				%																					
	平常点 (出席・授業態度)				%																					
	その他 (各講義中に出題する課題のみで評価する。期末試験は行わない。)	100			%																					
別途負担費用	なし			あり()円																						
その他特記事項																										
<p><講義概要・到達目標></p> <p>【授業の目的と概要】 オンデマンドとオンラインを併用します。 講義の説明はオンデマンドです。URLは新年度に入ったらここに掲載します。 講義動画に関する質問は火曜日2限にオンラインで受付・回答します。 オンラインのzoom URLはsulmsに掲載します。</p> <p>目的 多変量解析法や機械学習法を理論的に理解するために必須となる線形代数の基本的事項を概念的に理解する。 秋期の線形代数では、数理的に理解することを目的とする。</p> <p>概要 データサイエンスで用いられる多くの手法の数理的なモデルを表すためには、行列を用いた表現がしばしば用いられる。本講義では行列を用いた表現を概念的に理解するために線形代数の基礎について学ぶ。</p> <p>【授業の到達目標】 1.行列の基本的操作と計算ができる 2.ベクトル空間や線形変換などの基礎的概念を理解する 3.逆行列、行列式、固有値・固有ベクトルの計算ができる 4.多変量解析法や機械学習法で頻出する対称行列の性質を理解する</p> <p>【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 講義の動画を繰り返し見ておくこと。 毎回の講義中に、講義に関する課題を出題するので次々回までに提出すること。</p>																										
<p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4 月 9 日</td> <td>ベクトルと行列</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4 月 16 日</td> <td>行列の演算</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4 月 23 日</td> <td>単位行列・逆行列・正則行列</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4 月 30 日</td> <td>連立一次方程式</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5 月 7 日</td> <td>逆行列の求め方</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5 月 14 日</td> <td>Cauchy-Schwarzの不等式</td> </tr> </tbody> </table>						回	月日	テーマ・キーワード	1	4 月 9 日	ベクトルと行列	2	4 月 16 日	行列の演算	3	4 月 23 日	単位行列・逆行列・正則行列	4	4 月 30 日	連立一次方程式	5	5 月 7 日	逆行列の求め方	6	5 月 14 日	Cauchy-Schwarzの不等式
回	月日	テーマ・キーワード																								
1	4 月 9 日	ベクトルと行列																								
2	4 月 16 日	行列の演算																								
3	4 月 23 日	単位行列・逆行列・正則行列																								
4	4 月 30 日	連立一次方程式																								
5	5 月 7 日	逆行列の求め方																								
6	5 月 14 日	Cauchy-Schwarzの不等式																								

7	5月21日	ベクトル空間
8	5月28日	ベクトル空間の基底と次元
9	6月4日	正規直交基底
10	6月11日	線形写像
11	6月18日	射影・ランク
12	6月25日	行列式
13	7月2日	行列式の応用
14	7月9日	固有値・固有ベクトル・行列の対角化
15	7月16日	発展的内容

<教科書・参考書>

【教科書】

ISBN 9784065169988

書名 データサイエンスのための数学

著者名 椎名 洋 著・文・その他, 姫野 哲人 著・文・その他, 保科 架風 著・文・その他, 清水 昌平 編集, 椎名 洋, 姫野 哲人, 保科 架風, 清水 昌平,

出版社 講談社

出版年 2019-11-01

【教材に関する補足情報】

2010年からパワーポイントを用いて講義しています。以前の講義スライドの一部は

<https://fuedakaoru.blogspot.com/>

にて公開しており、このページは「しがないID」が無くても見られます。以前用いた教科書が手に入らなくなったので説明の方法・順番は変更しますが、学ぶ内容は同じです。

科目番号	6	科目名	言語と文化	
英文科目名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連絡先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担当教員	真鍋 晶子 (経済 学部 教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	彦根キャンパス:第14講義室 大津キャンパス:第24講義室	会場	彦根キャンパス(大津でも受講可)	
授業期間	2024年10月2日(水)～2025年1月22日(水) <毎週水曜日> 4 時限・講時 14 : 30 ~ 16 : 00			
超過時の選考方法	書類により選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)	%		
	レポート試験(期末)	%		
	平常点(出席・授業態度)	%		
	その他(定期試験と課題の総合評価)	100 %		
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
【授業の目的と概要】 詩や劇はわけが分からない、役に立たないと思われることが多いですが、そうではなく、誰もが楽しめ、モノの見方に新しい光をあててくれると実感できるようになります。 基本的に講義形式で、英語と日本語で書かれた詩と劇を味わいます。 アメリカ、アイルランドで19～21世紀に活躍する文学者が、日本の文学や芸能との出会い、つまり、「異文化」との接触により、異なるものの見方を排除せずに受け入れ、自らの視界・視点・生きる世界を新たに豊かにする様を考えます。それをきっかけに、戦争、平和、自然、命など今を生きる私たちの問題も考えます。 講義形式とはいえ、学生のみなさんの意見や感じたことのやりとりも授業に組み入れます。				
【授業の到達目標】 授業中に扱う詩、劇、散文、そのほかの芸術を通じて、受講以前には考えていなかったり、感じていなかったことに気づき、自分自身で考え、感じる力を養いましょう。また、アメリカ、アイルランド、日本の文化の違いを「ことば」をキーワードに自分なりに感得します。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	10月2日	<Introduction 詩・文学により開かれる世界。驚き> William Wordsworth、芭蕉、三好達治など。		
2	10月9日	<ことばと文化の関係。詩のきまり(韻律、音楽など)> 日本と欧米モダニズム:伊藤道郎:NHK特集(前半)		
3	10月16日	<日本と欧米モダニズム> Ernest Fenollosa, Ezra Pound, W.B. Yeats, Lafcadio Hearn(小泉八雲)、伊藤道郎、久米民十郎、野口米次郎、賀川豊彦		
4	10月23日	<アイルランドとW.B. Yeatsの詩と劇> 神話(クー・フリンなど)、妖精、異界、ゲール語、移民		
5	10月30日	<能狂言のイエイツへの影響> ・能とイエイツの戯曲 At the Hawk's Well(『鷹の井』)、The Dreaming of the Bones(『骨の夢』)(1)		

6	11月6日	<p><能狂言のイェイツへの影響> ・能とイェイツの戯曲 At the Hawk's Well(『鷹の井』)、The Dreaming of the Bones(『骨の夢』)(2)</p>
7	11月13日	<p><能狂言のイェイツへの影響> 狂言とイェイツの戯曲 The Cat and the Moon(『猫と月』)と詩“The Cat and the Moon”(『猫と月』) ・新作狂言版、アイルランドの劇団版、映画版の『猫と月』(映像) (1)</p>
8	11月20日	<p><能狂言のイェイツへの影響> 狂言とイェイツの戯曲 The Cat and the Moon(『猫と月』)と詩“The Cat and the Moon”(『猫と月』) ・新作狂言版、アイルランドの劇団版、映画版の『猫と月』(映像) (2)</p>
9	11月27日	<p><能狂言のイェイツへの影響> 大蔵流狂言師松本薫先生(狂言版『猫と月』演出と出演)による特別講義 ※日程変更の可能性あり</p>
10	12月4日	<p><ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)(1)> ・ハーンについて ・「日本海の海岸にて」(『鳥取の布団』)、『雪女』、『耳なし芳一』など</p>
11	12月11日	<p><ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)(2)> ・ハーンについて ・「日本海の海岸にて」(『鳥取の布団』)、『雪女』、『耳なし芳一』など</p>
12	12月18日	<p><ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)(3)> ・「日本海の海岸にて」(『鳥取の布団』)、『雪女』、『耳なし芳一』など ・新作狂言版、朗読のしらべ、映像作品</p>
13	1月8日	<p><ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)(4)> ・「日本海の海岸にて」(『鳥取の布団』)、『雪女』、『耳なし芳一』など ・新作狂言版、朗読のしらべ、映像作品</p>
14	1月15日	<p><ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)(5)> 小泉凡先生(小泉八雲曾孫・島根県立大学名誉教授・小泉八雲記念館館長)による特別講義</p>
15	1月22日	伊藤道郎:NHK特集(後半) & まとめ

<教科書・参考書>

基本的には授業中に資料をプロジェクターで提示し、そのなかから、配布可能なものを、授業後PDFやWord fileでSULMSIにアップします。また、一部、授業中にプリントも配布します。参考文献、参考資料は授業中に指示します。
 図書館の私のコーナーも見てください。

科目番号	7	科目名	現代社会と法	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	坂田 雅夫		(経済 学部 教授)	
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	未定	会場	彦根キャンパス	
授 業 期 間	2024 年 10 月 3 日 (木) ~ 2025 年 1 月 23 日 (木) <毎週 木曜日> 2 時限・講時 10 : 30 ~ 12 : 00			
超過時の選考方法	書類により選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
	その他 (定期試験と小テストの総合評価)		100	%
別 途 負 担 費 用	なし		あり () 円	
そ の 他 特 記 事 項				
<講義概要・到達目標>				
【授業の目的と概要】				
授業題目「いろいろな法律の役割」 この講義の目的な様々な法律が社会で果たしている役割を理解することである。 この講義では様々な法律の代表的な事例を取り上げることによって、いろいろな法律が社会でどのような役割を果たしているのかを話していく。 この講義は対面で開講する。				
【授業の到達目標】				
様々な法律の特徴について理解する。 この講義は滋賀大学経済学部のディプロマ・ポリシーの多くと関わりがあり、とくに「社会に関わる多様な学問に接し、広い知識と基礎的な考え方を習得している。」に関係している。				
【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】				
予習・復習についてはSULMSで別途文献一覧を配布予定である。 基本的には授業計画に書いている教科書の該当章を読むことが予習として求められている。復習には文献一覧を参考に各自関連文献を読み込むこと。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	10月3日	ガイダンス		
2	10月10日	国内裁判入門:ドラマから見てみる日本の裁判(序章第2節)		
3	10月17日	民法1(さあ、〇〇さんを裁判に訴えてみよう)(第3章、とくに第4節)		
4	10月24日	民法2(結婚、離婚、遺産)(第2章)		
5	10月31日	刑事法(警察に捕まった大変だ...)(第5章)		
6	11月7日	憲法1(国際法1)人権(私たちはどんな権利を持っているのか)(第1章)		
7	11月14日	憲法2 内閣、国会、裁判所、予算、財政(第6章、教科書には書かれていないことも多いので別途指示)		
8	11月21日	労働法(第4章)・環境法(別途指示)		
9	11月28日	会社法・経済法(別途指示)		
10	12月5日	質問受付		
11	12月12日	国際法入門(第7章)		

12	12月19日	戦争と国際法(別途指示)
13	1月9日	海洋法・日本の抱える領土問題(別途指示)
14	1月16日	国際裁判(別途指示)
15	1月23日	まとめ・質問受付
<p><教科書・参考書></p> <p>【教科書】 ISBN 9784641184046 書名 判例法学 著者名 西村健一郎,西井正弘,初宿正典・執筆代表,ニシムラケンイチロウ,ニシイマサヒロ,シヤケマサリ, 出版社 有斐閣 出版年 2012</p> <p>ISBN 9784641009240 書名 ポケット六法, 令和6年版 著者名 佐伯, 仁志, 1958-,大村, 敦志, 1958-,荒木, 尚志, 1959-,佐伯仁志, 大村敦志, 荒木尚志 編集代表 出版社 有斐閣 出版年 2023.9</p> <p>【教材に対する補足情報】 教科書に指定している「判例法学」はすでに10年以上前の本になっている。ただ教科書と判例集の性格を同時に持つ所として便利であり、この講義の教科書として指定しておく。もちろんこの10年であった新しい判例の動向などについては、別途フォローする。</p>		

科目番号	8	科目名	現代の諸問題		
英文科目名					
大学・短期大学名	滋賀		大学		
連絡先	滋賀大学学務課総務係				
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122	
担当教員	佐野 洋史		(経済 学部 教授)		
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	未定	
教室名	未定	会場	彦根キャンパス		
授業期間	2024 年 10 月 1 日 (火) ~ 2025 年 1 月 21 日 (火) <毎週 火曜日> 3 時限・講時 12 : 50 ~ 14 : 20				
超過時の選考方法	書類により選考				
成績評価方法	定期試験 (筆記)		%		
	レポート試験 (期末)		%		
	平常点 (出席・授業態度)		%		
	その他 (定期試験と平常点の総合評価)		100 %		
別途負担費用	なし		あり () 円		
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の目的と概要】					
人は日々の生活を送る中で、病気、高齢、貧困、育児、失業など、様々な問題に遭遇します。社会保障制度は、このような問題に対処し、我々の生活を支えています。しかし、社会構造の変化にともない、これまでの制度では充分に対応できない多くの問題が生まれています。この授業では、日本の社会保障制度の概要と様々な社会保障問題・政策について学び、社会保障に関する理解を深めていきます。					
【授業の到達目標】					
日本の社会保障制度の概要と問題・政策に関する基礎的な知識を身につけること。					
【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】					
予習は、「参考書」欄に挙げた書籍や、その他の社会保障に関する書籍・資料・新聞記事のうち、興味のあるものに目を通してください。復習は、授業後に公開・配布する資料の内容を覚えてください。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	10 月 1 日	オリエンテーション:日本の社会保障の概要			
2	10 月 8 日	医療:医療保険制度の概要			
3	10 月 15 日	医療:保険財政の悪化問題			
4	10 月 22 日	医療:後発医薬品の普及問題			
5	10 月 29 日	医療:社会的入院問題			
6	11 月 5 日	介護:介護保険制度の概要			
7	11 月 12 日	介護:介護難民問題			
8	11 月 19 日	介護:介護労働力不足の問題			
9	11 月 26 日	年金:年金制度の概要			
10	12 月 3 日	年金:財政悪化と世代間不公平の問題			
11	12 月 10 日	貧困:生活保護制度の概要			
12	12 月 17 日	貧困:貧困ビジネス問題			
13	1 月 7 日	保育:待機児童問題			
14	1 月 14 日	労働:非正規雇用問題			
15	1 月 21 日	社会保障と税の一体改革の概要			

<教科書・参考書>

【参考書】

ISBN 978-4-641-22215-

書名 はじめての社会保障：福祉を学ぶ人へ

著者名 棕野美智子, 田中耕太郎

出版社 有斐閣

出版年 2023.3

ISBN 978-4798033327

書名 最新社会保障の基本と仕組みがよ〜くわかる本：国民講座「みんなの社会保障」

著者名 駒村康平, 丸山桂, 齋藤香里, 永井攻治

出版社 秀和システム

出版年 2012

ISBN 978-4492444344

書名 経済学者日本の最貧困地域に挑む：あいりん改革3年8カ月の全記録

著者名 鈴木亘

出版社 東洋経済新報社

出版年 2016

ISBN 978-4532355180

書名 年金問題は解決できる!：積立方式移行による抜本改革

著者名 鈴木亘

出版社 日本経済新聞出版社

出版年 2012

ISBN 978-4062882538

書名 社会保障亡国論

著者名 鈴木亘

出版社 講談社

出版年 2014

ISBN 978-4103517115

書名 経済学者、待機児童ゼロに挑む

著者名 鈴木亘

出版社 新潮社

出版年 2018

ISBN 978-4492701249

書名 「社会的入院」の研究：高齢者医療最大の病理にいかに対処すべきか

著者名 印南一路

出版社 東洋経済新報社

出版年 2009

ISBN 978-4121024299

書名 保育園問題：待機児童、保育士不足、建設反対運動

著者名 前田正子

出版社 中央公論新社

出版年 2017

ISBN 978-4569847733

書名 社会保障と財政の危機

著者名 鈴木亘

出版社 PHP研究所

出版年 2020.11

【教材に関する補足情報】

教科書は指定しません。「参考書」欄の書籍などを基に作成した資料(パワーポイント)を用いて授業を進めます。授業で用いた資料は、授業後に公開・配布する予定です。

科目番号	9	科目名	環境問題を学ぶ		
英文科目名					
大学・短期大学名	滋賀			大学	
連絡先	滋賀大学学務課総務係				
	TEL :	0749-27-1017		FAX :	0749-24-5122
担当教員	田中 勝也, 松下 京平, 和田 佳之 (経済 学部 教授)				
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	未定	
教室名	未定	会場	彦根キャンパス		
授業期間	2024 年 10 月 1 日 (火) ~ 2025 年 1 月 21 日 (火) <毎週 火曜日> 4 時限・講時 14 : 30 ~ 16 : 00				
超過時の選考方法	書類により選考				
成績評価方法	定期試験 (筆記)				%
	レポート試験 (期末)				%
	平常点 (出席・授業態度)				%
	その他	(松下と和田の担当箇所については、大学全体の試験期間中に筆記試験を実施し、その結果に基づいて評価する。田中の担当箇所については、5回目のグループ討論(グループ点)と小テスト(個人点)を1:1で集計して評価する。最終的に、3者の担当箇所の評価を総合し、最終評価を決定する。)			100 %
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の目的と概要】 本講義では、「経済と環境問題」や「環境の経済評価」などのテーマをもとに、環境問題について様々な観点から検討します。講義は3名の教員によるリレー講義形式で行われます。様々な観点から、総合的に環境を捉える力を養成します。 なお、開講形態は一部授業をオンラインで行うブレンド授業を予定しています。					
【授業の到達目標】 様々な観点から、環境問題を考察するための基礎知識や基礎力を習得し、ディプロマポリシーのDP2「社会にかかわる広い知識と基礎的な考え方」、ならびにDP5「グローバル社会での見識と異文化の理解」にかかわる知識・能力を養うことを目標とします。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	10月 1日	イントロダクション(担当:松下)			
2	10月 8日	環境と経済の両立可能性(担当:松下)			
3	10月 15日	持続可能な発展(担当:松下)			
4	10月 22日	気候変動問題(担当:松下)			
5	10月 29日	日本のエネルギー政策(担当:松下)			
6	11月 5日	環境問題に対する経済学からの視点(担当:和田)			
7	11月 12日	生物多様性問題(ケーススタディとしての外来魚問題)(担当:和田)			
8	11月 19日	里山・里川の持つ効能(担当:和田)			
9	11月 26日	滋賀県内の環境保全葛籠のケーススタディ(担当:和田)			
10	12月 3日	昨今のエネルギー問題を取り巻く「不都合な真実」(担当:和田)			

11	12月10日	持続可能なまちづくり① オレゴン州ポートランド市の事例(担当:田中)
12	12月17日	持続可能なまちづくり② グリーンインフラ(担当:田中)
13	1月7日	持続可能なまちづくり③ 災害に強いまちづくり(担当:田中)
14	1月14日	持続可能なまちづくり④ 経済学とデータサイエンスの役割(担当:田中)
15	1月21日	グループ討論と小テスト(担当:田中)
<p><教科書・参考書></p> <p>【教科書】 授業において配る資料</p> <p>【参考書】 ISBN 9784772603232 書名 エコロジカル・フットプリント：地球環境持続のための実践プランニング・ツール 著者名 マティース・ワケナゲル, ウィリアム・リース著；池田真里訳,Wackernagel, Mathis,Rees, William E.,和田, 喜彦,池田, 真里, 出版社 合同出版 出版年 2004年</p> <p>ISBN 9784865792140 書名 気候変動時代における私たちの役割 著者名 環境省編,環境省, 出版社 日経印刷</p> <p>【教材に関する補足情報】</p> <p>特に指定しないが、各担当者の講義の中で参考文献等を指示する。</p> <p>・参考書 書名:環境白書 循環型社会白書/生物多様性白書 令和3年版 URL:http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/</p>		

科目番号	10	科目名	データサイエンス・AIへの招待		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	滋賀		大学		
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係				
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122	
担 当 教 員	岩山 幸治		(データサイエンス 学部 准教授)		
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教 室 名	未定	会場	彦根キャンパス		
授 業 期 間	2024 年 10 月 7 日 (月) ~ 2025 年 1 月 27 日 (月) <毎週 月曜日> 3 時限・講時 12 : 50 ~ 14 : 20				
超過時の選考方法	書類により選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%		
	そ の 他 (講 義 中 に 出 題 す る 小 テ ス ト 課 題 に よ り 評 価)		100	%	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の目的と概要】 データは21世紀の石油という言葉にも象徴されるように、データから価値を生み出すデータサイエンスの重要性は、近年、非常に大きくなってきています。 その背景には、ユビキタス・IoTなどの技術の進歩に伴うデータ収集のコストの低下や、通信回線、コンピュータの性能の向上など、大量のデータを収集、保持、分析できる技術の発展があります。 この講義では、多岐にわたる分野で活用され、現代社会の大きな変化に関わっているデータサイエンス・AIについて、データの収集・加工・処理、データの分析、分析結果の解釈とその活用というデータサイエンスの3要素について、多様な応用事例を交えて紹介します。同時に、データサイエンス・AIの限界やデータを扱う際に注意すべき点も紹介します。					
毎回の講義までに講義資料及び講義資料中で指定する動画を視聴しておいてください。 動画や講義資料に関する質問はSULMS上で受け付けます。					
【授業の到達目標】 1. データの収集・加工・処理、データの分析、分析結果の解釈とその活用というデータサイエンスの3要素について基本的な技術を身につけること。 2. データサイエンスの応用事例について理解すること。					
【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 各回の講義までに講義動画と講義資料及び教科書の対応する箇所を見て予習する(3時間程度) 講義後は、確認問題に解答し、間違った箇所を中心に復習しておくこと(1.5時間程度)					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	10 月 7 日	データサイエンスへの招待の概要、ガイダンス			
2	10 月 14 日	データサイエンスの役割, データ分析の方法			
3	10 月 21 日	データサイエンスと画像・音声処理技術			
4	10 月 28 日	データサイエンスと情報倫理			
5	11 月 4 日	ヒストグラム			
6	11 月 11 日	箱ひげ図, 平均と分散			
7	11 月 18 日	散布図, 相関係数, 回帰直線			
8	11 月 25 日	主成分分析, クラスタ分析			
9	12 月 2 日	データ分析で注意すべき点			

10	12月9日	Rを使ってみる／応用事例:保険
11	12月16日	Rによるデータ分析／応用事例:金融
12	12月23日	Rのさらなる活用／応用事例:市場調査
13	1月6日	Pythonのインストールと基本操作／応用事例:バイオインフォマティクス
14	1月20日	Pythonを使ったデータの整理と可視化／応用事例:バイオインフォマティクス
15	1月27日	Pythonを使ったデータの分析とより高度な可視化／応用事例:品質管理
<p><教科書・参考書></p> <p>【教科書】 ISBN 9784780607307 書名 データサイエンス入門 第2版 著者名 竹村彰通, 姫野哲人, 高田聖治 編、和泉志津恵, 市川治, 梅津高朗, 北廣和雄, 齋藤邦彦, 佐藤智和, 白井剛, 高田聖治, 竹村彰通, 田中 琢真, 姫野哲人, 槇田直木, 松井秀俊 共著 出版社 学術図書出版社 出版年 2021-04-14</p> <p>【参考書】 ISBN 978482234009 書名 大学生のためのデータサイエンス: オフィシャルスタディノート: 無料で学べる大学講座gacco 著者名 滋賀大学データサイエンス学部 編, 滋賀大学データサイエンス学部, 出版社 日本統計協会 出版年 2018</p>		

科目番号	11	科目名	医療イノベーションの基礎		
英文科目名	Fundamentals for Medical Innovation				
大学・短期大学名	滋賀医科			大学	
連絡先	学生課学部教育支援係				
	TEL :	077-548-2068		FAX :	077-548-2799
担当教員	尾松 万里子			(医 学部 特任教授)	
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	第1講義室	会場			
授業期間	2024 年 4 月 10 日 (水) ~ 2024 年 7 月 24 日 (水) <毎週 水曜日> 4 時限・講時 14 : 40 ~ 16 : 10				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定期試験 (筆記)		—	%	
	レポート試験 (期末)		60	%	
	平常点 (出席・授業態度)		—	%	
	その他 (発表)		40	%	
別途負担費用	なし		あり () 円		
その他特記事項	最終の2回は出席を必須とし、出席回数が11回以上(出席率70%以上)の場合は、期末レポート課題の提出資格を認める。なお、最終成績は期末レポート課題の評価(60%)に発表(内容、発表資料の分かりやすさ、発表の仕方)の評価(40%)を加味して評価する。□				
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】 この授業では、15回にわたって医療人としての専門教育だけでは学べない医療を支える外的な要因(産業界の考え方、コミュニケーションの取り方、製品開発の進め方、それらに関連する知的財産権や薬事規制など)を学習する。更に、自身の考えをまとめて他の人の伝える発表の仕方を学習し、実習する。 この一連の学習は、文部科学省の「次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXTプログラム)」の一環として実施する。一般的な経済活動の仕組みや視点を理解し、医療分野に限らず新しい「コト」にチャレンジし、自らの志を実現できる医療人の育成を目的とする。					
【到達目標】 医学の発展はめざましく、それに対応するように医薬品や医療機器の分野でのイノベーション(革新的な製品やサービス等)が創出されてきており、医療人の医療知識・技術と共に最先端の医療を支える両輪として働いている。この授業では、自らが医療人となった際に広い視野で物事が捉えられる視点や異分野の人とコミュニケーション力や発表能力を養うことを目標とする。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4 月 10 日	オリエンテーション・医療イノベーション			
2	4 月 17 日	医療と金融			
3	4 月 24 日	異分野とのコミュニケーション①			
4	5 月 1 日	金融経済教育講座			
5	5 月 8 日	リーダーシップ論			
6	5 月 15 日	先端医療研究開発			
7	5 月 22 日	健康投資型の医療			
8	5 月 29 日	異分野とのコミュニケーション②			
9	6 月 5 日	広告医学概論			
10	6 月 12 日	滋賀県における医療イノベーション			
11	6 月 19 日	デザイン思考			
12	6 月 26 日	ロボティクスを応用した医療ヘルスケア機器開発			
13	7 月 3 日	医師起業家のリアル			
14	7 月 10 日	グループワーク(4~5人/グループ)			
15	7 月 24 日	プレゼンテーション			

<教科書・参考書>

1. 医療イノベーションの本質－破壊的創造の処方箋(碩学舎ビジネス双書) 著:クレイトン・M・クリステンセン他、訳:山本雄士他
(原著)The Innovator's Prescription: A Disruptive Solution for Health Care, Clayton M. Christensen et al.
2. BIODESIGN バイオデザイン日本語版(薬事日報社) 著:ステファノス・ゼニオス他、【監修】一般社団法人日本医療機器産業連合会他
(原著)Biodesign: The Process of Innovating Medical Technologies, Paul G. Yock et al.
3. リーン・スタートアップ ムダのない起業プロセスでイノベーションを生みだす(日経BP社) 著:エリック・リース 訳:井口耕二
(原著)The Lean Startup: How Today's Entrepreneurs Use Continuous Innovation to Create Radically Successful Businesses, Rric Ries

科目番号	12	科目名	おうみ学生未来塾(湖東)		
英文科目名	Innovation for Community				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連絡先	彦根市八坂町2500				
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472	
担当教員	上田 洋平			(地域共生センター 講師)	
実施方法	対面授業				
教室名	講義室未定	会場			
授業期間	2024年9月9日(月)～2024年9月17日(火) <毎週 曜日> 1～5時限・講時 9 : 00 ～ 18 : 00				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)				%
	その他(中間・最終レポート, プレゼンテーション)	100			%
別途負担費用	(なし)但し、FW時の交通費等は自己負担 あり()円				
その他特記事項	県立大学以外の学生へのガイダンスは履修登録者に別途案内する。				
<講義概要・到達目標>					
※2024度は夏季集中講義期間の9月9日(月)、9月10日(火)～16日(月・祝)のうちのいずれか1日(フィールドワーク配属先ごとに設定)、および9月17日(火)の計3日間開講予定。					
地域本来の力や資源を活かした地域づくり・地域再生を実現するための考え方と手法を実践的に学ぶ。具体的な地域再生の事例を参考に、フィールドワークやワークショップの企画、実施、地域再生策の提案までの過程に主導的に取り組む。こうした実践を通して、フィールドワークやワークショップの技法、ファシリテーションの手法、地域課題の把握から解決策の提案までのノウハウを修得する。					
提案した内容が地域で実践されたり、人びととの対話をきっかけに地域での新たな活躍の場を獲得するなど、学生にとっても様々なチャンスにつながる機会になっている。					
① 夏季3日間の集中講義として行う。 ② 学生、院生混成によるチームを編成し、フィールドワークやワークショップに臨む。 ③ 地域から提起されたホットでリアルなフィールドや課題に挑む。 ④ 地域の方々と共に歩き、考え、具体的な企画・提案を作成する。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9月9日	地域コミュニティの現状と課題-フィールドワーク対象地の紹介と目標設定			
2	9月9日	レクチャー及びWS 地域再生「7箇条」			
3	9月9日	レクチャー及びWS 地域課題の分析とリサーチクエスチョンの設定①			
4	9月9日	レクチャー及びWS 地域課題の分析とリサーチクエスチョンの設定②			
5	9月9日	フィールドワークの設計			
6	9月 未定 日	フィールドワーク/WS(地域をあるく・みる・きく)①			
7	9月 未定 日	フィールドワーク/WS(地域をあるく・みる・きく)②			
8	9月 未定 日	フィールドワーク/WS(地域をあるく・みる・きく)③			
9	9月 未定 日	フィールドワーク/WS(地域をかたる・かんがえる)①			
10	9月 未定 日	フィールドワーク/WS(地域をかたる・かんがえる)②			
11	9月17日	地域再生提案の作成①			
12	9月17日	地域再生提案の作成②			
13	9月17日	地域再生提案の作成③			
14	9月17日	特別レクチャー(一般公開)			
15	9月17日	地域再生提案プレゼンテーションと講評(一般公開)			
<教科書・参考書>					

科目番号	13	科目名	SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション -近江の暮らしとなりわい-		
英文科目名	Ohmi Studies of Community and Lifestyle				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)				
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472	
担当教員	上田 洋平 (地域共生センター 講師)				
実施方法	対面授業				
教室名	講義室未定	会場			
授業期間	2024年8月16日(金)～2024年8月18日(日) <毎週 曜日> 1～5時限・講時 9 : 00 ～ 18 : 00				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)	%			
	レポート試験(期末)	%			
	平常点(出席・授業態度)	%			
	その他(ワークブックへの記入ほか)	100 %			
別途負担費用	(なし)		あり()円		
その他特記事項	大学外の会場で授業を行う場合がある。詳細は別途指示。				
<講義概要・到達目標>					
<p>近江・びわ湖を深掘りすると、ひろい世界につながっていた——。加盟国の圧倒的賛成をもって採択された「SDGs(Sustainable Development Goals:2015年国連サミット)」をめぐる動きに見られるように、持続可能な共生社会の実現を目指す取り組みが、世界各国で加速している。滋賀県はこの潮流にいち早く呼応し、世界共通の目標を滋賀というローカルな現場で達成することに名乗りをあげ、注目を集めている。</p> <p>日本の縮図とも言われ、日本の歴史の舞台裏としても古来重要な位置を占めてきた近江。里山、人山、里湖、里島それぞれの風土に根差して鍛え上げられた近江各地のくらしとなりわい。そこには人々が、また、人と自然が「ともに、ここで、無事に」生きていくために必要な知恵と経験が蓄積されており、それらの多くは、単にローカルな経験に留まらず、持続可能な世界の実現に資する普遍的価値をもつ。</p> <p>当科目では、近江のくらしとなりわいの現場における様々なことなみを事例として、持続可能な共生社会の実現に必要な知見を導き出すとともに、SDGsの考え方に照らして、ローカルな現場の実践・課題と、グローバルな実践・課題とがどのように関わっているのか、その関わりによって、どんな未来(グローバル・イノベーション)が実現できるのかについて、様々なゲストと共に議論する。</p> <p>(到達目標)</p> <p>(1)地域の風土とそれに根差したくらしとなりわいの概要や特質を、具体的な地域の暮らしや事業の事例を踏まえて理解し説明できること。(2)SDGsの考え方に照らして、グローバルな課題・目標とローカルな解決・実践とのかかわりを理解し説明できること(3)持続可能な共生社会を担い創造する主体としての自己の役割と可能性について各自の意見を形成すること。</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	8月16日	くらしとなりわい・SDGsと近江の“ビジネス”モデル			
2	8月16日	特別講義・SDGsと滋賀の挑戦:			
3	8月16日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題①			
4	8月16日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題②			
5	8月16日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題③			
6	8月17日	小さな地球を体験する—SDGsカードゲーム①			
7	8月17日	小さな地球を体験する—SDGsカードゲーム②			
8	8月17日	特別講義・グローバルイノベーション・企業の挑戦			
9	8月17日	くらしとなりわいの現場から—企業の挑戦①			
10	8月17日	くらしとなりわいの現場から—企業の挑戦②			
11	8月18日	くらしとなりわいの現場から—コミュニティの再生と創造①			
12	8月18日	くらしとなりわいの現場から—コミュニティの再生と創造②			
13	8月18日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる①			
14	8月18日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる②			
15	8月18日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる③			
<教科書・参考書>					
授業の参考となるサイト SDGsTV(SDGsに関する映像・情報サイト)					

科目番号	14	科目名	地域コミュニケーション論	
英文科目名	Communication Theory in Local Areas			
大学・短期大学名	滋賀県立		大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)			
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472
担当教員	上田 洋平		(地域共生センター 講師)	
実施方法	対面授業			
教室名	講義室未定	会場		
授業期間	2025年2月7日(金)～2025年2月9日(日) <毎週 曜日> 1～5時限・講時 9 : 00 ～ 18 : 00			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)			%
	平常点(出席・授業態度)			%
	その他(ワークブックへの記入ほか)		100	%
別途負担費用	(なし)		あり()円	
その他特記事項	県立大学以外の学生へのガイダンスは履修登録者に別途案内する。			
<講義概要・到達目標>				
コミュニケーションとは何だろうか。「自分の意見が言える」こと?「人の話が聞ける」こと?それとも「空気を読める」ことだろうか?				
当講義では「communicare(分かち合う、共有する)」というこの語の由来に立ち返り、コミュニケーションとは何か、また地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景等について概観した上で、産官学さまざまな立場・現場で活躍する地域人との対話や共同作業を通じて、リアルな地域課題を地域に関わる皆で分かち合い、その解決策を立案するための基礎能力を身に付けること、「浴びるように他者と出会い、対話し、作業する」3日間の過程を通して「コミュニケーションの基礎体力」を養うことを目指す。				
(到達目標)				
(1)地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景や意味について理解し説明することができる。				
(2)対話や課題抽出、成果のとりまとめにかかる基礎的な技法について理解し実践することができる。				
(3)上記の理解と実践に基づきチームワークによって成果を取りまとめることができる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	2月7日	オリエンテーション「自分探求」		
2	2月7日	特別レクチャー①		
3	2月7日	レクチャー&演習:「グラフィックレコーディングの技法と思想①—議論やアイデアを可視化してわかちあう」		
4	2月7日	レクチャー&演習:「グラフィックレコーディングの技法と思想②—議論やアイデアを可視化してわかちあう」		
5	2月7日	レクチャー/後半は学生個人ワーク		
6	2月8日	学生×学生ダイアログ①「隣人の伝記」		
7	2月8日	特別レクチャー②		
8	2月8日	学生×地域人ダイアログ「明日も好い転機」①		
9	2月8日	学生×地域人ダイアログ「明日も好い転機」②		
10	2月8日	レクチャー/後半は学生個人ワーク		
11	2月9日	学生×学生ダイアログ②		
12	2月9日	特別レクチャー②		
13	2月9日	学生×地域人ダイアログ「居合わせから仕合わせを」①		
14	2月9日	学生×地域人ダイアログ「居合わせから仕合わせを」②		
15	2月9日	まとめ		
<教科書・参考書>				

科目番号	15	科目名	びわこ環境行政論	
英文科目名	Lake Biwa Environmental Policy and Management			
大学・短期大学名	滋賀県立		大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)			
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472
担当教員	堀 啓子 (環境科 学部 講師)			
実施方法	対面授業			
教室名	講義室未定	会場		
授業期間	2024年9月30日(月)～2025年1月27日(月) <毎週月曜日> 4 時限・講時 14 : 50 ~ 16 : 20			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)		25	%
	平常点(出席・授業態度)			%
	その他(出席を前提とした毎回の小テスト)		75	%
別途負担費用	(なし)		あり()円	
その他特記事項	ゲスト講師の都合により、講義の順序が入れ替わることがある。			
<講義概要・到達目標>				
<p>地方自治体の政策は、開発と保全の両方から地域環境に大きな影響を及ぼす。滋賀県をフィールドに各分野の政策立案にかかわる行政担当者の講義を通じて、地域環境政策の課題を学び、琵琶湖という環境資産をもつ地域の持続可能な発展への政策とその実施について考える。</p> <p>(到達目標)</p> <p>(1)滋賀県の現行の各種環境政策を説明できる。 (2)滋賀県の環境政策の変遷を説明できる。 (3)持続可能な滋賀社会のビジョンについて自らの考えを述べることができる。 (4)持続可能な滋賀社会を実現する政策について自らの考えを述べることができる。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9月30日	環境問題の変遷と環境行政		
2	10月7日	今日の環境行政の課題		
3	10月14日	琵琶湖の総合保全の取り組み		*祝日授業日
4	10月21日	びわ湖の現状と課題(生態環境)		
5	10月28日	びわ湖の現状と課題(水質環境)		
6	11月11日	自然環境保全政策の現状と課題		
7	11月18日	環境共生をめざす農業政策		
8	11月25日	環境共生をめざす森林政策		
9	12月2日	水環境保全政策の現状と課題		
10	12月9日	資源循環政策の現状と課題		
11	12月16日	循環型社会の産業政策		
12	12月23日	地球温暖化対策の現状と課題		
13	1月6日	低酸素社会実現のための政策		
14	1月20日	持続可能な滋賀社会のイメージ		
15	1月27日	持続可能社会と環境政策		
<教科書・参考書>				

科目番号	16	科目名	地域産業・企業から学ぶ社長講義		
英文科目名	Top Lecture				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)				
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472	
担当教員	新任教員			(学生支援センター 学部 特任教授)	
実施方法	対面授業				
教室名	講義室未定	会場			
授業期間	2024年9月30日(月)～2025年1月27日(月) <毎週月曜日> 4 時限・講時 14 : 50 ~ 16 : 20				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)	20			%
	その他(毎回の課題レポート)	80			%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	ゲスト講師の都合により、講義の順序や企業が入り替わることがある。				
<講義概要・到達目標>					
滋賀県の産業・経済の特徴を行政や金融からの視点で理解するとともに地元の産業構造や地元産業界、地域企業が抱える課題や特色を学ぶ。さらに、滋賀県の代表企業等のトップに産業界ニーズ、社会人として要求される人材、およびこれから社会人になる学生に期待される能力などについて直接学生に語っていただく。講義依頼先は、毎年同じではなく、変更することがある。毎回、講義当日に講義担当者から出される講義に関する課題レポートを提出する。講義に関する質問は、講義終了直後でも受け付け、その場で回答していただくが、後日でも受け付け、質問・回答を講義サイトに掲示する。課題レポート、講義後質問のためのファイルは県立大学のポータルサイト(USPo)を使って掲示し、ダウンロードして、作成後提出する。通常の提出期限は、講義週金曜17:00とする。					
(到達目標)					
(1)滋賀県の経済・産業の特徴を理解すること					
(2)情報の整理力と理解力(各講義内容を系統づけて理解できる。)					
(3)課題発見力(講義内容から重要な情報を整理し自己のキャリアに繋げる課題を発見できる。)					
(4)コミュニケーション力(講義中の質疑応答、グループディスカッションでの質疑応答ができる。)					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9月30日	本講義の意義と役割について、各回の講師の説明、就職活動の基礎(1)			
2	10月7日	行政から見た滋賀県の地域産業の課題とその解決策について			
3	10月14日	就職活動の基礎(2)			
4	10月21日	金融経済の視点から見た滋賀県の地域産業の課題とその解決策について			
5	10月28日	大津市から代表企業1社			
6	11月11日	栗東市から代表企業1社			
7	11月18日	大津市から代表企業1社			
8	11月25日	草津市から代表企業1社			
9	12月2日	彦根市から代表企業1社			
10	12月9日	草津市から代表企業1社			
11	12月16日	大津市から代表企業1社			
12	12月23日	守山市から代表企業1社			
13	1月6日	野洲市から代表企業1社			
14	1月20日	米原市から代表企業1社			
15	1月27日	湖南市から代表企業1社			
<教科書・参考書>					

科目番号	17	科目名	近江学入門	
英文科目名	Introduction to the Study of Oumi (The Old Name of Shiga)			
大学・短期大学名	滋賀短期		大学	
連絡先	滋賀短期大学 教務課			
	TEL :	077-524-3638	FAX :	077-523-5124
担当教員	秋山 元秀		(学部 学長)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2024年4月11日(木)～2024年7月18日(木) <毎週木曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)		20	%
	平常点(出席・授業態度)		40	%
	その他(小テスト)		40	%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
近江は「道の国」「商人(あきんど)の町」「魚米の郷」という3つの面から、その特色を説明できる。すなわち古代に生まれた東海道、東山道(のちの中山道)、北陸道という全国レベルの幹線路が縦横に走り、その交通が国の基盤を作った。そしてこの交通を利用した商業活動が盛んになり、全国を舞台に近江出身の商人が活躍した。かれらは故郷の地域発展に貢献した。琵琶湖を中心にした広い平野をもつ近江は、豊かな農業生産によって米どころとなり、琵琶湖と周辺河川の水産業とあいまって、生活基盤となる農村をつくりあげた。授業では、この3つのテーマをいろいろなエピソードをとりあげて、近江の歴史や地理ををあまり知らない人でもわかりやすいように話していく。				
授業ではアクティブラーニングの手法を取り入れ、積極的な発言や討論ができるようにする。				
【到達目標】				
・大学の所在する滋賀県について親しみを持ち、滋賀県のことに関心をもつことができるようになる。				
・近江の歴史的特徴と、そこではぐくまれた多様な地域文化を知り、それが現在の滋賀県の基盤になっていることが理解できるようになる。				
・その上で、自分がよく知っている身近な地域が、滋賀県内でどのような位置を占めるか説明できるようになる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月11日	オウミ(近江・淡海)とはどんな意味? シガ(滋賀・志賀)とは?		
2	4月18日	近江の歴史を知ろう。隣の京都や福井の歴史とも関連しているだろうか?		
3	4月25日	道の国近江とは? 近江を走る街道について知ろう		
4	5月2日	東海道と中山道、その宿場、どんな町がある?		
5	5月9日	その他にも多くの街道が縦横に走っている。どんな街道がある?		
6	5月16日	近江商人とはどんな人たち?		
7	5月23日	江州米というのはなぜ? 近江の産業は?		
8	5月30日	フナずしを食べたことがありますか? そのほかに滋賀特有の食材や料理?		
9	6月6日	近江の各地を訪問してみよう。まず大津。大津はどんな町?		
10	6月13日	草津や守山など、湖南地域の町は?		
11	6月20日	湖西の町、坂本・堅田などへ行ったことがありますか? 高島は?		
12	6月27日	国宝彦根城を見たことがありますか? 彦根は典型的な城下町、それはどこでわかる?		
13	7月4日	湖北と長浜。長浜では何を見ればいいのか?		
14	7月11日	甲賀。忍者の故郷? 信楽焼はなぜたぬき?		
15	7月18日	皆さんの滋賀でおすすめはどこ?		
<教科書・参考書>				
【教科書】なし				
【参考書】授業中紹介する				

科目番号	18	科目名	数の不思議	
英 文 科 目 名	Wonder of Mathematics			
大学・短期大学名	滋賀短期		大学	
連 絡 先	滋賀短期大学 教務課			
	TEL :	077-524-3638	FAX :	077-523-5124
担 当 教 員	久米 央也 (幼児教育保育 学科 教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名	未定	会場		
授 業 期 間	2024 年 4 月 11 日 (木) ~ 2024 年 7 月 18 日 (木) <毎週 木曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		20	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		40	%
	そ の 他 (小 テ ス ト)		40	%
別 途 負 担 費 用	なし あり()円			
そ の 他 特 記 事 項				
<講義概要・到達目標>				
【授業の概要】 小学校教員の経験を持つ教員が担当する。 数・量・図形に関する古来からの各国の様々な問題やパズルを解説を加えながら一緒に考えグループで検討していく。その中で、数学の歴史や、数の持つ美しさ、不思議さを実感していく。				
【授業の到達目標】 ・数・量・図形に関する各国の古来からの問題やパズルを解く中で、数学の歴史を学び、数学的思考力を身につけることができる。 ・数・量・図形の美しさや不思議さに触れることで、数学に興味・関心を持って積極的に授業に参加できる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 11 日	オリエンテーション 論理力(うそつき問題) 直観力(マッチ棒問題) 数の不思議(答えの予言の謎)		
2	4 月 18 日	論理力(川渡り問題) 数の不思議(電卓の謎・9999の謎) 数の誕生 数字の進化		
3	4 月 25 日	直観力(マッチ棒問題・コイン問題)ガウスの定理 123123の謎 0の発見(十進位取り記数法の誕生)		
4	5 月 2 日	17列目の謎を解く 数列の不思議(ピザを切ったら) フィボナッチ数列の不思議 素数の不思議		
5	5 月 9 日	142857の謎(巡回数) パンデigital 世界最古の魔方陣の不思議 いろいろな魔方陣		
6	5 月 16 日	かけ算ピラミッドの謎 立体図形の不思議 プラトン立体・サッカーボールの謎		
7	5 月 23 日	平面図形の不思議 消えた1cm ² タングラム		
8	5 月 30 日	12345679の謎 移動の不思議 究極のパズル(ハノイの塔) パラドックスの不思議 (アキレスと亀)		
9	6 月 6 日	カプレカ数 一筆書きの不思議 ケーニヒスベルクの橋 オイラーの定理		
10	6 月 13 日	数と比の不思議 黄金比・白銀比		
11	6 月 20 日	÷99の謎 17÷4の謎 小テスト		
12	6 月 27 日	測定の不思議(古代の測定) ピタゴラスの定理 エラトステネスの発見(地球を測定)		
13	7 月 4 日	塵劫記を解く 俵杉算・カラス算・盗人算・入れ子算		
14	7 月 11 日	塵劫記を解く 覆面算・盗人隠・小町算・円陣		
15	7 月 18 日	まとめ 数の不思議を振り返る、小テスト		
<教科書・参考書>				
【教科書】なし 【参考書】なし				

科目番号	19	科目名	地域ビジネス論	
英 文 科 目 名	Studies of Community Business			
大学・短期大学名	滋賀短期		大学	
連 絡 先	滋賀短期大学 教務課			
	TEL :	077-524-3638	FAX :	077-523-5124
担 当 教 員	江見 和明 (ビジネスコミュニケーション 学科 教授)			
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	未定	会場		
授 業 期 間	2024 年 9 月 27 日 (金) ~ 2025 年 1 月 24 日 (金) <毎週 金曜日> 4 時限・講時 14 : 40 ~ 16 : 10			
超過時の選考方法				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		20	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		30	%
	そ の 他 (発 表)		50	%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項				
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】 本講義では、コミュニティ・ビジネスや社会的企業といった、地域社会が抱える問題をビジネスを通して解決するという企業のあり方について学ぶ。 実際に地域のために頑張っている起業家の方に講演していただく。そして、それをヒントに皆さんに実際にコミュニティ・ビジネスのビジネスアイデアを考え、レポートにまとめてもらう(アクティブラーニング)。				
【到達目標】 ・コミュニティ・ビジネスや社会的企業という社会が抱える問題・課題を解決することを目的とした企業のあり方について理解できる。 ・ベンチャー企業の支援、起業家の育成の重要性について理解できる。 ・ビジネス・プラン作成のポイントについて理解できる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9 月 27 日	イントロダクション 社会的企業・コミュニティ・ビジネスについて学ぶ目的		
2	10 月 4 日	地域の役に立つ企業の在り方について		
3	10 月 11 日	イノベーションと企業の在り方 AI,IoT,ロボット		
4	10 月 18 日	地域の抱える問題と地域活性化への取り組み		
5	10 月 25 日	事業コンセプトとは何か 3C分析について		
6	11 月 8 日	コミュニティ・ビジネスと社会起業家		
7	11 月 15 日	コミュニティ・ビジネス事例研究I まつづくりプランナーの仕事		
8	11 月 22 日	事例研究Iの振り返り		
9	11 月 29 日	コミュニティ・ビジネス事例研究II 高齢者関連ビジネス		
10	12 月 6 日	事例研究IIの振り返り		
11	12 月 13 日	コミュニティビジネス事例研究III ユニバーサルツーリズムの推進		
12	12 月 20 日	事例研究IIIの振り返り		
13	1 月 10 日	ビジネスプラン作成のポイントI 自分の価値観・理念を明確にする		
14	1 月 17 日	ビジネスプラン作成のポイントII 顧客に価値を提供する事業の仕組みを考える		
15	1 月 24 日	プレゼンテーション		
<教科書・参考書>				
【教科書】なし				
【参考書】なし				

科目番号	20	科目名	古典文学講読Ⅱ																
英文科目名																			
大学・短期大学名	滋賀文教短期		大学																
連絡先	滋賀文教短期大学 学務課 教務係																		
	TEL :	0749-63-5815	FAX :	0749-65-1921															
担当教員	池田 大輔		(国文学科 教授)																
実施方法	対面授業		遠隔授業 対面・遠隔併用																
教室名	本館2階 204教室	会場	滋賀文教短期大学																
授業期間	2024年9月20日(金)～2024年12月27日(金) <毎週金曜日> 4 時限・講時 14 : 35 ~ 16 : 05																		
超過時の選考方法																			
成績評価方法	定期試験(筆記)	55		%															
	レポート試験(期末)			%															
	平常点(出席・授業態度)			%															
	その他(リアクションペーパー)	45		%															
別途負担費用	なし		あり()円																
その他特記事項	<p><授業形態> 新型コロナウイルスの拡大状況により、対面授業が遠隔授業に切り替わる可能性があります。</p> <p><欠席連絡> 欠席連絡については、滋賀文教短期大学 学務課教務係(0749-63-5815)までご連絡ください。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔講義の場合は、「Google Meet」を使用したリアルタイム型となります。 ・「古語辞書」(電子辞書も可)を用意すること。 ・「授業での取り組み」では、Google Classroom内「リアクションペーパー」各3点×15回＝45点として評価します。 ・定期試験採点后、希望者には答案用紙の返却を行います。 ・オフィスアワー：別途連絡 ・各回の授業テーマは、シラバス内授業計画表の鍵括弧(「 」)内のものとなります。 																		
<p><講義概要・到達目標></p> <p>【講義概要】 江戸時代後期に十遍舎一九が作・画を手がけた『的中地本問屋』(あたりやしたじほんどいや)を扱います。この作品を通して、江戸時代の出版事情、文化、文字、表現、笑いについて講義します。 出版当時の本文を印刷したもの(影印)を使用して、変体仮名の解説、それをもとに古語辞書等を用いて、本文解釈を行い、丁寧に内容を「読む」ことを重視します。 また、授業形式は、「リアクションペーパー」をもとに、受講者同士の考えや意見を共有しディスカッションを行うPBL(課題解決型学習)です。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適切な古語辞書等を用いて本文を解釈し、内容を理解し、自らの考えを意見することができる。 2. 江戸時代の出版事情や出版方法の知識を習得し、説明することができる。 3. 近世の資料に用いられる変体仮名と漢字の一部が解説できる。 4. 他者の考えを踏まえ、自分の考えを踏まえ、ディスカッションの展開ができる。 																			
<p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9月20日</td> <td>ガイダンス&『的中地本問屋』の解説(1丁表)「江戸時代の暦法について」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9月27日</td> <td>『的中地本問屋』(1丁裏・2丁表)「戯作者と板元について<前半>」</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月4日</td> <td>『的中地本問屋』(1丁裏・2丁表)「戯作者と板元について<後半>」</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月11日</td> <td>『的中地本問屋』(2丁裏・3丁表)「彫師について<前半>」</td> </tr> </tbody> </table>					回	月日	テーマ・キーワード	1	9月20日	ガイダンス&『的中地本問屋』の解説(1丁表)「江戸時代の暦法について」	2	9月27日	『的中地本問屋』(1丁裏・2丁表)「戯作者と板元について<前半>」	3	10月4日	『的中地本問屋』(1丁裏・2丁表)「戯作者と板元について<後半>」	4	10月11日	『的中地本問屋』(2丁裏・3丁表)「彫師について<前半>」
回	月日	テーマ・キーワード																	
1	9月20日	ガイダンス&『的中地本問屋』の解説(1丁表)「江戸時代の暦法について」																	
2	9月27日	『的中地本問屋』(1丁裏・2丁表)「戯作者と板元について<前半>」																	
3	10月4日	『的中地本問屋』(1丁裏・2丁表)「戯作者と板元について<後半>」																	
4	10月11日	『的中地本問屋』(2丁裏・3丁表)「彫師について<前半>」																	

5	10月18日	『的中地本問屋』(2丁裏・3丁表)「彫師について〈後半〉」
6	10月25日	『的中地本問屋』(3丁裏・4丁表)「摺師について〈前半〉」
7	11月1日	『的中地本問屋』(3丁裏・4丁表)「摺師について〈後半〉」
8	11月8日	『的中地本問屋』(4丁裏・5丁表)「丁合について〈前半〉」
9	11月15日	『的中地本問屋』(4丁裏・5丁表)「丁合について〈後半〉」
10	11月22日	『的中地本問屋』(5丁裏・6丁表)「切りについて〈前半〉」
11	11月29日	『的中地本問屋』(5丁裏・6丁表)「切りについて〈後半〉」
12	12月6日	『的中地本問屋』(6丁裏・7丁表)「表紙掛けについて〈前半〉」
13	12月13日	『的中地本問屋』(6丁裏・7丁表)「表紙掛けについて〈後半〉」
14	12月20日	『的中地本問屋』(7丁裏・8丁表)「綴じについて〈前半〉」
15	12月27日	『的中地本問屋』(7丁裏・8丁表)「綴じについて〈後半〉」
<p><教科書・参考書></p> <p><教科書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義資料は、資料はA3サイズです(最初の講義時に配布します)。 <p><参考書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・『菱川師宣と浮世絵の黎明』浅野秀剛、東京大学出版会、2008年、6,380円(本体) ・『菱川師宣—古風と当風を描く絵師—』阿美古理恵、藝華書院、2020年、7,070円(本体) ・『原色浮世絵大百科事典』第3巻、大修館書店、1982年 		

科目番号	21	科目名	文学と地域		
英文科目名					
大学・短期大学名	滋賀文教短期			大学	
連絡先	滋賀文教短期大学 学務課 教務係				
	TEL :	0749-63-5815	FAX :	0749-65-1921	
担当教員	吉田 大輔			(国文学科 講師)	
実施方法	対面授業		遠隔授業		対面・遠隔併用
教室名	本館4階 404教室	会場	滋賀文教短期大学		
授業期間	2024 年 9 月 16 日 月 ~ 2024 年 12 月 23 日 (月) <毎週 月曜日> 1 時限・講時 9 : 05 ~ 10 : 35				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験 (筆記)				%
	レポート試験 (期末)	50			%
	平常点 (出席・授業態度)				%
	その他 (口頭発表)	35			%
	その他 (コメントシート)	15			%
別途負担費用	なし		あり	テキスト代 1,936)円	
その他特記事項	<p><授業形態> 新型コロナウイルスの拡大状況により、対面授業が遠隔授業に切り替わる可能性があります。</p> <p><欠席連絡> 欠席連絡については、滋賀文教短期大学 学務課教務係(0749-63-5815)までご連絡ください。</p> <p><その他> 授業で毎回書いてもらうコメントシート、発表、期末レポートにより、成績は評価します。 口頭発表の資料の作り方は、授業中に指示します。 レポートは、希望者にフィードバックを行います。</p>				
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】					
<p>本授業「文学と地域」では、現代につながる「大阪」イメージの成立を文学作品から考えてみたいと思います。具体的には、半年間の時間を使い、織田作之助(1913~1947)という作家の作品を集中的に読みます。織田作之助は大阪生まれの作家で、作品の舞台の多くは関西です。また、その作中では、関西の言葉が生き生きと描かれています。東京中心の文学の世界に、関西という舞台設定と関西の言葉を駆使して対抗する、こうした明確な戦略のもとに登場したのが織田作之助でした。彼の作品に描かれる関西像からは、関西という場所と関西の言葉に対する愛憎半ばする態度が読み取れます。また、現在われわれが抱く大阪へのイメージにつながる描写が見いだせるだけでなく、逆にそうしたイメージを裏切る描写も見出すことができます。彼の作品が提示する「大阪」像の意味をこの授業では考えてみましょう。</p> <p>織田作之助がデビュー作「ひとりすまう」(1938)以降、関西を描くことで文壇に進出していった時代的背景として、「大大阪(だいおおさか)時代」と呼ばれた状況が挙げられます。1923年に関東大震災が起り、関東が大きな打撃を受けると、関東から関西へ移住する人間が増大し、1925年から1932年までの間は、大阪市は日本でもっとも人口が多い都市でした。こうした時代状況も踏まえ、作品を読み解いていきます。</p> <p>さらに、大阪と対比的なイメージとして、東京のイメージ、京都のイメージ、神戸のイメージなどにも授業のなかで言及することになると思います。</p> <p>授業ではまず、織田作之助の小説の代表作「夫婦善哉」と評論「可能性の文学」を教員の講義によって読み解きます(第2回~第5回)。そのうえで、初回に決めた担当作品に従い、受講者に簡単な発表してもらいながら、毎回1つの作品を取り上げていく予定です(第6回~第15回)。</p>					
【到達目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1、織田作之助の打ち出す「関西」イメージの戦略が客観的に理解できるようになる 2、短編小説から自分なりの問題を抽出し、資料を作成し、発表できるようになる 3、授業を踏まえて自分なりの問題を抽出し、小説についての論理的なレポートが書けるようになる 					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9 月 16 日	授業ガイダンス、大阪のイメージと織田作之助というについての説明、発表作品を決める			
2	9 月 23 日	「夫婦善哉」を読む①(法善寺横丁というトピ)			
3	9 月 30 日	「夫婦善哉」を読む②(食べ物と「やつし」)			

4	10月7日	「夫婦善哉」を読む③(「大阪の言葉」と「言葉の大阪」)
5	10月14日	評論「可能性の文学」を読む
6	10月21日	受講生発表「六白金星」+議論+教員による解説
7	10月28日	受講生発表「船場の娘」+議論+教員による解説
8	11月4日	受講生発表「放浪」+議論+教員による解説
9	11月11日	受講生発表「世相」+議論+教員による解説
10	11月18日	受講生発表「子守唄」+議論+教員による解説
11	11月25日	受講生発表「競馬」+議論+教員による解説
12	12月2日	受講生発表「アド・バルーン」+議論+教員による解説
13	12月9日	受講生発表「俗臭」+議論+教員による解説
14	12月16日	受講生発表「聴雨」+議論+教員による解説
15	12月23日	受講生発表「木の都」+議論++教員による解説+授業のまとめ

<教科書・参考書>

<教科書>

- ①織田作之助『夫婦善哉 正統他十二編』(岩波文庫)1001円
- ②織田作之助『六白金星・可能性の文学他十一編』(岩波文庫)935円
すでに持っているという人以外は、2冊とも必ず購入してください。どちらも使います。

<参考書>

- ①『織田作之助全集』全8巻(講談社、1970)
- ②橋爪節也『大大阪イメージ:増殖するマンモス/モダン都市の幻像』(創元社、2007)
- ③『大阪文学名作選』(講談社文芸文庫、2011)
- ④尾崎名津子『織田作之助論 〈大阪〉表象という戦略』(和泉書院、2016)
- ⑤井上章一『関西人の正体』(朝日文庫、2016)
- ⑥斎藤理生『小説家 織田作之助』(阪大出版会、2020)
- ⑦原武史『「民都」大阪対「帝都」東京 思想としての関西私鉄』(講談社学術文庫、2020)

※そのほか、授業中に適宜指示します。

科目番号	22	科目名	地域の歴史と民俗文化		
英文科目名					
大学・短期大学名	滋賀文教短期			大学	
連絡先	滋賀文教短期大学 学務課 教務係				
	TEL :	0749-63-5815	FAX :	0749-65-1921	
担当教員	中島 誠一		(国文学科 非常勤講師)		
実施方法	対面授業		遠隔授業 対面・遠隔併用		
教室名	本館3階 305教室	会場	滋賀文教短期大学		
授業期間	2024年4月12日金 ~ 2024年7月26日金 <毎週金曜日> 2 時限・講時 10 : 45 ~ 12 : 15				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験 (筆記)				30 %
	レポート試験 (期末)				%
	平常点 (出席・授業態度)				50 %
	その他 (小テスト)				20 %
別途負担費用	なし		あり ()円		
その他特記事項	<p><授業形態> 新型コロナウイルスの拡大状況により、対面授業が遠隔授業に切り替わる可能性があります。</p> <p><欠席連絡> 欠席連絡については、滋賀文教短期大学 学務課教務係(0749-63-5815)までご連絡ください。</p> <p><その他> ①前半授業の理解度を確認するため小テストを8回目の授業で実施する。答えは返却しないが、9回目の授業で試験の全体講評を行う。授業内容等で質問があれば授業終了後、もしくはメール(seiichi.nakajima@s-bunkyo.ac.jp)でも受け付ける。メールか書簡でも回答する。 ②全般的な理解を確認するため定期テストを16回目に実施する。答えは返却しないが質問があればメールで受け付け、メールもしくは書簡で返答する。</p>				
<講義概要・到達目標>					
<p>【講義概要】 初めに湖北地域のシビックプライドが歴史と民俗によって育まれていることを認識してもらい、大学の立地する田村地域を中心に現地踏査をおこない、身近にある文化的遺産を体験する。次に学習の範囲を、湖北地域全域に拡大し、パワーポイント、DVDを使った視聴などを交え、人々が継承してきた種々の生活文化財を具体的に学ぶ。そして羽柴秀吉による長浜城下町形成と今も人々のあいだに脈々と流れる進取の機運が生み出した数々の有形、無形の文化財について学習する。 湖北地域の豊かな歴史民俗文化遺産を多方面から体験し、学び、生涯の指針となるよう授業を進めていく。</p>					
<p>【到達目標】 1.人々の暮らしの中に息づく祭りや、特徴ある習俗に目を向け、地域の個性について理解する力を身に付けることができる 2.湖北地域の歴史遺産が人々の生活に欠くことのできないものであることを、学習を通じて体得することによって自分の住む地域の様々な問題、課題について解決能力を身に付けることができる→期末テストによって自身の習得結果を確認することができる。</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月12日	湖北の歴史文化遺産PPTガイダンス。年間の学習内容説明。			
2	4月19日	田村の歴史文化遺産―田村山登山&村の中を歩いて考える―(フィールドワーク)			
3	4月26日	ユネスコ無形文化遺産―長浜曳山祭の行事内容について学ぶ―			

4	5月10日	曳山文化の伝播ー湖北を中心とした曳山祭の関連性について考えるー
5	5月17日	湖北地域の雨ごい信仰の多様性ー竜神信仰と太鼓踊りの関連を知るー
6	5月24日	近江で行われた雨ごい行事ー竜神信仰と太鼓踊りの関連を学ぶー
7	5月31日	湖北のオコナイ行事ーなぜこの行事は根付いているのか考えるー
8	6月7日	1～7回までの学習について振り返り、自分の進捗度を測るー小テストー
9	6月14日	湖北の村の暮らしー長浜市西浅井町月出一過疎化と郷土愛
10	6月21日	湖北の村の暮らしー長浜市西浅井町菅浦ー伝統と村の組織
11	6月28日	発展する明治の長浜ー大商人たちの活躍ー現在の長浜との関連
12	7月5日	長浜の食事ー祭りと日常ー鯖素麺、講汁、鮎鮓
13	7月12日	長浜の諸職ー鍛冶屋、鼻緒、竹細工、提灯
14	7月19日	長浜の諸職ー長浜仏壇と曳山修理
15	7月26日	歴史と民俗文化について振り返る

<教科書・参考書>

【教科書】

特にないが、授業の都度、新聞記事やSNSからの各種情報をテキストとして配布するので講義のNo.日付をつけて整理しておくことが大事。まとめれば湖北を知る事典として活用できるはずである。

【参考書】

『川道のオコナイ 湖北に春を呼ぶー俵鏡餅ー』中島誠ー サンライズ出版 2011

『近江の祭りを歩く』中島誠ー サンライズ出版 2012

長浜城歴史博物館特別展図録『近江のオコナイ』『山車・屋台・曳山』『手仕事を伝える』『神になった秀吉』など

科目番号	23	科目名	書道 I	
英文科目名				
大学・短期大学名	滋賀文教短期		大学	
連絡先	滋賀文教短期大学 学務課 教務係			
	TEL :	0749-63-5815	FAX :	0749-65-1921
担当教員	竹腰 迪代		(国文学科 非常勤講師)	
実施方法	対面授業		遠隔授業 対面・遠隔併用	
教室名	実習館3階 701教室	会場	滋賀文教短期大学	
授業期間	2024年4月8日月 ~ 2024年7月22日(月) <毎週 月曜日> 2 時限・講時 10 : 45 ~ 12 : 15			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験 (筆記)			20 %
	レポート試験 (期末)			%
	平常点 (出席・授業態度)			20 %
	その他 (小テスト)			60 %
別途負担費用	なし		あり (テキスト代、筆代 約3,800円)	
その他特記事項	<p><授業形態> 新型コロナウイルスの拡大状況により、対面授業が遠隔授業に切り替わる可能性があります。</p> <p><欠席連絡> 欠席連絡については、滋賀文教短期大学 学務課教務係(0749-63-5815)までご連絡ください。</p> <p><その他> 各单元ごとの作品提出を小テストとみなし、評価した後最終授業にて返却し全体的な講評をする。 春学期試験は、今までの課題の1つを清書し、提出する内容とする。 小中学校などで使用の書道用具セット(硯、下敷、文鎮等)を初回授業に持参のこと。 初回のみ筆の貸出をする。 太筆、小筆ともに(各筆1000~1500円程度)は、各自負担。 墨汁、用紙は大学にて準備致します。</p>			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】 現代の日常生活に於ける身近な「楷書・行書・草書」の書体について中国の書跡の中から主要な古典作品について説明し各々の技法や表現の解説指導にあたる。				
【到達目標】 1、古典作品の臨書により各々の書体の特徴と技法や表現力の習得が出来、様々な書風を鑑賞する力を培うことが出来る。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月8日	書の基本「永字八法」、楷書の起源と特徴		
2	4月15日	「皇甫誕碑」の解説と臨書		
3	4月22日	「皇甫誕碑」の臨書と清書作品提出		
4	5月6日	「雁塔聖教序」の説明と臨書		
5	5月13日	「雁塔聖教序」の臨書と清書作品提出		
6	5月20日	「牛欄造像記」の説明と臨書		
7	5月27日	「牛欄造像記」の臨書と清書作品提出		
8	6月3日	「建中告身帖」の説明と臨書		
9	6月10日	「建中告身帖」の臨書と清書作品提出		

10	6月17日	行書、草書の起源と特徴
11	6月24日	「蘭亭序」の解説と臨書
12	7月1日	「蘭亭序」の臨書と清書作品提出
13	7月8日	「白楽天詩巻」の説明と臨書
14	7月15日	「白楽天詩巻」の臨書と清書作品提出
15	7月22日	「十七帖」の解説と臨書及び清書作品提出
<p><教科書・参考書></p> <p><教科書> 「書道芸術 漢字編」 著者:久米東邨 編著 出版社:中教出版刊改訂版 萱原書房 ￥800(本体)</p> <p><参考書> 「書の古典と理論(改訂版)」 編者:全国大学書道学会 光村図書 「書のひみつ」 著者:古賀弘幸 イラスト:佐々木一澄 朝日出版社 「臨書で学ぶ古典の美」 著者:加藤泰玄 日本習字普及協会</p>		

科目番号	24	科目名	近江学B(「おうみ学生未来塾(湖西)」)		
英文科目名					
大学・短期大学名	成安造形			大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1				
	TEL :	077-574-2113		FAX :	077-574-2120
担当教員	加藤賢治・仁連孝昭(特別講師) (芸術学部教授)				
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教室名	未定	会場			
授業期間	2024年8月26日(月)～2024年8月29日(木) <毎週 曜日> 時限・講時 9 : 00 ~ :				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				30 %
	平常点(出席・授業態度)				50 %
	その他(プレゼン評価)				20 %
別途負担費用	集合場所までの交通費(金額は各自で異なる)、入館料等(1000円程度)が必要				
その他特記事項	授業連絡等、Googleクラスルーム、Googleフォームを使用します 出席率の低いものは不可 事前にフィールドワークを行う地域について調べておくこと				
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】 成安造形大学が位置する近江(滋賀県)は中央に位置する琵琶湖とそれを囲むように連なる美しい山々という恵まれた自然環境を有するフィールドです。それだけでなく、古代から文化が形成されてきたために、多くの文化遺産を保有し、その伝統を今に伝えています。この科目は、本学近くにある大津市の中心市街地をフィールドワークしながら、地域の人々との交流の中で、地域文化を体感します。このように、伝統的な風習を残す地域を積極的に検証することで、21世紀に息づく普遍的な価値観を身につけ、自らの作品制作や未来の生活に活かすことを目的とします。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	8月26日	ガイダンス フィールドワークの概要と目的			
2	8月27日	フィールドワーク「大津の中心市街地①」三井寺の見学			
3	8月27日	フィールドワーク「大津の中心市街地①」三井寺の見学			
4	8月27日	フィールドワーク「大津の中心市街地①」長等神社、大津絵の店等の見学			
5	8月27日	フィールドワーク「大津の中心市街地①」ながらの座座の見学			
6	8月28日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」大津中心市街地の見学			
7	8月28日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」大津別院の見学			
8	8月28日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」大津祭曳山展示館の見学			
9	8月28日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」丸屋町自治会館見学の見学			
10	8月28日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」まとめのグループディスカッション			
11	8月29日	グループディスカッション 歴史文化資源を活かした持続可能な地域活性化について(本学)			
12	8月29日	グループディスカッション 歴史文化資源を活かした持続可能な地域活性化について(本学)			
13	8月29日	成果発表会 フィールドワークを通して得たもの感じたものを発表する(本学)			
14	8月29日	成果発表会 フィールドワークを通して得たもの感じたものを発表する(本学)			
15	月 日				
<教科書・参考書>					
適宜プリントを配付					

科目番号	25	科目名	東洋・日本美術史概説A	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	小嵯 善通 (芸術学部 教授)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名	未定	会場		
授業期間	2024年4月16日(火)～2024年7月23日(火) <毎週火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ～ 10 : 40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)			
	レポート試験(期末)			
	平常点(出席・授業態度)			
	その他(各回ごとの授業内試験)	100		
別途負担費用	なし あり()円			
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始前にメール送付するガイダンス資料を熟読しておくこと。 ・授業でのスライドで満足せず、展覧会に出かけて実物を鑑賞すること。 ・参考図書や授業中に紹介した参考図書を用いて事前事後学習をすること。 			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】 東洋・日本美術史の基礎知識を、分野別にスライドを用いて解説します。また、開催されている展覧会の情報や見どころも紹介します。様々な作品を知ることは、自分を知ることにつながります。今後の自らの作品制作の方向性を決める手がかりにしてほしいと考えています。				
【到達目標】 1 各時代の日本美術の名品を通して、日本美術の流れを知ることができる 2 制作の手がかりとなる作品に出会える 3 様々な美術品を知ることで、美術品の見方を身につけることができる				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月16日	日本美術史の枠組・仏像の基礎		
2	4月23日	日本彫刻史(飛鳥・白鳳・奈良)		
3	5月7日	日本彫刻史(平安)		
4	5月14日	日本彫刻史(鎌倉)		
5	5月21日	陶芸史(日本・中国)		
6	5月28日	日本絵画史(飛鳥・白鳳・奈良)		
7	6月4日	日本絵画史(平安)		
8	6月11日	日本絵画史(平安絵巻)		
9	6月18日	日本絵画史(鎌倉)		
10	6月25日	日本絵画史(水墨画)		
11	7月2日	日本絵画史(桃山)		
12	7月9日	日本絵画史(江戸前期)		
13	7月16日	日本絵画史(江戸後期)		
14	7月23日	日本絵画史(江戸後期・浮世絵)		
<教科書・参考書>				
参考図書:『日本美術館』小学館				

科目番号	26	科目名	東洋・日本美術史概説B	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	小嵯 善通		(芸術 学部 教授)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2024 年 10 月 1 日 (火) ~ 2025 年 1 月 14 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験 (筆記)			
	レポート試験 (期末)			
	平常点 (出席・授業態度)			
	その他 (各回ごとの授業内試験)	100		
別途負担費用	なし	あり ()	円	
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始前にメール送付するガイダンス資料を熟読しておくこと。 ・授業でのスライドで満足せず、展覧会に出かけて実物を鑑賞すること。 ・参考図書や授業中に紹介した参考図書を用いて事前事後学習をすること。 			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
美術・芸術という概念や制度が西洋からもたらされた明治時代以降、日本美術は急速かつ広範な変化、展開を遂げてゆきます。洋画に対する概念として日本画ということばが生まれたのも明治時代に入ってからです。この講義では、日本画、洋画、彫刻など日本美術の近代化の歩みをたどっていきます。				
【到達目標】				
1 明治時代以降、昭和時代初めまでの日本美術の流れが理解できる				
2 日本人が西洋から何を学んだかを知ることができる				
3 作家が作品制作に際して、何から影響を受けたかを知ることができる				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	10 月 1 日	桃山・江戸時代前期の洋風画		
2	10 月 8 日	江戸時代後期の洋風画 (江戸、長崎、秋田)		
3	10 月 15 日	幕末から明治初期の洋画		
4	10 月 22 日	美術教育の始まり (1)		
5	10 月 29 日	美術教育の始まり (2)		
6	11 月 5 日	明治時代の日本画 (東京)		
7	11 月 12 日	明治時代の日本画 (京都)		
8	11 月 19 日	明治時代の洋画		
9	11 月 26 日	近代の彫刻		
10	12 月 3 日	大正・昭和初期の日本画 (東京)		
11	12 月 10 日	大正・昭和初期の日本画 (京都)		
12	12 月 17 日	画家の作風展開を見る (上村松園・福田平八郎)		
13	1 月 7 日	大正時代の洋画		
14	1 月 14 日	昭和初期の洋画		
<教科書・参考書>				
参考図書:『日本美術館』小学館、『日本美術の流れ6』高階 秀爾 岩波書店				

科目番号	27	科目名	西洋美術史概説A	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	中谷 至宏		(芸術 学部 教授)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2024 年 4 月 17 日 (水) ~ 2024 年 7 月 24 日 (水) <毎週 水曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%
	レポート試験 (期末)	80		%
	平常点 (出席・授業態度)			%
	その他 (授業内課題)	20		%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	授業で提示するミュージアムのホームページ等で作品画像や内容を確認します。 授業用資料と自宅学習課題の提示、学期末レポートの提出にはGoogle Classroomを使用します。			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】 ギリシャ美術から19世紀初頭までの西洋美術史を主要作品を通して概観する。				
【到達目標】 (1) 古代から19世紀初頭までの西洋美術史の流れを理解する。 (2) 古代から19世紀初頭までの代表的な芸術家とその作品を知る。 (3) 時代に固有な様式を理解する。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 17 日	イントロダクション+ギリシャ・ローマ1		
2	4 月 24 日	ギリシャ・ローマ2		
3	5 月 8 日	ビザンチン		
4	5 月 15 日	ロマネスク		
5	5 月 22 日	ゴシック		
6	5 月 29 日	イタリア・ルネサンス1		
7	6 月 5 日	イタリア・ルネサンス2		
8	6 月 12 日	北方ルネサンス		
9	6 月 19 日	バロック1 フランス/スペイン		
10	6 月 26 日	バロック2 フランドル/オランダ		
11	7 月 3 日	ロココ		
12	7 月 10 日	新古典主義		
13	7 月 17 日	ロマン主義		
14	7 月 24 日	レアリズム		
<教科書・参考書>				
授業内で適宜提示				

科目番号	28	科目名	西洋美術史概説B	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	中谷 至宏		(芸術 学部 教授)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2024 年 10 月 2 日 (水) ~ 2025 年 1 月 15 日 (水) <毎週 水曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%
	レポート試験 (期末)	80		%
	平常点 (出席・授業態度)			%
	その他 (授業内課題)	20		%
別途負担費用	なし		あり () 円	
その他特記事項	授業で提示するミュージアムのホームページ等で作品画像や内容を確認します。 授業用資料と自宅学習課題の提示、学期末レポートの提出にはGoogle Classroomを使用します。			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
19世紀から20世紀前半までの西洋美術史を主要作品を通して概観する。				
【到達目標】				
(1) 19世紀から20世紀前半までの西洋美術史の流れを理解する。				
(2) 19世紀から20世紀前半までの代表的な芸術家とその作品を知る。				
(3) 時代および作家に固有な様式を理解する。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	10 月 2 日	イントロダクション+近代絵画		
2	10 月 9 日	印象派1		
3	10 月 16 日	印象派2		
4	10 月 23 日	ポスト印象派		
5	10 月 30 日	新印象主義		
6	11 月 6 日	象徴主義・世紀末美術		
7	11 月 13 日	アール・ヌーヴォー		
8	11 月 20 日	フォービズム		
9	11 月 27 日	表現主義		
10	12 月 4 日	キュビズム+未来派		
11	12 月 11 日	抽象絵画+構成主義		
12	12 月 18 日	シュルレアリスム		
13	1 月 8 日	エコール・ド・パリ		
14	1 月 15 日	戦後アメリカ絵画		
<教科書・参考書>				
授業内で適宜提示				

科目番号	29	科目名	デザイン史概説A	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	平井直子・櫻間裕子 (芸術学部 非常勤講師)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2024年4月18日(木)～2024年7月25日(木) <毎週木曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)			%
	平常点(出席・授業態度)	30		%
	その他(授業内テスト)	70		%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	18世紀から19世紀にかけてのヨーロッパの歴史について、概観しておくこと。 オリジナルのノートの作成を心掛けてください。			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】 18世紀から19世紀にかけての産業革命は、人びとの生活を激変させた。特に、生活に用いる、様々な道具やモノ、或いは環境を形成するものづくりの現場は、大きな影響を受けた。それ以前には職人の手で一つひとつが手作業で制作されていたものが、機械によって一度に大量に生産されるようになったのである。この講義では、ものづくりの現場への機械の導入をめぐる、様々な工芸家やデザイナーの苦闘の跡を探っていく。そのことを通して、近代デザインの考え方の基礎の成立について知ることを目的とする。				
【到達目標】 (1)歴史という概念の相対性について考えることができる (2)デザインと社会の関係について考えることができる (3)機械によるモノ作りとしてのデザインについて考えることができる				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月18日	歴史とはなにか、デザインとはなにか		
2	4月25日	デザイン史と美術史		
3	5月9日	産業革命とものづくり		
4	5月16日	イギリス社会の階層性		
5	5月23日	アルバート公とヘンリー・コールのデザイン改革		
6	5月30日	1851年の万国博覧会		
7	6月6日	ウィリアム・モリスの活動の概要		
8	6月13日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 1回目		
9	6月20日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 2回目		
10	6月27日	美術工芸運動		
11	7月4日	アール・ヌーヴォーの概要とデザイン史上の意味		
12	7月11日	フランスとベルギーのアール・ヌーヴォー		
13	7月18日	スコットランド、カタロニア、オーストリア、イタリアのアール・ヌーヴォー		
14	7月25日	授業内テスト		
<教科書・参考書>				
授業の進行に応じて指示します。				

科目番号	30	科目名	デザイン史概説B	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	平井直子・櫻間裕子 (芸術学部 非常勤講師)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2024年10月3日(木)～2025年1月16日(木) <毎週木曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)			
	レポート試験(期末)			
	平常点(出席・授業態度)	30	%	
	その他(授業内テスト)	70	%	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	第1次世界大戦前後のヨーロッパの歴史について復習しておいてください。 オリジナルのノートの作成を心掛けてください。			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
19世紀の末から20世紀の初頭にかけて、ものづくりの現場への機会の導入はさらに進んだが、先進的なデザイナーたちの様々な努力にもかかわらず、機械を使いこなすための確固たる方法論は未だ見出されていなかった。この授業では、アメリカの建築、ドイツ工作連盟、抽象絵画の成立、オランダのデ・ステイル、フランスやイタリアのデザイン、バウハウス、そして北欧のデザインを取り上げ、モダンデザインの成立について考えることを目的としている。				
【到達目標】				
(1)デザインと社会の関係について考えることができる				
(2)近代から現代に至る文化の変遷や、社会とアートの関係性を理解し、今後の学びに活かす				
(3)モダン・デザインの成立について考えることができる				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	10月3日	ウィーン工房のデザイン		
2	10月10日	高層建築の起源		
3	10月17日	シカゴの建築		
4	10月24日	フランク・ロイド・ライトの建築		
5	10月31日	ドイツ工作連盟		
6	11月7日	絵画におけるリアリズムの意味、印象派へ		
7	11月14日	印象派と立体派、幾何学的抽象絵画の成立		
8	11月21日	デ・ステイル		
9	11月28日	20世紀前半のフランスデザイン		
10	12月5日	20世紀前半のイタリアデザイン		
11	12月12日	バウハウスの成立の背景		
12	12月19日	北欧デザイン		
13	1月9日	ヨーロッパにおけるモダンデザインの成立と意義		
14	1月16日	授業内テスト		
<教科書・参考書>				
授業の進行に応じて紹介します。				

科目番号	31	科目名	哲学		
英文科目名					
大学・短期大学名	聖泉		大学		
連絡先	滋賀県彦根市肥田町720				
	TEL :	0749-43-7510	FAX :	0749-43-5210	
担当教員	山口 隆介		(人間 学部 講師)		
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	後日確定	会場	聖泉大学		
授業期間	2024 年 10 月 4 日 (金) ~ 2025 年 1 月 17 日 (金) <毎週 金曜日> 時限・講時 16 : 20 ~ 17 : 50				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定期試験 (筆記)			0	%
	レポート試験 (期末)			60	%
	平常点 (出席・授業態度)			40	%
	その他 ()			0	%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	授業外学習は60時間以上。フィードバックは授業内課題へのコメント等で実施。				
<講義概要・到達目標>					
概要: 授業は、各回のテーマを設定し、それに基づいて哲学的思索を促す講義を行ない授業内課題を課す。					
授業のねらい: 本当に価値あるものとは、何か他のもののために役立つから価値があるのではなく、それ自体として価値がある。このような根源的価値に気付く素地を作るのが本授業のねらいである。					
授業の到達目標: ①当たり前のことにも理由が必要であることに気づく。②不完全であっても合理的な理由を考える。③自分とは異なる意見についても、その理由を理解し、説明することができるようになる。④自分がどのような前提に立って生きているかを徹底的に自覚する。⑤他者の生きる前提を認めつつ、自分の生きる前提について説得力ある仕方で語る。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	10月4日	オリエンテーション(実施形態:対面)授業の進め方、受け方を指示する。授業の概要、授業のねらい、授業の到達目標を理解し、授業の進め方を理解して、この後の授業に備える。(授業外学習:次回の予習[4時間])			
2	10月11日	心とは何か(実施形態:対面)心とはどういう存在かについて思索する。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])			
3	10月18日	現象とは何か(実施形態:対面)ものが見えるということはどういうことを考える。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])			
4	10月25日	時間とは何か(実施形態:対面)時間と空間があるというのはどういう意味かを問う。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])			
5	11月1日	存在とは何か(実施形態:対面)存在を分類し人間が特殊な存在であることに気づく。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])			
6	11月8日	命とは何か(実施形態:対面)生きているということの特殊性を追体験する。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])			
7	11月15日	善き生とは何か(実施形態:オンデマンド)善い悪いを言うためにはどういう前提が必要かを問う。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])			
8	11月22日	善とは何か(実施形態:対面)善とは存在なのか、形式なのかについて考える。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])			
9	11月29日	神はいるのか(実施形態:対面)神がいるのならどのような存在でなければならないかを問う。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])			
10	12月6日	神の前で人間とは何なのか(実施形態:対面)神なき倫理はあり得るかを問う。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])			
11	12月13日	人は何ものであるのか(実施形態:対面)人間は心か、体か、モノか、機械かを考える。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])			

12	12月20日	言葉とは何か(実施形態:対面)言葉によって何を得、何を失うかに気づく。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])
13	12月27日	私はどう考えるのか(実施形態:対面)考えるとは発見することか、発明することかを問う。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])
14	1月10日	ゴールはあるのか(実施形態:対面)すべてに意味はあるのか、実態はあるのかを問う。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])
15	1月17日	自分で哲学する(実施形態:対面)自分の人生の前提について思索する。(授業外学習:復習[2時間]、最終レポート[2時間以上])
<p><教科書・参考書> 適宜紹介。</p>		

科目番号	32	科目名	心理学概論A	
英文科目名				
大学・短期大学名	聖泉		大学	
連絡先	滋賀県彦根市肥田町720			
	TEL :	0749-43-7510	FAX :	0749-43-5201
担当教員	松田 崇志 (人間 学部 准教授)			
実施方法	対面授業 遠隔授業		対面・遠隔併用	
教室名	306教室	会場	聖泉大学	
授業期間	2024 年 4 月 5 日 (金) ~ 2023 年 7 月 19 日 (金) <毎週 金曜日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30			
超過時の選考方法	所類選考			
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%
	レポート試験 (期末)	80		%
	平常点 (出席・授業態度)	20		%
	その他 ()			%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
この授業は心理学の基礎中の基礎科目である。心理学の基礎としてほぼ全体をカバーできる。主に認知心理学と社会心理学に関する基礎理論・基礎概念を説明する。授業は講義形式で行う。具体的には「見る:視覚」「聞く:聴覚」「感じる:味覚嗅覚触覚」「覚える:記憶」「思う:感情」「学ぶ:学習」「考える:思考」「決める:原因帰属」「頑張る:動機」「気にする:自己」「伝える:説得」「魅かれる:対人認知」「付き合う:集団行動」「助ける:援助行動」「意思決定」の心理学を概説する。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 5 日	授業の計画、成績評価、授業の進め方、受験生への要望、教科書と参考書などの説明。 シラバスを読んでおくこと、視覚・聴覚の内容を予習する(3時間)		
2	4 月 12 日	見る:視覚 聞く:聴覚 視覚と聴覚の基礎について説明する。色を認識するメカニズム、音にとられる人間の行動を学ぶ。復習と「感じる」ことの内容を予習する(3時間)		
3	4 月 19 日	感じる:味覚・嗅覚・触覚 味覚・嗅覚・触覚について学習する。復習と記憶の内容を予習する(3時間)		
4	4 月 26 日	覚える:記憶 記憶の意義、分類、忘却、記憶のメカニズムを学習する。第一回から三回までの復習と「感情」の予習(6時間)		
5	5 月 11 日	思う:感情 感情の重要性、感情の側面、感情生起のメカニズム、人間らしい高度で複雑な感情を学習する。復習と学習の内容を予習する(3時間)		
6	5 月 18 日	学ぶ:学習 古典的条件づけ、味覚嫌悪条件づけ、オペラント条件づけ、強化スケジュール、学習性無力感、弁別と般化について学習する。復習と思考の内容を予習する(3時間)		
7	5 月 25 日	考える:思考 洞察、帰納的推論、演繹的推論、ルーチャンスの水がめ問題について学習する。第4回から第6回までの復習と原因帰着の内容を予習する(6時間)		
8	6 月 1 日	決める:原因帰着 原因帰着の概念、原因帰着理論について学習する。復習と達成動機の内容を予習する(3時間)		

9	6月8日	頑張る:達成動機 どんな時に頑張れる、やればできるとき、内から湧き出すやる気、達成感を味わえる時、もうこれ以上頑張れないと思うとき、頑張るためにはどうしたらいいか、について解説する。復習と自己の内容を予習する(3時間)
10	6月15日	気にする:自己 自己、自己開示、自己呈示、自己の喪失、社会・文化の中の自己、自己理解の不正確さ、について説明する。 第7回から第9回までの復習と説得の内容を予習する(6時間)
11	6月22日	伝える:説得 説得の概念、説得の効果を左右する要因、説得の「武器」、説得の技法、説得への抵抗を説明する。 復習と対人認識・対人魅力の内容を予習する(3時間)
12	6月29日	魅かれる:対人認識・対人魅力 対人認識・対人魅力について学習する。 復習とソーシャルスキル、集団行動の内容を予習する(3時間)
13	7月5日	付き合う:ソーシャルスキル、集団行動 ソーシャルスキルの概念、構成について学習し、繋がるためにはどうしたらいいか考える。同調行動、リーダーシップについて学習する。 第10回から第12回までの復習と援助行動の内容を予習する(6時間)
14	7月12日	助ける:援助行動 援助行動とは何か、援助行動の影響要因と個人要因について学習する。ソーシャル・サポートの意義、ソーシャル・サポートのネットワーク作りについて検討する。総復習(6時間)
15	7月19日	意思決定 意思決定の心理学について学習する。授業の総括 期末考査の準備及び総復習(6時間)
<教科書・参考書>		
【心理学概論 ヒューマン・サイエンスへの招待】松田幸弘編著 ナカニシヤ出版 (教科書は必須です)		

科目番号	33	科目名	基礎看護論		
英文科目名					
大学・短期大学名	聖泉		大学		
連絡先	滋賀県彦根市肥田町720				
	TEL :	0749-43-7510	FAX :	0749-43-5210	
担当教員	西山 ゆかり		(看護 学部 教授)		
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教室名		会場	聖泉大学		
授業期間	2024 年 4 月 5 日 (金) ~ 2024 年 5 月 10 日 (金) <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験 (筆記)		0	%	
	レポート試験 (期末)		25	%	
	平常点 (出席・授業態度)		0	%	
	その他 (毎回の事前・事後課題、小テスト)		75	%	
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
1. 看護とは何か、看護の本質について理解し述べることができる。					
2. 看護の機能と役割について自らの考えを述べるができる。					
3. 学生として、自身の進むべきキャリア形成について考えを述べるができる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4 月 5 日	看護(学)への導入、看護の本質/看護の変遷、看護の概念の変遷			
2	4 月 5 日	生活とは何か:生活行動について考える			
3	4 月 12 日	看護の機能と役割:看護の本質的な機能と役割、エビデンスに基づいた看護実践			
4	4 月 19 日	看護と法律:看護の概念、保健師助産師看護師法、看護実践における法的規制・責任			
5	4 月 19 日	医療安全:医療現場で起こった医療事故について調べ、考える。			
6	4 月 26 日	看護における倫理:看護者の倫理効力、職業上の倫理的課題			
7	5 月 10 日	看護専門職としての教育:看護教育制度、看護基礎教育と継続教育			
8	5 月 10 日	看護の日について考える			
9	月 日				
10	月 日				
11	月 日				
12	月 日				
13	月 日				
14	月 日				
15	月 日				
<教科書・参考書>					
1) 看護学概論-看護追及へのアプローチ第5版、田中幸子編、医歯薬出版、2022、9784263237588					
2) よくわかる看護職の倫理綱領第3版、峰村淳子、石塚睦子編著、照林社、2021、9784796525480					

科目番号	34	科目名	成人看護論
英 文 科 目 名	Adult Nursing		
大学・短期大学名	聖泉		大学
連 絡 先	滋賀県彦根市肥田町720		
	TEL :	0749-43-7510	FAX : 0749-43-5210
担 当 教 員	古川 智恵 (看護学部教授)		
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用
教 室 名	会場		
授 業 期 間	2024年10月3日木 ~ 2025年1月16日(木) <毎週 木曜日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30		
超過時の選考方法			
成績評価方法	定期試験(筆記)	70	%
	レポート試験(期末)	30	%
	平常点(出席・授業態度)	0	%
	その他()	0	%
別途負担費用	なし あり()円		
その他特記事項	各回、事前・事後課題を課す。授業外学習時間は事前と事後を合わせて60時間以上とする。課題の評価は、個別または全体にフィードバックを行う。		
<講義概要・到達目標>			
ライフサイクルにおける成人期の特徴について、身体的・心理的・社会的側面から解説し、成人の生活を支援するための保健・医療・福祉システムについて教授する。また、健康障害を潜在的・顕在的に有する成人とその家族への看護を考えるための看護理論・概念を整理し、急性期、回復期(リハビリテーション看護)、慢性期および人生の最終段階にある人の療養の場とその移行を支える援助について考察する。			
<到達目標>			
1. 成人の定義および成人をとりまく状況とライフスタイルの多様性について説明できる。			
2. 成人の発達段階や発達課題、身体・心理・社会的特徴について説明できる。			
3. 成人の健康障害について説明できる。			
4. 成人の看護に必要な基本的アプローチについて説明できる。			
5. 成人の生活と健康を守り育む保健・医療・福祉システムについて説明できる。			
6. あらゆる健康障害レベルにある成人について看護理論・概念を用いて考察できる。			
7. 急性期、回復期(リハビリテーション看護)、慢性期および人生の最終段階にある人への看護援助方法について考察できる。			
<授業スケジュール>			
回	月日	テーマ・キーワード	
1	10月3日	成人をとりまく今日の状況	
2	10月10日	成人期にある人の健康 ①健康とは、成人にとっての病気の体験とは	
3	10月17日	成人期にある人の健康 ②成人保健と今日の健康動向、保健・医療・福祉政策と今日の健康課題	
4	10月24日	成人期にある人の健康 ③生活習慣と健康	
5	10月31日	成人期にある人の健康 ④職業・労働と健康	
6	11月7日	成人期にある人の健康 ⑤生活ストレスと健康、性・更年期と健康	
7	11月14日	成人期にある人の健康 ⑥災害と健康	
8	11月21日	成人期にある人を看護するための基本的な考え方	
9	11月28日	健康状態に応じた看護①ヘルスプロモーション、ヘルスプロテクション	
10	12月5日	健康状態に応じた看護②健康状態が急激に変化し急性の状態にある人への看護	
11	12月12日	健康状態に応じた看護③生活機能障害のある人への看護(リハビリテーション看護)	
12	12月19日	健康状態に応じた看護④慢性的な経過をたどる健康障害を有する人への看護	
13	12月26日	健康状態に応じた看護⑤人生の最終段階にある人への看護	
14	1月9日	成人看護を充実させる実践的環境①看護職の倫理綱領と成人看護、専門職間の連携と協働	
15	1月16日	成人看護を充実させる実践的環境②医療安全、質の高い看護実践のための人材育成	
<教科書・参考書>			
南江堂 成人看護学概論(改定第4版)			
南江堂 成人看護学 成人看護技術[Web動画付](改訂第3版)			

科目番号	35	科目名	生物学基礎																																																		
英 文 科 目 名																																																					
大学・短期大学名	長浜バイオ			大学																																																	
連 絡 先	滋賀県長浜市田村町1266番地																																																				
	TEL :	0749-64-8100	FAX :	0749-64-8140																																																	
担 当 教 員	岩本 昌子 (バイオサイエンス 学部)																																																				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																																																				
教 室 名	大講義室①	会場	長浜バイオ大学																																																		
授 業 期 間	2024 年 4 月 10 日 (水) ~ 2024 年 7 月 17 日 (水) <毎週 水曜日> 2 時限・講時 11 : 10 ~ 12 : 40																																																				
超過時の選考方法																																																					
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)			0	%																																																
	レポート試験(期末)			25	%																																																
	平常点(出席・授業態度)			0	%																																																
	その他(小テスト)			75	%																																																
別途負担費用	なし			あり()円																																																	
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標> 高校で「生物学」を十分に履修してこなかった学生に向けた内容である。重要かつ基本的な専門用語を理解し、大学での高度な学びにつなげる。バイオサイエンスに関する幅広い内容にふれて、大学での学習意欲を高める。</p> <p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4月10日</td><td>第1回 生物とは何だろうか</td></tr> <tr><td>2</td><td>4月17日</td><td>第2回 細胞の構造</td></tr> <tr><td>3</td><td>4月24日</td><td>第3回 生物を構成する化学成分</td></tr> <tr><td>4</td><td>5月1日</td><td>第4回 遺伝子の発現(1.転写)</td></tr> <tr><td>5</td><td>5月8日</td><td>第5回 遺伝子の発現(2.翻訳)</td></tr> <tr><td>6</td><td>5月15日</td><td>第6回 DNAの複製</td></tr> <tr><td>7</td><td>5月22日</td><td>第7回 酵素と代謝</td></tr> <tr><td>8</td><td>5月29日</td><td>第8回 植物の光合成</td></tr> <tr><td>9</td><td>6月5日</td><td>第9回 細胞周期と細胞分化</td></tr> <tr><td>10</td><td>6月12日</td><td>第10回 生殖(配偶子形成と受精)</td></tr> <tr><td>11</td><td>6月19日</td><td>第11回 動物の発生</td></tr> <tr><td>12</td><td>6月26日</td><td>第12回 多細胞生物の自己維持</td></tr> <tr><td>13</td><td>7月3日</td><td>第13回 免疫のしくみ</td></tr> <tr><td>14</td><td>7月10日</td><td>第14回 遺伝のしくみと遺伝病</td></tr> <tr><td>15</td><td>7月17日</td><td>第15回 生物進化と生物多様性</td></tr> </tbody> </table> <p><教科書・参考書> 南雲保 編「やさしい基礎生物学」 羊土社</p>					回	月日	テーマ・キーワード	1	4月10日	第1回 生物とは何だろうか	2	4月17日	第2回 細胞の構造	3	4月24日	第3回 生物を構成する化学成分	4	5月1日	第4回 遺伝子の発現(1.転写)	5	5月8日	第5回 遺伝子の発現(2.翻訳)	6	5月15日	第6回 DNAの複製	7	5月22日	第7回 酵素と代謝	8	5月29日	第8回 植物の光合成	9	6月5日	第9回 細胞周期と細胞分化	10	6月12日	第10回 生殖(配偶子形成と受精)	11	6月19日	第11回 動物の発生	12	6月26日	第12回 多細胞生物の自己維持	13	7月3日	第13回 免疫のしくみ	14	7月10日	第14回 遺伝のしくみと遺伝病	15	7月17日	第15回 生物進化と生物多様性
回	月日	テーマ・キーワード																																																			
1	4月10日	第1回 生物とは何だろうか																																																			
2	4月17日	第2回 細胞の構造																																																			
3	4月24日	第3回 生物を構成する化学成分																																																			
4	5月1日	第4回 遺伝子の発現(1.転写)																																																			
5	5月8日	第5回 遺伝子の発現(2.翻訳)																																																			
6	5月15日	第6回 DNAの複製																																																			
7	5月22日	第7回 酵素と代謝																																																			
8	5月29日	第8回 植物の光合成																																																			
9	6月5日	第9回 細胞周期と細胞分化																																																			
10	6月12日	第10回 生殖(配偶子形成と受精)																																																			
11	6月19日	第11回 動物の発生																																																			
12	6月26日	第12回 多細胞生物の自己維持																																																			
13	7月3日	第13回 免疫のしくみ																																																			
14	7月10日	第14回 遺伝のしくみと遺伝病																																																			
15	7月17日	第15回 生物進化と生物多様性																																																			

科目番号	36	科目名	基礎微生物学																																																		
英文科目名																																																					
大学・短期大学名	長浜バイオ			大学																																																	
連絡先	滋賀県長浜市田村町1266番地																																																				
	TEL :	0749-64-8100		FAX :	0749-64-8140																																																
担当教員	石川 聖人 (バイオサイエンス 学部)																																																				
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																																																				
教室名	中講義室⑥	会場	長浜バイオ大学																																																		
授業期間	2024 年 4 月 9 日 (火) ~ 2024 年 7 月 16 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 30 ~ 11 : 00																																																				
超過時の選考方法																																																					
成績評価方法	定期試験 (筆記)				0 %																																																
	レポート試験 (期末)				100 %																																																
	平常点 (出席・授業態度)				0 %																																																
	その他 ()				0 %																																																
別途負担費用	なし				あり()円																																																
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標> 本講義では、肉眼で見ることのできない微小生物発見の歴史から、微生物の分類法、純粋分離法、培養法、染色法と各種顕微鏡による観察、微生物の栄養学的性質と増殖、構造と機能の違い、環境因子の増殖への影響といった微生物研究のための基本技術を概説し、自立増殖できる生命の中で最も基本となる微生物について理解を深める。更に微生物における物質生産、環境浄化そして自然界での物質循環における役割なども概説する。</p> <p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4月9日</td><td>第1回 微生物学の概念と歴史</td></tr> <tr><td>2</td><td>4月16日</td><td>第2回 微生物の取り扱い方</td></tr> <tr><td>3</td><td>4月23日</td><td>第3回 エネルギーの獲得方法</td></tr> <tr><td>4</td><td>4月30日</td><td>第4回 微生物の生育と条件</td></tr> <tr><td>5</td><td>5月7日</td><td>第5回 微生物の分類Ⅰ:微生物進化学と分類学</td></tr> <tr><td>6</td><td>5月14日</td><td>第6回 微生物の分類Ⅱ:古細菌・真核微生物</td></tr> <tr><td>7</td><td>5月21日</td><td>第7回 微生物と抗生物質</td></tr> <tr><td>8</td><td>5月28日</td><td>第8回 ウイルス</td></tr> <tr><td>9</td><td>6月4日</td><td>第9回 遺伝子操作における微生物の利用</td></tr> <tr><td>10</td><td>6月11日</td><td>第10回 アルコール発酵</td></tr> <tr><td>11</td><td>6月18日</td><td>第11回 アミノ酸の生産</td></tr> <tr><td>12</td><td>6月25日</td><td>第12回 食物保存と微生物汚染</td></tr> <tr><td>13</td><td>7月2日</td><td>第13回 極限環境微生物</td></tr> <tr><td>14</td><td>7月9日</td><td>第14回 微生物による元素循環</td></tr> <tr><td>15</td><td>7月16日</td><td>第15回 微生物による排水処理</td></tr> </tbody> </table> <p><教科書・参考書> 「ベーシックマスター 微生物学」掘越弘毅監修 井上明編 オーム社</p>					回	月日	テーマ・キーワード	1	4月9日	第1回 微生物学の概念と歴史	2	4月16日	第2回 微生物の取り扱い方	3	4月23日	第3回 エネルギーの獲得方法	4	4月30日	第4回 微生物の生育と条件	5	5月7日	第5回 微生物の分類Ⅰ:微生物進化学と分類学	6	5月14日	第6回 微生物の分類Ⅱ:古細菌・真核微生物	7	5月21日	第7回 微生物と抗生物質	8	5月28日	第8回 ウイルス	9	6月4日	第9回 遺伝子操作における微生物の利用	10	6月11日	第10回 アルコール発酵	11	6月18日	第11回 アミノ酸の生産	12	6月25日	第12回 食物保存と微生物汚染	13	7月2日	第13回 極限環境微生物	14	7月9日	第14回 微生物による元素循環	15	7月16日	第15回 微生物による排水処理
回	月日	テーマ・キーワード																																																			
1	4月9日	第1回 微生物学の概念と歴史																																																			
2	4月16日	第2回 微生物の取り扱い方																																																			
3	4月23日	第3回 エネルギーの獲得方法																																																			
4	4月30日	第4回 微生物の生育と条件																																																			
5	5月7日	第5回 微生物の分類Ⅰ:微生物進化学と分類学																																																			
6	5月14日	第6回 微生物の分類Ⅱ:古細菌・真核微生物																																																			
7	5月21日	第7回 微生物と抗生物質																																																			
8	5月28日	第8回 ウイルス																																																			
9	6月4日	第9回 遺伝子操作における微生物の利用																																																			
10	6月11日	第10回 アルコール発酵																																																			
11	6月18日	第11回 アミノ酸の生産																																																			
12	6月25日	第12回 食物保存と微生物汚染																																																			
13	7月2日	第13回 極限環境微生物																																																			
14	7月9日	第14回 微生物による元素循環																																																			
15	7月16日	第15回 微生物による排水処理																																																			

科目番号	37	科目名	遺伝子工学		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	長浜バイオ			大学	
連 絡 先	滋賀県長浜市田村町1266番地				
	TEL :	0749-64-8100		FAX :	0749-64-8140
担 当 教 員	石川 聖人 (バイオサイエンス 学部)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	大講義室②		会場	長浜バイオ大学	
授 業 期 間	2024 年 9 月 27 日 (金) ~ 2025 年 1 月 10 日 (金) <毎週 金曜日> 1 時限・講時 9 : 30 ~ 11 : 0 0				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		0		%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		100		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		0		%
	(成績が合格点に達しない場合 そ の 他 には追加レポートを課すことも ある。)		0		%
別 途 負 担 費 用	なし			あり()円	
そ の 他 特 記 事 項					
<講義概要・到達目標>					
DNAを組換えて新しい塩基配列を有するDNAをつくる遺伝子工学は、バイオテクノロジーの中心技術である。現在では生命現象の解明・医薬品の製造・病気の診断・品種改良なども遺伝子工学なしでは成り立たなくなっている。本講義では、遺伝子工学の発展のきっかけとなった酵素の発見・技術の発明から、最先端のゲノム編集・次世代シーケンシングの技術についても解説する。本講義を通じて、遺伝子工学実験の基本原理を教育し、私達の身近に応用されているバイオテクノロジーに対しての正しい理解を与える。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9 月 27 日	第1回 遺伝子工学の概要			
2	10 月 4 日	第2回 細菌の自己防衛手段1:制限修飾系			
3	10 月 11 日	第3回 制限酵素の利用と応用			
4	10 月 18 日	第4回 細菌の自己防衛手段2:CRISPR-Casシステム			
5	10 月 25 日	第5回 ゲノム編集技術			
6	11 月 1 日	第6回 核酸の構造的特徴と合成			
7	11 月 8 日	第7回 PCR法			
8	11 月 15 日	第8回 遺伝子の運び手:プラスミド・ファージ・トランスポゾン			
9	11 月 22 日	第9回 宿主生物へのDNA導入			
10	11 月 29 日	第10回 核酸の電気泳動とプロットイング			
11	12 月 6 日	第11回 塩基配列の決定方法			
12	12 月 13 日	第12回 塩基配列決定の先端技術			
13	12 月 20 日	第13回 遺伝子のライブラリー作成と選択			
14	12 月 27 日	第14回 遺伝子発現解析			
15	1 月 10 日	第15回 遺伝子産物の機能解析			
<教科書・参考書>					
基礎から学ぶ遺伝子工学(第3版) 田村隆明 著 羊土社					

科目番号	38	科目名	近江でのSDGsの実践	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	長浜バイオ		大学	
連 絡 先	滋賀県長浜市田村町1266番地			
	TEL :	0749-64-8100	FAX :	0749-64-8140
担 当 教 員	蔡 晃植・坂井 伸彰 (バイオサイエンス 学部)			
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用
教 室 名	-	会場	-	
授 業 期 間	2024 年 10 月 未定日 () ~ 2024 年 12 月 未定日 () <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :			
超過時の選考方法				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	0		%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	0		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	0		%
	そ の 他 (各回ごとに小テスト、レポート、発表などで評価する。)	100		%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	※フィールドトリップあり			
<講義概要・到達目標>				
2024年10月以降に開催予定(4回) (90分×3時限分) ※詳細は後日決定				
<p>持続可能な開発目標であるSDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた17の目標から構成される人間、地球および繁栄のための行動計画である。滋賀県は全国に先駆けて、2017年1月にSDGsを県政に取り込むことを宣言した。本科目ではまず、SDGsとは何か学び、SDGsで掲げるの17個の目標とその目標達成への実践例なども学ぶことでSDGsへの理解を深める。また、SDGsでの目標を近江の地で実践していくためにはどのような行動計画を立ててどのように実践していけば良いのかを、グループワークを通してそれぞれが考え、それを皆で共有することで、将来の持続可能な社会の構想実現に寄与するための足がかりを得る。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	月 日	第1回 SDGsとは何か 第一時限 SDGsとは何か(経済・社会・環境の調和、5つのP、17の目標と169のターゲットの相関、指標)(講義)		
2		第1回 第二時限 滋賀県におけるSDGsへの取り組み、SDGsでの17の目標を達成するための様々な実践例(講義、演習)		
3		第1回 第三時限 SDGsの実践(フィールドワーク)		
4		第1回 第四時限 SDGsの実践(フィールドワーク)		
5		第1回 第五時限 SDGsの実践(グループワーク)		

6	月 日	第2回 ①SDGsとは何か SDGsの5つのP(People:人間) 目標1,2,3,4,5,6の達成に向けて 第一時限 SDGsの目標1,2,3,4,5,6とは何か、取り組み例(講義)
7		第2回 第二時限 SDGsの目標1,2,3,4,5,6に対する意見、滋賀で目標1,2,3,4,5,6を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
8		第2回 ②SDGsとは何か SDGsの5つのP(Prosperity:豊かさ) 目標7,8,9,10,11の達成に向けて 第三時限 SDGsの目標7,8,9,10,11とは何か、取り組み例(講義)
9		第2回 第四時限 SDGsの目標7,8,9,10,11に対する意見、滋賀で目標7,8,9,10,11を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
10	月 日	第3回 ①SDGsとは何か SDGsの5つのP(Planet:地球) 目標12,13,14,15の達成に向けて 第一時限 SDGsの目標12,13,14,15とは何か、取り組み例(講義)
11		第3回 第二時限 SDGsの目標12,13,14,15に対する意見、滋賀で目標12,13,14,15を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
12		第3回 ②SDGsとは何か SDGsの5つのP(Peace:平和)と(Partnership) 目標16,17の達成に向けて 第三時限 SDGsの目標16,17とは何か、取り組み例(講義)
13		第3回 第四時限 SDGsの目標16,17に対する意見、滋賀で目標16,17を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
14	月 日	第4回 SDGsの概念を体験する 第一時限 SDGsにおける経済・社会・環境の調和を体験する①(SDGsカードを利用したグループワーク等)
15		第4回 第二時限 SDGsにおける経済・社会・環境の調和を体験する②(SDGsカードを利用したグループワーク等)
<教科書・参考書>		
必要に応じて資料を配付する。		

科目番号	39	科目名	子ども学総論		
英文科目名	General Remarks of Child Studies				
大学・短期大学名	びわこ学院			大学	
連絡先	びわこ学院大学 教務課				
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202	
担当教員	渡辺 雅幸、烏野 猛、奥田 愛子 (教育福祉 学部 准教授、教授、教授)				
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	1107(大)講義室 2101(第5)講義室	会場	びわこ学院大学		
授業期間	2024 年 4 月 11 日 (木) 2024 年 7 月 15 日 (月) <毎週 木曜日> 4 時限・講時 14 : 40 ~ 16 : 10 金曜日 1 9 : 00 ~ 10 : 30				
超過時の選考方法	抽選				
成績評価方法	定期試験 (筆記)	0 %			
	レポート試験 (期末)	0 %			
	平常点 (出席・授業態度)	40 %			
	その他 ()	60 %			
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	3名の担当者の総合評価で行う				
<講義概要・到達目標>					
3人の担当者が、心理学、福祉法学、教育学それぞれの専門領域から「子ども学」の研究方法や内容、課題について概説する。また「子ども」に関わる諸課題について、各々の専門領域での検討枠組みの基本的理解をおさえたうえで、その枠組みを超えたアプローチ方法について考察を行う。オムニバス形式であるものの、ディベートや、グループディスカッションを踏まえた講義を展開する。					
①「子ども学」の概要について説明できる。 ②心理学、社会福祉学、教育学の各分野で用いられる基礎的な用語・概念について説明できる。 ③「子ども」に対し、学術的背景を踏まえて対応するための基礎的な知識や考え方・態度を身につけることができる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月11日	「子ども」の今と昔			
2	4月18日	「子ども」の貧困			
3	4月25日	「子ども」主体の学び			
4	5月2日	子育て支援制度			
5	5月9日	途上国の「子ども」			
6	5月16日	子ども領域における裁判事例①			
7	5月23日	子どもと虐待についての判例考察			
8	5月30日	子どもと親権についての判例考察			
9	6月6日	保育所・幼稚園における事故の判例考察			
10	6月13日	小学校以上の教育現場における事故の判例考察			
11	6月17日	子どもの発達を探る1			
12	6月24日	子どもの発達を探る2			
13	7月1日	子どもの遊びと学び1			
14	7月8日	子どもの遊びと学び2			
15	7月15日	子どもの育ち			
<教科書・参考書>					
必要に応じ、適宜、プリント・資料を配布する。講義が始まってから、各教員の指示に従って下さい。					

科目番号	40	科目名	滋賀の環境	
英文科目名	Environment of Shiga			
大学・短期大学名	びわこ学院		大学	
連絡先	びわこ学院大学 教務課			
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202
担当教員	佐々木 和之 (教育福祉 学部 非常勤講師)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	2102(第6)講義室	会場	びわこ学院大学	
授業期間	2024 年 10 月 1 日 (火) ~ 2025 年 1 月 21 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法	抽選			
成績評価方法	定期試験 (筆記)			0 %
	レポート試験 (期末)			44 %
	平常点 (出席・授業態度)			0 %
	その他 (レポート (博物館見学等))			56 %
別途負担費用	なし		あり (環境イベントへの交通費・参加費) 円	
その他特記事項	環境イベントへの各自の参加を踏まえたレポート課題あり。(対象とする環境イベントは春学期に提示)			
<講義概要・到達目標>				
近年、環境学習の重要性が高まっている。身近に「環境」をうたうものが溢れる中、この講義では滋賀という場を通じて「環境」を捉え直す。前半では、人間生活と生き物の視点から滋賀の環境を捉え、環境に対する取り組みや、環境の認識について学ぶ。後半では、いかに子ども達へ環境問題を伝えるかをテーマとして、博物館見学なども踏まえながら、演習も行っていく。				
① 環境問題を子ども達へ伝えることをテーマとして、各自が滋賀の環境を認識することができる。 ② 各自が環境への関わり方についての視座を持つことができる。 ③ 身近な環境問題について、複数の視点から問題を捉え、論点を明確に表現できる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	10月1日	市民活動と環境		
2	10月8日	人と環境		
3	10月15日	キャンパスで見つける滋賀の自然		
4	10月22日	人と自然		
5	10月29日	環境の認識		
6	11月5日	環境の調べ方		
7	11月12日	グリーン購入運動を通じた環境への関わり		
8	11月19日	滋賀県の生物多様性とその保全		
9	11月26日	エネルギー問題と地球温暖化		
10	12月3日	環境学習		
11	12月10日	環境をテーマとした学習計画		
12	12月17日	学びを誘う学習プログラムの立案		
13	1月7日	学習のまとめと評価・授業計画と実施における視点		
14	1月14日	地域の魅力を調べる「地域調べ」		
15	1月21日	地域調べの記録化と活用		
<教科書・参考書>				
適宜、プリント、資料を配布する。				

科目番号	41	科目名	スポーツ生理学Ⅱ																																																		
英文科目名	Sports physiology II																																																				
大学・短期大学名	びわこ学院			大学																																																	
連絡先	びわこ学院大学 教務課																																																				
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202																																																	
担当教員	高木 俊			(教育福祉 学部 講師)																																																	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用																																																		
教室名	5201講義室	会場	びわこ学院大学																																																		
授業期間	2024年4月5日(金)～2024年7月19日(金) <毎週金曜日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30																																																				
超過時の選考方法	抽選																																																				
成績評価方法	定期試験(筆記)				40 %																																																
	レポート試験(期末)				0 %																																																
	平常点(出席・授業態度)				10 %																																																
	その他()				50 %																																																
別途負担費用	なし		あり()円																																																		
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標> 身体活動・運動やスポーツを実施することで生じる一過性の生体応答や習慣的な運動トレーニングによる身体適応について、様々な生理学的視点より学習する。また、効率的な競技力向上・健康づくりのためのトレーニング(筋力・筋パワー・筋持久力・全身持久力)や身体づくり(ウエイトコントロール・骨格筋の増量)について、最新知見を踏まえつつ、生理学的な視点から理解を深める。スポーツ競技・健康づくりに関係する社会的または個人的諸問題に対してスポーツ生理学的な側面から解決策を考え、グループ発表する。</p> <p>① 身体活動やスポーツ実施時の一過性の生体応答や習慣的な継続(トレーニング)による身体適応について様々な視点から生理学的に説明できる。</p> <p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4月5日</td><td>ガイダンス</td></tr> <tr><td>2</td><td>4月12日</td><td>筋カトレーニングのスポーツ生理学</td></tr> <tr><td>3</td><td>4月19日</td><td>筋パワー・筋持久カトレーニングのスポーツ生理学</td></tr> <tr><td>4</td><td>4月26日</td><td>全身持久力のスポーツ生理学</td></tr> <tr><td>5</td><td>5月10日</td><td>全身持久カトレーニングのスポーツ生理学</td></tr> <tr><td>6</td><td>5月17日</td><td>運動と身体組成</td></tr> <tr><td>7</td><td>5月24日</td><td>運動と栄養摂取(体づくり)</td></tr> <tr><td>8</td><td>5月31日</td><td>運動と内分泌系</td></tr> <tr><td>9</td><td>6月7日</td><td>運動と生活習慣病</td></tr> <tr><td>10</td><td>6月14日</td><td>運動と脳機能</td></tr> <tr><td>11</td><td>6月21日</td><td>運動と環境</td></tr> <tr><td>12</td><td>6月28日</td><td>筋肉痛のスポーツ生理学</td></tr> <tr><td>13</td><td>7月5日</td><td>リカバリーのスポーツ生理学</td></tr> <tr><td>14</td><td>7月12日</td><td>グループ発表</td></tr> <tr><td>15</td><td>7月19日</td><td>まとめ</td></tr> </tbody> </table> <p><教科書・参考書> 必要に応じ、適宜、プリント・資料を配布する。</p>					回	月日	テーマ・キーワード	1	4月5日	ガイダンス	2	4月12日	筋カトレーニングのスポーツ生理学	3	4月19日	筋パワー・筋持久カトレーニングのスポーツ生理学	4	4月26日	全身持久力のスポーツ生理学	5	5月10日	全身持久カトレーニングのスポーツ生理学	6	5月17日	運動と身体組成	7	5月24日	運動と栄養摂取(体づくり)	8	5月31日	運動と内分泌系	9	6月7日	運動と生活習慣病	10	6月14日	運動と脳機能	11	6月21日	運動と環境	12	6月28日	筋肉痛のスポーツ生理学	13	7月5日	リカバリーのスポーツ生理学	14	7月12日	グループ発表	15	7月19日	まとめ
回	月日	テーマ・キーワード																																																			
1	4月5日	ガイダンス																																																			
2	4月12日	筋カトレーニングのスポーツ生理学																																																			
3	4月19日	筋パワー・筋持久カトレーニングのスポーツ生理学																																																			
4	4月26日	全身持久力のスポーツ生理学																																																			
5	5月10日	全身持久カトレーニングのスポーツ生理学																																																			
6	5月17日	運動と身体組成																																																			
7	5月24日	運動と栄養摂取(体づくり)																																																			
8	5月31日	運動と内分泌系																																																			
9	6月7日	運動と生活習慣病																																																			
10	6月14日	運動と脳機能																																																			
11	6月21日	運動と環境																																																			
12	6月28日	筋肉痛のスポーツ生理学																																																			
13	7月5日	リカバリーのスポーツ生理学																																																			
14	7月12日	グループ発表																																																			
15	7月19日	まとめ																																																			

科目番号	42	科目名	メンタルトレーニング論																																																		
英 文 科 目 名	Mental Training Theory																																																				
大学・短期大学名	びわこ学院			大学																																																	
連 絡 先	びわこ学院大学 教務課																																																				
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202																																																	
担 当 教 員	竹内 早耶香			(教育福祉 学部 講師)																																																	
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用																																																		
教 室 名	5201講義室	会場	びわこ学院大学																																																		
授 業 期 間	2024 年 4 月 9 日 (火) ~ 2024 年 7 月 16 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30																																																				
超過時の選考方法	抽選																																																				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)	0 %																																																			
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	50 %																																																			
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	0 %																																																			
	そ の 他 ()	50 %																																																			
別 途 負 担 費 用	なし	あり()円																																																			
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標></p> <p>本授業では、アスリートの実力発揮やパフォーマンスの向上に関係する様々な心理的現象について理解を深めるとともに、自身の日常生活及び競技に対する姿勢について再考することを目指す。そこでは、心理スキルトレーニング方法の習得はもちろん、スキルトレーニングを通じて自身の心理的課題への克服に取り組む。体験的な理解を深める目的から、講義時に実習を予定している。</p> <p>① メンタルトレーニングの理論的背景を理解し、説明することができる。 ② アスリートが遭遇する、心理的現象に関する知識を習得し、説明することができる。 ③ 日常生活及び競技に対する姿勢について再考する態度を身につけ、自身の生活に応用することができる。</p> <p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4月9日</td><td>オリエンテーション</td></tr> <tr><td>2</td><td>4月16日</td><td>メンタルトレーニングの理論的背景</td></tr> <tr><td>3</td><td>4月23日</td><td>メンタルトレーニングの実際① アセスメント</td></tr> <tr><td>4</td><td>4月30日</td><td>メンタルトレーニングの実際② セルフモニタリング</td></tr> <tr><td>5</td><td>5月7日</td><td>メンタルトレーニングの実際③ リラクゼーション</td></tr> <tr><td>6</td><td>5月14日</td><td>メンタルトレーニングの実際④ 目標設定</td></tr> <tr><td>7</td><td>5月21日</td><td>メンタルトレーニングの実際⑤ メンタルマネジメント</td></tr> <tr><td>8</td><td>5月28日</td><td>メンタルトレーニングの実際⑥ メンタル・ブロック</td></tr> <tr><td>9</td><td>6月4日</td><td>メンタルトレーニングの実際⑦ ピークパフォーマンス</td></tr> <tr><td>10</td><td>6月11日</td><td>メンタルトレーニングの実際⑧ 集中力</td></tr> <tr><td>11</td><td>6月18日</td><td>メンタルトレーニングの実際⑨ 行動変容技法</td></tr> <tr><td>12</td><td>6月25日</td><td>メンタルトレーニングの実際⑩ バイオフィードバック技法</td></tr> <tr><td>13</td><td>7月2日</td><td>メンタルトレーニングの実際⑪ フォローアップ</td></tr> <tr><td>14</td><td>7月9日</td><td>心理サポートの実際</td></tr> <tr><td>15</td><td>7月16日</td><td>まとめ</td></tr> </tbody> </table> <p><教科書・参考書></p> <p>必要に応じ、適宜、プリント・資料を配布する。</p>					回	月日	テーマ・キーワード	1	4月9日	オリエンテーション	2	4月16日	メンタルトレーニングの理論的背景	3	4月23日	メンタルトレーニングの実際① アセスメント	4	4月30日	メンタルトレーニングの実際② セルフモニタリング	5	5月7日	メンタルトレーニングの実際③ リラクゼーション	6	5月14日	メンタルトレーニングの実際④ 目標設定	7	5月21日	メンタルトレーニングの実際⑤ メンタルマネジメント	8	5月28日	メンタルトレーニングの実際⑥ メンタル・ブロック	9	6月4日	メンタルトレーニングの実際⑦ ピークパフォーマンス	10	6月11日	メンタルトレーニングの実際⑧ 集中力	11	6月18日	メンタルトレーニングの実際⑨ 行動変容技法	12	6月25日	メンタルトレーニングの実際⑩ バイオフィードバック技法	13	7月2日	メンタルトレーニングの実際⑪ フォローアップ	14	7月9日	心理サポートの実際	15	7月16日	まとめ
回	月日	テーマ・キーワード																																																			
1	4月9日	オリエンテーション																																																			
2	4月16日	メンタルトレーニングの理論的背景																																																			
3	4月23日	メンタルトレーニングの実際① アセスメント																																																			
4	4月30日	メンタルトレーニングの実際② セルフモニタリング																																																			
5	5月7日	メンタルトレーニングの実際③ リラクゼーション																																																			
6	5月14日	メンタルトレーニングの実際④ 目標設定																																																			
7	5月21日	メンタルトレーニングの実際⑤ メンタルマネジメント																																																			
8	5月28日	メンタルトレーニングの実際⑥ メンタル・ブロック																																																			
9	6月4日	メンタルトレーニングの実際⑦ ピークパフォーマンス																																																			
10	6月11日	メンタルトレーニングの実際⑧ 集中力																																																			
11	6月18日	メンタルトレーニングの実際⑨ 行動変容技法																																																			
12	6月25日	メンタルトレーニングの実際⑩ バイオフィードバック技法																																																			
13	7月2日	メンタルトレーニングの実際⑪ フォローアップ																																																			
14	7月9日	心理サポートの実際																																																			
15	7月16日	まとめ																																																			

科目番号	43	科目名	レクリエーション論		
英文科目名	Recreation Theory				
大学・短期大学名	びわこ学院大学			短期大学部	
連絡先	びわこ学院大学短期大学部 教務課				
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202	
担当教員	山ノ井 勉			(ライフデザイン 学科 講師)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教室名	1201W(第1)講義室	会場	びわこ学院大学		
授業期間	2024年4月10日(水)～2024年7月17日(水) <毎週水曜日> 5 時限・講時 16 : 20 ~ 17 : 50				
超過時の選考方法	抽選				
成績評価方法	定期試験(筆記)				0 %
	レポート試験(期末)				30 %
	平常点(出席・授業態度)				40 %
	その他()				30 %
別途負担費用	なし			あり)円
その他特記事項	レクリエーションの実践において、物品等の購入が必要となる場合がある。				
<講義概要・到達目標>					
社会または地域におけるレクリエーションの意義について、「なぜレクリエーションが必要なのか」を問いかけながら理解を深めていくと同時に、グループワークでの具体的なレクリエーション活動の計画・実践を通して、レクリエーション活動を展開する上での基礎的なスキルを習得します。					
① 現代社会におけるレクリエーションの意義および理念が理解できる。					
② レクリエーション実践のための基礎的なスキルを習得することができる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月10日	オリエンテーション			
2	4月17日	レクリエーションの歴史と人間社会			
3	4月24日	レクリエーションの活動領域			
4	5月1日	日常生活とレクリエーション			
5	5月8日	レクリエーションの参加者と支援者の役割			
6	5月15日	個人・集団のレクリエーション			
7	5月22日	社会福祉におけるレクリエーション活動			
8	5月29日	授業内試験(レポート)			
9	6月5日	レクリエーションの企画と実際			
10	6月12日	近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践①			
11	6月19日	近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践②			
12	6月26日	レクリエーション活動の実際①			
13	7月3日	レクリエーション活動の実際②			
14	7月10日	レクリエーション活動の実際③			
15	7月17日	授業内試験(計画書の作成)			
15	7月17日	授業内試験(計画書の作成)			
必要に応じ、適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	44	科目名	生活と福祉	
英文科目名	Life and Welfare			
大学・短期大学名	びわこ学院大学		短期大学部	
連絡先	びわこ学院大学短期大学部 教務課			
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202
担当教員	山ノ井 勉 (ライフデザイン 学科 講師)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	1107(大)講義室	会場	びわこ学院大学	
授業期間	2024年9月9日(月)～2025年1月27日(月) <毎週月曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法	抽選			
成績評価方法	定期試験(筆記)	0		%
	レポート試験(期末)	70		%
	平常点(出席・授業態度)	20		%
	その他()	10		%
別途負担費用	なし	あり()円		
その他特記事項	授業終了前にミニツツペーパーを実施します。			
<講義概要・到達目標>				
人間の生活において、福祉というのは大変重要な部分を占めていると考えられます。そこで、本講義では、これまでの人間の暮らしに関する社会福祉の理論や歴史等について学びつつ、現在までの生活や福祉に関わる社会制度のあり方や役割等について学びます。また、介護福祉士の資格試験に向けた対策も行う。そのため、振り返りシートの実施や、授業で取り組む課題について能動的な取り組みが必要となります。				
① 生活と福祉との関係について理解し、基本的知識を習得することができる。 ② 少子高齢社会など現代社会の課題を理解し、地域に貢献できる社会人としての基本的な姿勢・態度を身につけることができる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9月9日	オリエンテーション		
2	9月30日	生活と福祉		
3	10月7日	社会福祉の理論① 社会福祉と社会保障		
4	10月14日	社会福祉の理論② 社会保障論		
5	10月21日	社会福祉の理論③ 相談支援		
6	10月28日	社会福祉の理論④ 相談支援		
7	11月18日	授業内試験(筆記)		
8	11月25日	高齢者に対する支援①		
9	12月2日	高齢者に対する支援②		
10	12月9日	子どもに対する支援①		
11	12月16日	子どもに対する支援②		
12	12月23日	福祉にかかわる諸制度①		
13	1月6日	福祉にかかわる諸制度②		
14	1月20日	福祉にかかわる諸制度③		
15	1月27日	授業内試験(レポート)		
<教科書・参考書>				
必要に応じ、適宜、プリント・資料を配布する。				

科目番号	45	科目名	栄養と健康																																																	
英文科目名	Nutrition and Health																																																			
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ		大学																																																	
連絡先	大津市北比良1204番地																																																			
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429																																																
担当教員	武田 哲子		(スポーツ 学部 准教授)																																																	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用																																																	
教室名	未定	会場																																																		
授業期間	2024年4月17日(水)～2024年7月17日(水) <毎週水曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40																																																			
超過時の選考方法																																																				
成績評価方法	定期試験(筆記)	30	%																																																	
	レポート試験(期末)	40	%																																																	
	平常点(出席・授業態度)		%																																																	
	その他(中間試験)	30	%																																																	
別途負担費用	なし	あり()円																																																		
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標> 人の体は食べたものからできている。何を、どのように食べるかは健康的な生活を送るために重要な課題である。この授業では食事の働きについて理解し、健康的な生活を実践するために必要な知識を修得することを目的とする。</p> <p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4月17日</td><td>ガイダンスと食事と健康に関する概説</td></tr> <tr><td>2</td><td>4月24日</td><td>エネルギー源</td></tr> <tr><td>3</td><td>5月1日</td><td>身体づくり</td></tr> <tr><td>4</td><td>5月8日</td><td>身体の機能調節</td></tr> <tr><td>5</td><td>5月15日</td><td>健康のための身体づくりの評価</td></tr> <tr><td>6</td><td>5月22日</td><td>食生活の把握</td></tr> <tr><td>7</td><td>5月29日</td><td>前半授業と達成度チェック</td></tr> <tr><td>8</td><td>6月5日</td><td>成長期の食事の課題(身体的特徴と食生活)</td></tr> <tr><td>9</td><td>6月12日</td><td>思春期の食事の課題</td></tr> <tr><td>10</td><td>6月19日</td><td>成長期や思春期における食育</td></tr> <tr><td>11</td><td>6月26日</td><td>成人期の食事の課題(肥満、メタボリックシンドローム)</td></tr> <tr><td>12</td><td>7月3日</td><td>高齢期の食事の課題(骨・筋の健康維持)</td></tr> <tr><td>13</td><td>7月10日</td><td>栄養教育の概論</td></tr> <tr><td>14</td><td>7月17日</td><td>栄養教育の実践方法</td></tr> <tr><td>15</td><td>月 日</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p><教科書・参考書> 教科書は特に指定しない。参考文献は適宜紹介する。</p>				回	月日	テーマ・キーワード	1	4月17日	ガイダンスと食事と健康に関する概説	2	4月24日	エネルギー源	3	5月1日	身体づくり	4	5月8日	身体の機能調節	5	5月15日	健康のための身体づくりの評価	6	5月22日	食生活の把握	7	5月29日	前半授業と達成度チェック	8	6月5日	成長期の食事の課題(身体的特徴と食生活)	9	6月12日	思春期の食事の課題	10	6月19日	成長期や思春期における食育	11	6月26日	成人期の食事の課題(肥満、メタボリックシンドローム)	12	7月3日	高齢期の食事の課題(骨・筋の健康維持)	13	7月10日	栄養教育の概論	14	7月17日	栄養教育の実践方法	15	月 日	
回	月日	テーマ・キーワード																																																		
1	4月17日	ガイダンスと食事と健康に関する概説																																																		
2	4月24日	エネルギー源																																																		
3	5月1日	身体づくり																																																		
4	5月8日	身体の機能調節																																																		
5	5月15日	健康のための身体づくりの評価																																																		
6	5月22日	食生活の把握																																																		
7	5月29日	前半授業と達成度チェック																																																		
8	6月5日	成長期の食事の課題(身体的特徴と食生活)																																																		
9	6月12日	思春期の食事の課題																																																		
10	6月19日	成長期や思春期における食育																																																		
11	6月26日	成人期の食事の課題(肥満、メタボリックシンドローム)																																																		
12	7月3日	高齢期の食事の課題(骨・筋の健康維持)																																																		
13	7月10日	栄養教育の概論																																																		
14	7月17日	栄養教育の実践方法																																																		
15	月 日																																																			

科目番号	46	科目名	スポーツ社会学概論		
英 文 科 目 名	Introduction of Sport Sociology				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ			大学	
連 絡 先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429	
担 当 教 員	佐藤 馨			(スポーツ 学部 准教授)	
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	未定	会場			
授 業 期 間	2024 年 9 月 23 日 (月) ~ 2025 年 1 月 20 日 (月) <毎週 月曜日> 3 時限・講時 13 : 20 ~ 15 : 00				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			65	%
	レポ ー ト 試 験 (小 レポ ー ト)			5	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	そ の 他 (授 業 中 盤 の 確 認 テ ス ト)			30	%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項	本試験だけでなく、講義中盤で実施する確認テストも全体評価の30%を占める。従って、普段の講義で重要と指摘された点は確実に覚えるだけでなく、内容も正確に理解しておく必要がある。				
<講義概要・到達目標>					
スポーツ社会学では、スポーツの場面での人の行為や行動、スポーツに関わる組織やスポーツを通じて起こる社会現象や変動を学習する。講義では、スポーツに関連する事象を「人種・民族」「ジェンダー」「暴力」「マスメディア」「ドーピング」「政治」のテーマからスポーツに包含される課題を学ぶ。特にドーピングについては、学習指導要領「スポーツの歴史・文化的特徴と現代の特徴」において、それがスポーツの文化的価値を失わせる行為であることを過去の事例から理解し、その指導方法や授業計画の立て方について検討する。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9 月 23 日	スポーツ社会学概論:ガイダンスおよびスポーツ社会学の概説			
2	9 月 30 日	社会学とスポーツ スポーツにおける社会学の位置づけ			
3	10 月 7 日	社会学とスポーツ スポーツをする行為と社会による影響			
4	10 月 21 日	人種・民族とスポーツ 人種・民族とスポーツとの関わり			
5	10 月 28 日	人種・民族とスポーツ 歴史的にみたスポーツにおける人種・民族問題			
6	11 月 11 日	ジェンダーとスポーツ ジェンダーとは何か			
7	11 月 18 日	ジェンダーとスポーツ らしさとスポーツ			
8	11 月 25 日	ドーピングとスポーツ			
9	12 月 2 日	スポーツとメディア メディアがスポーツに与える影響			
10	12 月 9 日	スポーツとメディア スポーツの「見せ方」「あつかい方」			
11	12 月 16 日	スポーツとガバナンス			
12	12 月 23 日	スポーツとハラスメント			
13	1 月 6 日	スポーツと政治 スポーツと政治との結びつき			
14	1 月 20 日	スポーツと政治 スポーツにおけるテロリズム			
<教科書・参考書>					
教科書は特に指定しない。					
【参考文献】					
『Sport in Society 7th Ed』Coakley, J.J., Boston; MacGraw-Hill, 2001					
『スポーツの社会学』池田勝,守能信次編 杏林書院 1998					
『現代スポーツの社会学-課題と共生への道のり-』,J.コークリー,P.ドネリー著、前田和司,大沼義彦,村松和則共編訳,南窓社,2011					

科目番号	47	科目名	レジャー・レクリエーション論		
英文科目名	Study of Leisure and Recreation				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ			大学	
連絡先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429	
担当教員	佐藤 馨 (スポーツ 学部 准教授)				
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教室名	未定	会場			
授業期間	2024年4月17日(水)～2024年7月17日(水) <毎週水曜日> 3 時限・講時 13 : 20 ~ 15 : 00				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験(筆記)			65	%
	レポート試験(期末)			5	%
	平常点(出席・授業態度)				%
	その他(授業中盤の確認テスト)			30	%
別途負担費用	なし あり()円				
その他特記事項	本試験だけでなく、内容も正確に理解しておく必要がある。従って普段の授業で重要と指摘された点は確実に覚えること。				
<講義概要・到達目標>					
日本では経済活動だけでなく生活や人生を豊かにするレジャーやレクリエーション活動に目を向け、その重要性を再認識する時期と言える。本講義は、日常生活におけるレジャー・レクリエーションの意義や価値を理解するとともに、レクリエーション支援者として必要な基礎知識を習得する。さらに学習指導要領のスポーツ概論「豊かなスポーツライフの設計」にある、各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツの楽しみ方を理解し、指導時に活用できる知識を学ぶ。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月17日	レジャー・レクリエーション論:ガイダンスおよびレジャー・レクリエーション論の概説			
2	4月24日	レジャー・レクリエーションの考え方①レジャー・レクリエーションとは何か			
3	5月1日	レジャー・レクリエーションの考え方②現代社会において、なぜレジャー・レクリエーションは必要か			
4	5月8日	日本人の余暇生活			
5	5月15日	諸外国における余暇生活			
6	5月22日	前半までの授業のまとめと確認			
7	5月29日	社会福祉とレクリエーション①福祉におけるレクリエーションの意味			
8	6月5日	社会福祉とレクリエーション②セラピューティックレクリエーションの意味			
9	6月12日	セラピューティックレクリエーションの視点からみたサービスモデルの活用①余暇活用モデル、健康維持・増進モデル			
10	6月19日	セラピューティックレクリエーションの視点からみたレクリエーションサービスモデルの活用②楽しさ向上モデル、TRサービスモデル			
11	6月26日	レクリエーションによる対人関係能力向上モデルの活用①レクリエーション活用事例			
12	7月3日	レクリエーションによる対人関係能力向上モデルの活用②プログラムの作成方法			
13	7月10日	現場におけるセラピューティックレクリエーションの活用			
14	7月17日	レジャー・レクリエーションとスポーツと健康の関わり②21世紀のレジャー・レクリエーション			
<教科書・参考書>					
教科書は特に指定しない。					
【参考文献】					
『現代人とレジャー・レクリエーション』余暇問題研究所編著 不味堂 1997					
『レクリエーション・マネジメント』(財)日本レクリエーション協会編 大修館書店 1994					
『レクリエーション活動援助法』吉田圭一、茅野宏明編 ミネルヴァ書房 2007					
『レクリエーション援助』千葉和夫編 メヂカルフレンド社 1997					
『余暇学を学ぶ人のために』日本余暇学会監修 世界思想社 2004					
『地域福祉論』市川一宏、牧里毎治編著 ミネルヴァ書房 2007					

科目番号	48	科目名	スポーツバイオメカニクス概論	
英文科目名	Sport Biomechanics			
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ		大学	
連絡先	大津市北比良1204番地			
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429
担当教員	高橋 佳三 (スポーツ 学部 教授)			
実施方法	対面授業		遠隔授業 対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2024年4月19日(金)～2024年7月19日(金) <毎週金曜日> 3 時限・講時 13 : 20 ~ 15 : 00			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)	80	%	
	レポート試験(期末)		%	
	平常点(出席・授業態度)		%	
	その他(毎回の小テスト)	20	%	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	なし			
<講義概要・到達目標>				
<p>スポーツバイオメカニクスとは、「スポーツにおける運動、ヒト、用具、施設のふるまいを力学的観点から研究するスポーツ科学の基礎的領域の一つ」である。この講義では、様々なスポーツの動作について「動作をバイオメカニクスの観点から考える」ことを学び、スポーツの動作についてより深く観察、考察できるようになることを目的とする。基礎的な力学的計算ができ、動作の力学的な原理・原則を理解できるようになることで、スポーツの動作を力学的な視点で観察し、考察できるようになる。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月19日	スポーツバイオメカニクスとは？(イントロダクション)		
2	4月26日	スポーツ技術とはなにか？		
3	5月3日	速度、ピッチ、ストライド		
4	5月10日	スポーツバイオメカニクスの基礎(1):重心		
5	5月17日	スポーツバイオメカニクスの基礎(2):運動と力		
6	5月24日	スポーツバイオメカニクスの基礎(3):運動量と力積(I)		
7	5月31日	スポーツバイオメカニクスの基礎(4):運動量と力積(II)		
8	6月7日	スポーツバイオメカニクスの基礎(5):仕事と力学的エネルギー		
9	6月14日	スポーツバイオメカニクスの基礎(6):回転運動と慣性モーメント		
10	6月21日	スポーツバイオメカニクスの基礎(7):回転運動と角運動量		
11	6月28日	スポーツバイオメカニクスの基礎(8):流体力1(空気の流れと物体の形状、ボールの回転)		
12	7月5日	スポーツバイオメカニクスの基礎(9):流体力2(水の流れと物体の動き)		
13	7月12日	スポーツバイオメカニクスの基礎(10):良い動きのバイオメカニクスの原則		
14	7月19日	まとめ:授業の総合解説		
<教科書・参考書>				
教科書は特に指定しない。				
【参考文献】				
「スポーツバイオメカニクス」深代千之、桜井伸二、平野裕一、阿江通良 編著、朝倉書店				
「スポーツバイオメカニクス20講」阿江通良、藤井範久 著、朝倉書店				
「バイオメカニクスで読み解く スポーツ動作の科学」深代千之、川本竜史、石毛勇介、若山章信 著、東京大学出版会				

科目番号	49	科目名	神経科学総論A		
英 文 科 目 名	Introduction to Neuroscience (A)				
大学・短期大学名	びわこリハビリテーション専門職			大学	
連 絡 先	びわこリハビリテーション専門職大学 東近江(北坂)キャンパス事務センター				
	TEL :	0749-46-2311	FAX :	0749-46-2313	
担 当 教 員	三谷 章 (リハビリテーション 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教 室 名	4階 大教室	会場	八日市キャンパス		
授 業 期 間	2024 年 4 月 8 日 (月) ~ 2024 年 7 月 22 日 (月) <毎週 月曜日> 1 時限・講時 9 : 20 ~ 10 : 50				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)				%
	そ の 他 (毎 回 実 施 の 小 テ ス ト の 成 績)	100			%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	学習支援システムmanabaを使用する。欠席連絡や質問等はmanabaを活用する。				
<講義概要・到達目標>					
<p>神経系全般の構造と機能について初級講義を行う。具体的には、①機能素子としてのニューロンの働き、②生命維持に重要な自律神経機能、③運動発現の仕組み、について講述し、神経系全般にわたる広い基礎知識の習得を促す。生命科学、心理学やリハビリテーション科学などを修めるうえで基盤となる神経系の包括的イメージの形成を目指す。</p> <p>講義内容は、文系・理系を問わず神経系に興味のある学生が聴講するというレベルである。そのため、スタート時点では神経科学の知識は必要ではないが、興味深い内容や必要とされる知識について積極的に自主学習するような学生の聴講が望まれる。また将来、神経系が関係する専門課程に進む学生がその知識の整理のために聴講するのも適している。「神経科学総論A」のみの受講も可能だが、「神経科学総論B」も受講することによって神経系全体を学習できるので、連続した受講を推奨する。</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4 月 8 日	ニューロンの機能(静止電位の形成)			
2	4 月 15 日	ニューロンの機能(活動電位の発生)			
3	4 月 22 日	ニューロンの機能(活動電位の伝導)			
4	5 月 6 日	ニューロンの機能(シナプス伝達)			
5	5 月 13 日	神経系の構成			
6	5 月 20 日	自律神経機能(構成、交感神経系、副交感神経系、調節機構)			
7	5 月 27 日	筋収縮機構(骨格筋の構造と興奮収縮連関)			
8	6 月 3 日	筋収縮(単収縮、強縮)			
9	6 月 10 日	脊髄(運動ニューロン、運動単位)			
10	6 月 17 日	脊髄(筋の受容器)			
11	6 月 24 日	脊髄(反射)			
12	7 月 1 日	大脳皮質運動野(構成、伝導路)			
13	7 月 8 日	脳幹の運動機能			
14	7 月 15 日	大脳基底核の構造と機能			
15	7 月 22 日	小脳の構造と機能			
<教科書・参考書>					
教科書は使用しない。原則、毎回の授業で配布する講義プリントを使用する。参考書は授業中に紹介する。					

科目番号	50	科目名	神経科学総論B	
英 文 科 目 名	Introduction to Neuroscience (B)			
大学・短期大学名	びわこリハビリテーション専門職		大学	
連 絡 先	びわこリハビリテーション専門職大学 東近江(北坂)キャンパス事務センター			
	TEL :	0749-46-2311	FAX :	0749-46-2313
担 当 教 員	三谷 章 (リハビリテーション 学部 教授)			
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	4階 大教室	会場	八日市キャンパス	
授 業 期 間	2024 年 9 月 30 日 (月) ~ 2025 年 1 月 20 日 (月) <毎週 月曜日> 1 時限・講時 9 : 20 ~ 10 : 50			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			%
	そ の 他 (毎 回 実 施 の 小 テ ス ト の 成 績)	100		%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	学習支援システムmanabaを使用する。欠席連絡や質問等はmanabaを活用する。			
<講義概要・到達目標>				
<p>神経系全般の構造と機能について初級講義を行う。具体的には、①各感覚系の精巧ともいえる情報処理機構、②情報を統合する統合系機能、③動物的な個体維持や種族保存に関する神経機能、について講述し、神経系全般にわたる広い基礎知識の習得を促す。生命科学、心理学やリハビリテーション科学などを修めるうえで基盤となる神経系の包括的イメージの形成を目指す。</p> <p>講義内容は、文系・理系を問わず神経系に興味のある学生が聴講するというレベルである。そのため、スタート時点では神経科学の知識は必要ではないが、興味深い内容や必要とされる知識について積極的に自主学習するような学生の聴講が望まれる。また将来、神経系が関係する専門課程に進む学生がその知識の整理のために聴講するのも適している。「神経科学総論B」のみの受講も可能だが、「神経科学総論A」も受講することによって神経系全体を学習できるので、連続した受講を推奨する。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	9 月 30 日	感覚系総論		
2	10 月 7 日	平衡感覚(受容機構)		
3	10 月 14 日	平衡感覚(伝導路と機能)		
4	10 月 21 日	聴覚(受容機構)		
5	10 月 28 日	聴覚(中枢情報処理機構)		
6	11 月 4 日	体性感覚(受容機構)		
7	11 月 11 日	体性感覚(伝導路)		
8	11 月 18 日	視覚(眼球、網膜構造)		
9	11 月 25 日	視覚(網膜の情報処理)		
10	12 月 2 日	視覚(伝導路、大脳皮質視覚野)		
11	12 月 9 日	味覚・嗅覚		
12	12 月 16 日	高次脳機能(大脳皮質の構造)		
13	12 月 23 日	高次脳機能(大脳皮質連合野)		
14	1 月 6 日	高次脳機能(睡眠、覚醒、脳波)		
15	1 月 20 日	高次脳機能(辺縁系、視床下部)		
<教科書・参考書>				
教科書は使用しない。原則、毎回の授業で配布する講義プリントを使用する。参考書は授業中に紹介する。				

科目番号	51	科目名	スポーツマネジメント概論(V)																
英 文 科 目 名	Introductory Sports Management (V)																		
大学・短期大学名	立命館		大学																
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1																		
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935															
担 当 教 員	長積 仁 (スポーツ健康科 学部 教授)																		
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																		
教 室 名	コラーニングハウス I C204	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス																
授 業 期 間	2024 年 9 月 26 日 (木) ~ 2025 年 1 月 16 日 (木) <毎週 木曜日> 4 時限・講時 14 : 40 ~ 16 : 10																		
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口																		
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%															
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%															
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		100	%															
	そ の 他 ()			%															
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円																
そ の 他 特 記 事 項	<p><講義概要・到達目標></p> <p>【講義の概要と方法】</p> <p>スポーツマネジメントとは、スポーツ組織の使命や目的を達成するために行われる人間の活動であり、同時に人々のスポーツライフの質を高め、文化としてのスポーツを振興するために人間の英知を集結させた営みのことである。本講義では、「する・みる・ささえる・つくる」といった人とスポーツのかかわりの多面性を考慮し、公共機関から営利目的の企業までを事例に上げながら、人・組織・社会とスポーツの関係をデザインするために必要な視座に対する理解を深め、それを実践の場で活かすための基礎知識を身につけることを目的とする。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①スポーツマネジメントの基本的な考え方・基礎知識を習得することができる。 ②スポーツマネジメントが必要とされる多様な領域に対する理解と関心を深めることができる。 ③授業で培った基礎知識を、様々な状況下で適用・応用することができる。</p> <p>【授業の方法】</p> <p>授業は講義が中心であるが、毎回、授業内容に関する感想・批判・意見・質問を200字程度で提出してもらう。それらの感想を用いて、授業の復習及び授業内容に対する理解を促す。</p> <p>【成績評価方法】</p> <p>授業で扱った基本概念や用語の説明、授業で学んだ知識を実社会や想定した状況下において、適用・応用できるかを判断するためのレポート課題の提出を、授業内容に沿って、随時、求める。また授業内試験を実施する。課題及び試験の採点基準は、内容の正確性、文章の構成と論理性に重点を置く。ただし、成績評価の対象は、2/3以上の出席をした受講生に限る。</p> <p>【受講および研究に関するアドバイス】</p> <p>まず、時間と期限と約束を守ること。次に、授業中に私語をして周りに迷惑をかけたり、携帯通信機器の使用や居眠りをして授業の雰囲気や崩したりするような、授業に対して緊張感が保てない学生の受講は認めない。授業では、特別な予備知識は要求しないが、大学での学び方は受け身ではなく、より積極的な態度と行動が求められる。これまで培ってきた「教えてもらう」という受け身の姿勢から脱皮し、何事に対しても「自ら調べ、考え、探究する」という自発的な姿勢を身に付けてほしい。</p> <p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9 月 26 日</td> <td>スポーツマネジメントの視座:組織の成果を意識したマネジメントの基礎知識</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10 月 3 日</td> <td>Society 5.0時代におけるスポーツビジネスの潮流:スポーツビジネスを再定義する</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10 月 10 日</td> <td>スポーツプロダクト:スポーツの魅力と価値とは?</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10 月 17 日</td> <td>サービスマネジメント:サービスの特質とサービスをデザインする考え方</td> </tr> </tbody> </table>				回	月日	テーマ・キーワード	1	9 月 26 日	スポーツマネジメントの視座:組織の成果を意識したマネジメントの基礎知識	2	10 月 3 日	Society 5.0時代におけるスポーツビジネスの潮流:スポーツビジネスを再定義する	3	10 月 10 日	スポーツプロダクト:スポーツの魅力と価値とは?	4	10 月 17 日	サービスマネジメント:サービスの特質とサービスをデザインする考え方
回	月日	テーマ・キーワード																	
1	9 月 26 日	スポーツマネジメントの視座:組織の成果を意識したマネジメントの基礎知識																	
2	10 月 3 日	Society 5.0時代におけるスポーツビジネスの潮流:スポーツビジネスを再定義する																	
3	10 月 10 日	スポーツプロダクト:スポーツの魅力と価値とは?																	
4	10 月 17 日	サービスマネジメント:サービスの特質とサービスをデザインする考え方																	

5	10月24日	世界を動かすスポーツマーケティング
6	10月31日	経営戦略について考える
7	11月7日	スポーツ組織のマネジメント1:組織の構造化
8	11月14日	スポーツ組織のマネジメント2:リーダーシップの系譜
9	11月21日	スポーツ組織のマネジメント3:組織の“らしさ”を形づくる
10	11月28日	スポーツ政策の視座:「スポーツ権」を保障する法規と政策
11	12月5日	社会課題と向き合うスポーツ政策
12	12月12日	自助・共助・公助で育む地域スポーツクラブ
13	12月19日	運動部活動の適正化と学校・地域が連携したクラブ化の推進
14	1月9日	スポーツによる地方創生とまちづくり
15	1月16日	授業総括、確認テスト(60分)・授業の振り返り
<p><教科書・参考書></p> <p>【参考書】</p> <p>『スポーツマネジメント』原田宗彦・小笠原悦子著(大修館書店 978-4-469-26669-6)</p> <p>『図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント』山下秋二・中西純司・松岡宏高著(大修館書店 978-4-469-26804-1)</p> <p>『スポーツ産業論第7版』原田宗彦著(杏林書院 978-4-7644-1596-6)</p> <p>『よくわかるスポーツマネジメント』柳沢和夫・清水紀宏・中西純司著(ミネルヴァ書房 978-4623080144)</p> <p>上記の書籍は、授業内容の理解を深めるために役立つものであり、また授業内でカバーしきれない内容についての興味・関心を促すものである。</p>		

科目番号	52	科目名	経済学特殊講義Ⅱ(金融・証券分析基礎)(E)		
英文科目名	Topics in Economics II Introduction to Financial Analysis(E)				
大学・短期大学名	立命館		大学		
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担当教員	三好 秀和 (経済 学部 招聘教員)				
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	事務局内会議室	会場	環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局		
授業期間	2024年8月26日(月)～2024年8月30日(金) <夏集中講義Ⅰ> 時限・講時 10 : 40 ~ 16 : 10				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)	100			%
	その他()				%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局は日本生命大津ビル4階(JR大津駅から徒歩1分)。				
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要と方法】					
<p>今年から授業方法と内容を変更する。講義形式で行うが確実に身に付けてもらうため单元ごとに演習問題を解いてもらい自己採点をおこなってもらう。質問は都度受け付け、受講生の共有財産とする。</p> <p>内容は証券アナリスト一次試験の基礎となる内容であるが基礎的な知識や陥りやすい疑問を含めて解説するので本格的にアナリストを目指す学生には特に有意義である。</p> <p>さらに本講義の内容は金融リテラシー向上のために有意義である。企業では社内教育や福利厚生の一環として金融教育を人事総務部が行っている。それは退職金として確定拠出年金制度が導入され自己責任のもと従業員がしているからだ。このような個人のリテラシーに有用であるというだけではなく、上場会社ではM&Aが最大の投資となっていることから本講義の知識が実はM&Aの基礎となるため、アナリストを目指す学生だけではなく、インベストメントバンキング部門の金融機関や一般事業法人の経営企画部門、IR部門の担当者を目指す学生にとっても有用である。</p> <p>就職活動を通じて企業と接点をもつことになる学生がここでの学習を元に企業活動の実態を理解する上で役立つ。企業とは何か、その活動を支える資本市場の意義を理論と実例から学び次世代を担う人材となり有意義な人生をおくってほしい。</p>					
【受講生の到達目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1.金融・証券分析の基礎知識を学ぶことができる。 2.企業の行動原理を理解することができる。 3.現実のトピックスを通して企業活動のダイナミズムを実感できる。 					
【成績評価方法】					
<p>日常的な授業における取組状況の評価45%(授業に積極的に参加したり卓越した発言などは加点することがある。)とレポート課題55%で決定する。レポートは授業中に開示する。</p>					
【授業外学習の指示】					
<p>復習に重点を置いて学習してもらいたい。授業は現代投資理論の基づいた世界標準の内容である。授業で内容の理解度の確認のためQAを設定している。講義を聴くだけでは自分の実力とはならない。手を動かし、電卓をたたいて初めて習得できるものと心得る。</p>					
【受講および研究に関するアドバイス】					
<p>積極的に努力し復習することを奨励したい。経済や金融は現実の世界で動いている。日々変動する金融理論は机上の空論ではない。また、就職時期になって対策を立てるようなことでは心もとない。経済の基礎的な知識は大学生の早い時期にしっかりと身に付けておくと視野を広げる意味でもよい。</p>					
【参考になるwwwページ】					
<p>日本証券アナリスト協会のWEBにはアナリスト講座の申込みだけではなく、企業のIRセミナーを学生に公開している。学生会員として登録すれば経営者を身近に感じる事が可能となる。</p> <p>http://www.saa.or.jp/</p>					

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	8月26日	(1)株式の意義 バランスシート上の株式、上場することの意義、経営者にとって株主の存在とは何か、株式の法的な意義とは何か、株価はどうすれば上昇するか、株価はどのように決定するか。 (2)株式市場と株価の決定理論 株式の評価、DDM、収益率、効率的市場仮説、予測と情報、EPS、PER、PBR。 (3)株価の決定理論と周辺知識 金利と将来価値、単利と複利、期待リターンとリスク、資産評価、DCM、定率成長キャッシュフローの評価。
2	8月27日	(4)債券とは何か 債権と債券、バランスシート上の債券の意義、債券の仕組み、種類、発行体、期間と格付。 (5)債券の理論価格 債券の利回りと価格の関係、債券の理論価格、イールドカーブ、残存期間の短長とクーポンの大小の価格への影響。 (6)債券投資分析 マコーレーのデュレーション、修正デュレーション、コンベクシティの意味。 (7)デリバティブとは デリバティブとは、評価の基本、先渡し取引と先物取引の仕組み、裁定取引。
3	8月28日	(8)オプション取引 オプション取引の仕組み、制度と種類、コールとプットのそれぞれの損益曲線、本源的な価値と時間価値。 (9)デリバティブの投資戦略 ヘッジ、リスクテイキング、アービトラージ。 (10)現代ポートフォリオ理論1 証券投資のリスクとリターン、効用関数、リスクに対する態度、平均分散アプローチによる効用関数。
4	8月29日	(11)現代ポートフォリオ理論2 複数資産による分散効果、効率的フロンティアの特徴、資産最適化、安全性資産を含むポートフォリオと分離定理。 (12)現代ポートフォリオ理論3 資本資産評価モデルと市場ポートフォリオ、市場ポートフォリオの有用性、資本市場線、証券市場線。 (13)資産運用の実践1 投資政策とポートフォリオマネジメントのプロセス、ポリシーアセットミックス、資産クラスの期待リターンとリスク、リバランス。
5	9月30日	(14)資産運用の実践2 機関投資家の運用方法、年金運用と資産運用、ESG投資とステュワードシップコード。 (15)資産運用の実践3 個人投資家の資産運用、リスク許容度、ライフサイクル、リスク測定の考え方、ベンチマーク。

<教科書・参考書>

【参考書】

『新版ファンドマネジメント大全』三好秀和編著(同友館 9784496055874)

【参考書(備考)】

多くの運用会社で利用されている実務書である。学生には運用会社の業務内容を知る上で有益であるが参考程度で購入する必要はない。高額なため図書館で貸し出しを受けるのがよい。

【備考】

ハーバードでは「今あなたは眠って夢を見ることができる。しかし、眠らずに今勉強すれば近い将来、夢を実際に見ることができる」と学生たちの間で話題となっている。24時間勉強する必要はないが授業に集中すべきだし、自宅で勉強できなければ授業に出席すべきである。成績と授業出席率は相関関係が成立している。

科目番号	53	科目名	生命科学概論(M)	
英 文 科 目 名	Introduction to Life Sciences (M)			
大学・短期大学名	立命館		大学	
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1			
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935
担 当 教 員	石水 毅 ほか8名 (生命科 学部 教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名	コラーニングハウスI C101	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス	
授業期間	2024 年 4 月 8 日 (月) ~ 2024 年 7 月 20 日 (土) <毎週 月曜日> 5 時限・講時 16 : 20 ~ 17 : 50 ※7月20日(土)は月曜授業日。			
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口			
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レポ ー ト 試 験 (期 末)			%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	100		%
	そ の 他 ()			%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
【授業の概要と方法】 21世紀は『生命科学』の世紀といわれる。これは、20世紀に急速に蓄積した“生物に対する知識”を基盤にして、21世紀には人類の福祉に役立つ技術が開発され、実用化されるであろうことへの期待の表われである。この分野は人間を含む生物(生命体)を研究・実験の対象にするものであり、研究者ならびに技術者には高い倫理観が求められる。本講義は、生命科学部での導入科目として位置づけ、生命科学部の各学科における学問の形態や技術動向等について概観するとともに、研究者・技術者の役割と責任についても講義する。なお、幅広い話題を提供するために、オムニバス形式の講義とする。				
【到達目標】 生命科学研究の現場にいる人たちの研究動機およびに社会から求められる規範に触れることにより、どのように問題を理解し対処すべきか、判断するための基盤を獲得する。				
【成績評価方法】 ・科目全体としての検証テストは行わない ・レポート課題を適宜提示する ・小テストを適宜実施する ・質疑応答等、講義への積極的な参加を評価に加味する				
【授業外学習の指示】 予習: 事前に指示された参考書を読んでおくこと 復習: 講義時間中に指示された参考書を読むこと 30分を目安としてこれら予習復習を行うこと				
【受講および研究に関するアドバイス】 色々なことに興味を持つこと				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 8 日	石水毅:「授業の概要と導入」		
2	4 月 15 日	森脇健介:「生命科学と社会」1		
3	4 月 22 日	森脇健介:「生命科学と社会」2		
4	4 月 29 日	桑田繁樹:「応用化学関連テーマ」1		
5	5 月 13 日	桑田繁樹:「応用化学関連テーマ」2		
6	5 月 20 日	武田陽一:「生物工学関連テーマ」1		

7	5月27日	武田陽一:「生物工学関連テーマ」2
8	6月3日	木津川尚史:「生命情報学関連テーマ」1
9	6月10日	寺内一姫:「生命情報学関連テーマ」2
10	6月17日	早野俊哉:「生命医科学関連テーマ」1
11	6月24日	早野俊哉:「生命医科学関連テーマ」2
12	7月1日	中川浩行:「工学倫理」1
13	7月8日	中川浩行:「工学倫理」2
14	7月15日	宮崎栄二:「特許」
15	7月20日	石水毅:「授業の統括」

<教科書・参考書>

【教科書】

特に定めない。

【参考書】

<1回目講義用 >

『大学生になるきみへ: 知的空間入門』中山茂著 (岩波書店 978-4-0050-0452-2)

<8回目講義用 >

『核DNA解析でたどる 日本人の源流』斎藤成也著 (河出書房新社 978-4309253725)

<13-14回講義用>

『技術者による実践的工学倫理: 先人の知恵と戦いから学ぶ』中村収三・近畿化学協会工学倫理研究会共編著 (化学同人 978-4-7598-1557-3)

<15回目講義用 >

『植物はなぜ薬を作るのか』齊藤和季著 (文書新書 978-4166611195)

『植物バイオテクノロジーでめざすSDGs変わる私たちの食と薬』小泉望・加藤晃著 (化学同人 978-4759820867)

【参考になるwwwページ】

適宜、紹介する。

科目番号	54	科目名	近現代の科学技術(G1)	
英 文 科 目 名	Modern History of Science and Engineering(G1)			
大学・短期大学名	立命館		大学	
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1			
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935
担 当 教 員	飴山 恵、鈴木 健一郎 (理 工 学 部 教 授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業		対面・遠隔併用	
教 室 名	コラーニングハウスI C302	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス	
授 業 期 間	2024 年 4 月 10 日 (水) ~ 2024 年 7 月 17 日 (水) <毎週 水曜日> 2 時限・講時 10 : 40 ~ 12 : 10			
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		100	%
	そ の 他 ()			%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	<p><講義概要・到達目標></p> <p>【授業の概要と方法】 前半7回の講義は飴山が担当する。 「材料科学」と「ものづくり産業」の歴史的変遷と現代の到達点および諸課題について学習した上で、持続可能な低炭素社会を実現するためのクリーンエネルギー創出・利用技術について、文社系学生に分かり易く解説する。 後半7回の講義は、以下の内容で鈴木が担当する。 始めに西洋で生まれた科学技術の特徴を3つの基礎概念(力学, エネルギー, 原子)について整理して述べ、各自が自ら考える道しるべとしたい:「科学とは何か」, 「科学はどうして西洋で生まれたのか」, 「科学は今後も進歩するのか」等。その後はエレクトロニクス技術を中心として現代の情報通信社会に至る技術進歩について講義する。できるだけ身近にあって親しみが湧くような内容を取り上げ解説する。 最終の第15週目は、前半・後半併せて学習の到達段階を検証するための試験を行う。 授業の方法については、対面授業の場合は、スライドや板書、資料を用いた説明を主とする。オンライン授業の場合は、ZOOM等によるWeb講義とmanaba+Riに掲載する資料による自習を基本とする。</p> <p>【受講生の到達目標】 前半7回の講義(飴山)では、学生が「材料科学」と「ものづくり産業」における歴史的経緯と現代の到達点・諸課題を把握するとともに、持続可能な低炭素社会実現に向けて、自然エネルギーの有効利用技術の動向を把握することを目標とする。 後半7回の講義(鈴木)では、学生が西洋で生まれた科学の特徴について理解するとともに、科学が技術となって現代社会を大きく変化させるに至ったことに興味を持てるようになることを目標とする。</p> <p>【成績評価方法】 評価比率は、前半7週(50%) + 後半7週(50%) = 合計100%とする。 ・最終講義日(15週目)に、前半・後半合同の検証試験を実施する。 ・毎回の授業における小テスト、またはレポート課題を実施する。 これらを総合して評価する。</p> <p>【成績評価方法(備考)】 真摯かつ的確な質問は平常点として評価する。</p> <p>【授業外学習の指示】 科学は身近にあふれています。科学に関する雑誌や新聞に注意を向け、疑問に思ったことがあれば些細なことでも調べる癖をつけましょう。</p> <p>【受講および研究に関するアドバイス】 科学は遠くにある難しいものではありません。身近なところにある科学技術に興味を持ち、自分でも実際に触れたり調べたりしてみましょう。日常の楽しみが広がります。</p>			

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月10日	文明の始まりと材料の発達【概説】:石器時代→青銅器時代→鉄器時代→現代社会
2	4月17日	ものづくり技術の発達I【原動機】:人力, 風車, 水車, モーター, エンジン, 蒸気タービン, ガスタービン, ロケットなど
3	4月24日	ものづくり技術の発達II【エネルギー】:化石燃料, 原子力, など 自然エネルギー(風力, 水力, 太陽光, 潮汐力など)
4	5月1日	ものづくり技術の発達III【環境問題】:地球温暖化のメカニズム, 解決方法の模索, 低炭素社会の実現
5	5月8日	材料科学と社会I【資源】:さまざまな資源の性質と確保
6	5月15日	材料科学と社会II【日本の科学技術の源流】:近世の科学技術。日本刀の製造技術と特性発現メカニズム。高度で独創的な江戸時代の機械。
7	5月22日	材料科学と社会III【現代の日本の科学技術】:先端的科学技術。現代の情報社会を支える様々な技術。
8	5月29日	科学の思想と方法:西洋科学の特徴, 力学の誕生。
9	6月5日	エネルギーの発見:電気回路, 熱学の誕生, エネルギー保存則。
10	6月12日	原子という概念:化学と物理の関連性, 統計力学の発展, 量子力学の誕生, 超電導。
11	6月19日	エレクトロニクス(1):トランジスタの誕生, 集積回路技術の発展。
12	6月26日	エレクトロニクス(2):コンピュータ技術の発展。
13	7月3日	通信技術:有線技術, 無線技術, 光通信。
14	7月10日	情報技術:インターネット, センシングネットワーク, ICT, AI(実行知能)。
15	7月17日	最終講義試験(前半・後半合同):14回の授業の到達度を確認するための試験を行い、事後説明・解説を行う。

<教科書・参考書>

【教科書】

講義で使用する資料をmanaba+Rに提示するので、利用して下さい。

【参考書】

『機械材料学』日本材料学会編著(日本材料学会 9784901381000)

『近代科学はなぜ東洋でなく西欧で誕生したか』菅野礼司著(吉岡書店 9784842703718)

『科学の発見』S. ワインバーグ著(文芸春秋 978-4-16-390457-3)

【参考になるwwwページ】

特にありませんが、講義中のキーワードなどで興味があればどんどん検索して、深掘りしてみましょう。一つのサイトの情報を鵜呑みにするのではなく、いくつかのサイトの内容を比較しながら知識を得ること。

科目番号	55	科目名	薬学概論(Y)	
英文科目名	Introduction to Pharmacy (Y)			
大学・短期大学名	立命館		大学	
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1			
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935
担当教員	鈴木 健二 ほか9名 (薬学部教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	フォレストハウス F204	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス	
授業期間	2024年4月9日(火)～2024年7月16日(火) <毎週火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)			%
	平常点(出席・授業態度)		100	%
	その他()			%
別途負担費用	(なし)		あり()円	
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標></p> <p>【授業の概要と方法】 薬学部薬学科に入学した学生に対する「導入科目」と位置づけ、6年間の学び全般について概説する。まず「薬学とは何か」、「薬学科6年制の意味するところ」、「薬学科での学びの全体像」について説明する。そして、「生命の尊厳」、「医療倫理」、「生命倫理」、「薬とは何か」、「どのように作用するか」、「薬は体内でどのような運命をたどるか」、「薬剤師の職務・責任、活動分野」、「薬害」、「医薬品の開発」、「チーム医療とコミュニケーション」、「医薬品開発」、「治験」、「社会保障と保険医療」、「薬剤師として求められる資質」などについて概説する。</p> <p>【到達目標】 生命・医療に係る倫理観を身に付け、医療人としての感性を養い、様々な倫理的問題や倫理的状況において主体的に判断し、プロフェッショナルとして行動する。B-1-1-1) 医療の担い手として、必要な知識・技能の修得に努め、自身の職業観を養い、生涯にわたり学び続ける価値観を形成する。B-1-1-3) 薬剤師の社会的使命、法的責任、遵守すべき行動規範を理解し、患者・生活者の健康な生活を確保するという薬剤師の任務と責任を自覚する。B-1-3-1) 薬剤師の任務を適正に遂行するために必要な法規範を理解し、薬剤師の業務と関連付けて説明する。B-1-3-2) 医薬品等による健康被害の重大性や被害者本人、家族等の全人的苦痛について理解し、薬害や医療事故防止に薬剤師が果たすべき役割や責任の重要性を説明する。B-1-3-3) 患者・生活者の心理、立場、環境、状態に配慮し、非言語コミュニケーションを含めて適切なコミュニケーションを図り、良好な人間関係を構築する。B-2-1-1) 医療、保健、介護、福祉に関わる他の専門職の職能について理解し、多職種連携における薬剤師の役割や専門性について説明する。B-2-2-1) 社会保障制度の考え方とその枠組みを説明する。B-3-2-1) 社会保障制度の下で提供される医療、介護、福祉の体制と仕組み及び関係する機関・職種の役割を理解し、薬剤師に求められる役割を説明する。B-3-2-2) 医療保険財政が抱える課題について理解を深め、医療保険制度の維持・存続における行政、関係機関・職種、国民の役割を説明する。B-3-3-1) 医薬品の創製から承認、市販後までのライフサイクルを理解し、医薬品の開発過程とその体制について説明する。B-4-1-1) 医薬品開発に係る臨床研究について、法規制、制度、仕組みを説明する。B-4-1-2) 医薬品開発を取り巻く国内外の動向を知り、医薬品の開発が世界レベルで進められており、国際的な状況が日本の医療に直接影響することを説明する。B-4-1-3) 薬害の歴史とその社会的背景について理解を深め、薬害を発生させないための行動を認識し、責任を自覚する。B-4-2-3) 医薬品及び医薬品原料としての生薬について、代表的な生薬の基原、特徴、用途、成分及び確認試験、品質評価法等の基本的事項を説明する。C-5-1-1) 医薬品の化学構造の特徴と、標的となる身体の仕組みや分子との関連をもとに、薬の作用メカニズムや作用様式を説明する。D-1-1-2) 薬物の物理化学的性質と生体の構造及び機能から、生体内の薬物動態を説明する。D-4-1-1) 固形製剤、半固形製剤、液状製剤など、様々な製剤を作成するために必要な製剤材料の種類と物性と関連する基本的理論について説明する。D-5-1-1)</p>			

【成績評価方法】

レポート(3回)を提出する(75%)。

15回目に理解度を確認する試験または、これに替わるものを実施する(25%)。

【授業外学習の指示】

薬学部での学びの全体像を把握できるように講義を行う予定である。医療人である薬剤師等を目指す自覚を持ち、責任感を身につけ、また自らが問題点を探し(課題探求)、自らその解決策を考える(課題解決)態度を身につけるようにして欲しい。

【受講および研究に関するアドバイス】

健康、命、くすり、薬剤師、などに関する新聞やテレビなどの記事、ニュース、特集などは興味を持って読んでもらいたい。

<授業スケジュール>

回	月 日	テーマ・キーワード
1	4 月 9 日	薬学とは何か 担当者:鈴木健二
2	4 月 16 日	生命の尊厳 担当者:浅野真司
3	4 月 23 日	医療倫理 担当者:浅野真司
4	4 月 30 日	生命倫理 担当者:北村佳久
5	5 月 7 日	薬とは何か 担当者:田中謙
6	5 月 14 日	薬の作用するプロセス 担当者:天ヶ瀬紀久子
7	5 月 21 日	医薬品開発のプロセス 担当者:鈴木健二
8	5 月 28 日	医薬品の創製と治験 担当者:鈴木健二
9	6 月 4 日	体内での薬の運命(薬物動態) 担当者:桂敏也
10	6 月 11 日	薬剤師の活動分野 担当者:藤田隆司
11	6 月 18 日	薬剤師の職務と責任 担当者:上島智
12	6 月 25 日	薬害 担当者:藤田隆司
13	7 月 2 日	チーム医療とコミュニケーション 担当者:角本幹夫
14	7 月 9 日	社会保障と医療保険 担当者:細木るみこ
15	7 月 16 日	薬剤師と資質、総括 担当者:鈴木健二

<教科書・参考書>**【教科書】**

教科書は指定しないが、プリント(レジュメ)、参考資料を適宜配布する。

【参考書】

『薬学教室へようこそ』 二井将光著 (講談社 978-4-06-257931-5 (ブルーボックス))

『薬学へのいざない』 鎌滝哲也著 (東京化学同人 978-4-8079-1289-6)

【備考】

『薬学教室へようこそ』(二井将光著)は、事前に読むことを強く薦める。

個々のテーマに関する参考書等については随時、紹介する。

科目番号	56	科目名	里山学	
英文科目名	SATOYAMA Studies: The sustainable interaction of nature and humans in landscape			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	宮浦 富保 (全11名) (先端理工 学部 教授)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名		会場		
授業期間	2024 年 4 月 15 日 (月) ~ 2024 年 7 月 29 日 (月) <毎週 月曜日> 3 時限・講時 13 : 30 ~ 15 : 00			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%
	レポート試験 (期末)		100	%
	平常点 (出席・授業態度)			%
	その他 (小テスト・レポート)			%
別途負担費用	なし あり()円			
その他特記事項	【履修上の注意】 コロナ禍の状況により、授業の進め方を変更します。manabaの掲示板を利用して指示しますので、頻りにチェックしてください。 チェーンレクチャーであるので、すべての講義時間に参加しないと、里山学の全体を理解することができない。			
<講義概要・到達目標>				
■【サブタイトル】 里山学 地域の自然と文化				
■【講義概要】 里山は、人間が長期にわたって手を入れ、自然と多様な形で関わり、自然と共生することによって、人間同士の共存を可能にしてきた場所であった。日本の生物の多様性の一部は里山の存在によって維持されてきたということも明らかになりつつある。ところがエネルギー革命と農業革命のため里山は放置され、都市の膨張とともに開発のターゲットにされてきた。生物多様性を維持し、人間の生活を支え、日本文化の形成にも密接に関連していたと考えられる里山が失われようとしている。「里山学」では、里山の環境、動植物、歴史、里山と文化・制度との関わりなどについて、複数の教員が講義する。				
■【到達目標】 里山といわれる環境について、その歴史や現状を理解し説明することができる。里山を代表とする身近な自然環境と人間との関係について、自分自身の意見を持ち表明することができる。				
■【講義方法】 複数教員によるチェーンレクチャーであり、それぞれの教員ごとにいろいろな方法で講義する。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 15 日	里山の歴史と現状		
2	4 月 22 日	里山の環境倫理		
3	4 月 29 日	「龍谷の森」での自然観察		
4	5 月 13 日	里山の社会的考察		
5	5 月 20 日	里山保全と社会規範		
6	5 月 27 日	考古植物学から提案する新しい小麦生産		
7	6 月 3 日	里山と昆虫		
8	6 月 10 日	里山での児童・幼児教育		
9	6 月 17 日	瀬田地域の里山の歴史(林珠乃)		
10	6 月 24 日	里山とグローバル化		

11	7月1日	里山が放置され, 増える生きものと減る生きもの
12	7月8日	食と文化(川西豪志)
13	7月15日	里山環境と汚染物質
14	7月22日	花粉で探る過去の里山環境(林竜馬)
15	7月29日	佐渡のトキから里山を考える
<p><教科書・参考書></p> <p>■【テキスト】講義時間内に教員ごとに指示する。</p> <p>■【参考文献】講義時間内に教員ごとに指示する。</p> <p>丸山徳次・宮浦富保『里山学のすすめ』(昭和堂)2,310円 (ISBN:9784812207383)</p> <p>丸山徳次・宮浦富保『里山学のまなざし』(昭和堂) 2,310円 (ISBN:9784812209165)</p> <p>村澤真保呂・牛尾洋也・宮浦富保『里山学講義』(晃洋書房) 2,500円 (ISBN:9784771026339)</p>		

科目番号	57	科目名	環境の科学	
英 文 科 目 名	Environmental Science			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	奥田 哲士 (先端理工 学部 教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名			会場	
授 業 期 間	2024 年 9 月 19 日 (木) ~ 2025 年 1 月 9 日 (木) <毎週 木曜日> 4 時限・講時 15 : 15 ~ 16 : 45			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	小テスト		85 (ほぼ毎回行う)	%
	レポート		15 (数回行う)	%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	レポートと小テストの比率は1割前後、変更する場合がある。 毎回、約7点分程度の小テストやレポートを課すことで、数回の欠席では大幅な減点はされないように配慮しているため、各種の別の実習などの公欠であっても基本的には補習や追試は行わない(他の回をしっかりと勉強し、欠席会を補える評価を得ること)。			
<講義概要・到達目標>				
<p>■【サブタイトル】 環境問題の網羅的理解と対処法</p> <p>■【講義概要】 環境問題は、鉱毒事件のような公害問題に始まり、ダイオキシンなどの微量汚染物質問題、地球温暖化などの生活様式やエネルギー利用を根本的に考え直さなければならないような環境問題へと移り変わっている。 本講義では、指定テキストを通じて、さまざまな環境問題の概要や原因・本質、実態、対応や取り組みについての基礎知識を深めることに加え、各自が今後どのようにすべきか(ソリューション)について考えることにチャレンジする。</p> <p>■【到達目標】 さまざまな環境問題とその対策法の基礎知識を網羅的に身につける事ができ、新たな環境問題の解決法の立案についての基礎を確立できる。</p> <p>■【講義方法】 対面を基本とするが、場合によっては一部をオンライン(主にオンデマンド)での受講あるいはそれらを活用する。 毎回、教科書を毎回10-20ページ予習してもらった上で、最新の情報等を配布資料(PDF)、スライド、動画などで補足する(場合によっては音声説明付きの動画なども利用)。</p> <p>■【授業時間外における予・復習等の指示】 テキスト(教科書)の予習を徹底した聴講に期待する。</p> <p>■【履修上の注意】 初回にmanaba利用の注意点(追試を行わない事やカンニング扱い事項等)詳しく説明するので、初回、参加できない場合は初回以降、早急に担当教員に直接相談する事。 急、あるいは直前の変更・連絡はmanabaのニュースを予定している。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9 月 19 日	ガイダンス(manaba等オンライン教材の説明と実習含む)、学修内容の概要、環境問題とは		
2	9 月 26 日	環境問題の基本		
3	10 月 3 日	大気・水の循環とエネルギー、水環境		
4	10 月 10 日	各種物質の循環		
5	10 月 17 日	マテリアルフロー等		
6	10 月 24 日	各種環境指標・リスク等		
7	10 月 31 日	温暖化の現状		
8	11 月 7 日	温暖化の今後や対策技術等		

9	11月14日	大気環境
10	11月21日	土壌環境
11	11月28日	森林と砂漠化等
12	12月5日	生物多様性等
13	12月12日	都市化の問題
14	12月19日	ライフスタイル等
15	1月9日	ソリューション等(場合によってはいずれかの回のワークショップに代える)、確認小テスト
<p><教科書・参考書></p> <p>■【テキスト】</p> <p>・テキスト(教科書)の購入が必要である。2回目講義までに 改訂3版 を入手する事。 西岡秀三ほか 『地球環境がわかる』[改訂3版](技術評論社)2,090円 (ISBN4297132966)</p> <p>■【参考文献】</p> <p>・石川 宗孝 編著/ 竺 文彦 他著 『環境読本—環境をいかに学び、いかに対処するか』(電気書院) 2,700円 (ISBN:9784485220160)</p>		

科目番号	58	科目名	生活の中の数学		
英 文 科 目 名	Mathematics in Daily Life				
大学・短期大学名	龍谷			大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5				
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674	
担 当 教 員	菟井 徳充 (瀬田教学部 学部 非常勤講師)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名		会場			
授 業 期 間	2024 年 4 月 12 日 (金) ~ 2024 年 7 月 26 日 (金) <毎週 金曜日> 5 時限・講時 16 : 55 ~ 18 : 25				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)				%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (課題の提出や授業での取り組みなど)	40			%
	そ の 他 (レポートを複数回実施する)	60			%
別 途 負 担 費 用	なし あり()円				
そ の 他 特 記 事 項	【教員との連絡方法】manaba使ってください。				
<講義概要・到達目標>					
■【サブタイトル】 日常生活に見る数学の風景					
■【講義概要】 受験終了と同時に、数学とはすっかり無縁になってしまう人が多いかもしれない。しかしそうした数学も、実際には深く生活と結びついており、なくてはならないものとなっている。 この講義では、日常生活の中で出会うさまざまな事物や事象について、数学的な考察をし、その数学的な内容を理解し活用できる視点を養っていく。そして何よりも数学を楽しみながらその風景を味わっていただきたい。 なお、受講者の状況やその他の理由により、講義内容を変更する場合がある。					
■【到達目標】 日常生活で見られる事物・事象と数学の関連について学び、数学がどのように活用されているか説明することができる。また自ら問題を作成し、他人の前でその内容や解答を説明することができる。					
■【授業時間外における予・復習等の指示】 予習は特に必要はないが、復習メインで演習やレポートに備えてほしい。					
■【講義方法】 対面が原則ですが、諸事情によりオンライン授業となる場合がある。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4 月 12 日	地球を測ろう1(三角比の活用)			
2	4 月 19 日	地球を測ろう2(三角比の活用)			
3	4 月 26 日	証明してみよう1(論理の活用)			
4	5 月 10 日	証明してみよう2(論理の活用)			
5	5 月 17 日	パラドクスの不思議1(無限と逆説)			
6	5 月 24 日	パラドクスの不思議2(無限と逆説)			
7	5 月 31 日	問題を作ろう1(問題作成と発表)			
8	6 月 7 日	問題を作ろう2(問題作成と発表)			
9	6 月 14 日	レポート課題 1			
10	6 月 21 日	議席はどうやって決まるの？(公平な配分)			

11	6 月 28 日	座席替えのはなし1(乱列)
12	7 月 5 日	座席替えのはなし2(乱列)
13	7 月 12 日	生活の中の確率1(確率)
14	7 月 19 日	生活の中の確率2(確率)
15	7 月 26 日	レポート課題 2
<教科書・参考書> 特になし		

科目番号	59	科目名	社会人類学	
英文科目名	Social Anthropology			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	椿原 敦子 (社会 学部 准教授)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名		会場	瀬田	
授業期間	2024 年 4 月 12 日 (金) ~ 2024 年 7 月 26 日 (金) <毎週 金曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%
	レポート試験 (期末)	50	【備考】 期末レポート	%
	平常点 (出席・授業態度)	50	【備考】 小レポート・小テスト提出による評価	%
	その他 ()			%
別途負担費用	なし あり()円			
その他特記事項	<p>【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 授業後の復習を行い、課題を作成・提出すること</p> <p>【履修上の注意・担当者からの一言】 毎回の授業時に提出する小レポートでの感想・質問を重視し、状況に応じて適宜内容を変更します。授業に「来ている」だけでは評価点はつきません</p> <p>【オフィスアワー・教員との連絡方法】 授業時間内に指示</p>			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】 人類学は、「社会・文化とは何か」を問う学問領域であると同時に「異なるとはどういうことか」についても考えてきた学問です。人類学が扱ってきた「異なる」社会や文化とは、料理や服装、お祭りなどの違い以上のことを指しています。 本講義では「私たち」と「他の人々」の間にある大きな違いと、意外によく似た所の両方に目を配りながら、私たちが無意識に持っているものの見方を一旦離れて、ものごとを複眼的に捉える力を養っていきます。 この作業を通じて、受講者が自分の属している社会・文化的環境がどのようなものかを説明できるようになることを目指します。				
【到達目標】 ・社会人類学の学問的発展の歴史を説明できるようになる ・自分の常識やものの見方を相対化し、別の視点から物事を考えることができる ・現代社会における「文化」を理解することの重要性が説明できるようになる				
【講義方法】 スライド、映像・音響資料を用いた講義				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 12 日	イントロダクション: 人類学とはどのような学問か		
2	4 月 19 日	食べる 1		
3	4 月 26 日	食べる 2		
4	5 月 10 日	装う 1		
5	5 月 17 日	装う 2		

6	5月24日	信仰 1
7	5月31日	信仰 2
8	6月7日	中間まとめ
9	6月14日	ジェンダー 1
10	6月21日	ジェンダー 2
11	6月28日	生老病死 1
12	6月5日	生老病死 2
13	7月12日	お金 1
14	7月19日	お金 2
15	7月26日	総まとめ

<教科書・参考書>

【参考文献】

波平恵美子編 『文化人類学』（医学書院）（ISBN:9784260013178）

松村圭一郎 他編 『文化人類学の思考法』（世界思想社）（ISBN:9784790717331）

科目番号	60	科目名	びわ湖・滋賀学	
英文科目名	Biwa Lake and Shiga Prefecture			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	横田 岳人 (先端理工学部 学部 准教授)			
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用
教室名		会場		
授業期間	2024年8月27日火 ~ 2024年8月31日土 ※サマーセッション集中講義			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%
	レポート試験 (期末)	50 【備考】 レポートの成績により評価する。レポート未提出の場合は、平常点は0点とする。		%
	平常点 (出席・授業態度)	50 【備考】 出席及び取り組みの状況により評価する。		%
	その他 ()			%
別途負担費用	あり 琵琶湖博物館までの交通費と博物館の観覧料については、自己負担とする。 詳しくは、初回の授業時に説明する。			
その他特記事項	<p>【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 特に指定しないが、講義を通して琵琶湖と滋賀県の環境をめぐる日々の話題やニュースに関心を持ち、実際のフィールド(現場)を訪れてほしい。</p> <p>【履修上の注意・担当者からの一言】 講義のコーディネータは先端理工学部環境生態工学課程教員の横田岳人が担当する。滋賀県立琵琶湖博物館の学芸員等が担当する。コロナ感染の状況等により、やむを得ず講義内容に若干の変更が生じる場合があることをご理解いただきたい。</p> <p>【オフィスアワー・教員との連絡方法】 この講義に関する問い合わせや質問については、先端理工学部の横田まで、e-mailで質問等を行っていただきたい。横田のメールアドレスは、以下の通り。 yokota@rins.ryukoku.ac.jp なお、琵琶湖博物館までの交通費と博物館の観覧料については、自己負担とする。詳しくは、初回の授業時に説明する。</p>			
<講義概要・到達目標>				
<p>【講義概要】 本講義は、学外の社会教育機関である滋賀県立琵琶湖博物館と龍谷大学社会学部との連携によって行う。</p> <p>琵琶湖博物館は、「湖と人間」をテーマとする博物館であり、滋賀県草津市の琵琶湖に突き出した烏丸半島にある。6年の歳月をかけて展示をリニューアルを行い、昨年10月にグランドオープンした。本講義は集中講義により実施するが、2024年8月27・28・29日の3日間を対面授業で、8月30日～8月31日の2日間は琵琶湖博物館の展示を用いて講義を行う。</p> <p>講義は、滋賀県の特徴について、「琵琶湖」と人の関わりという視点から理解を深めることを目的とする。私たちが通い、あるいは住んでいる滋賀県が持つ個性を理解していく上では、この地域で暮らしてきた人々の産業や日常の文化のありかたを見つめ直し、それらと琵琶湖集水域という環境との密接な関わりについて学ぶことが大切な鍵になるからである。</p> <p>具体的なトピックとして、琵琶湖の自然と生い立ち、自然と暮らしの歴史、暮らしとつながる自然、水の生き物と暮らしを取り上げ、琵琶湖博物館の新しい調査研究の成果をまじえて解説する。履修者にとって、この講義が実際の琵琶湖・滋賀県のフィールドへと足を運んでみるきっかけとなることを期待している。</p>				

【到達目標】

テーマである「湖と森のいまと歴史を通して知る滋賀」の学びを深めるために、その背景ともなっている琵琶湖の生い立ちや自然環境の特徴を把握し、それらと生き物や人間との歴史的な関わり、現在実施されている滋賀県での政策的取り組みについて理解する。

滋賀県の生活文化の特徴について、具体的なフィールドの事例を通して理解を深める。

【講義方法】

龍谷大学瀬田学舎での対面講義と、博物館の常設展示室等を活用した講義の組合せで行う。必要な資料等は各回の講師が適宜配布する。

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	8月27日	オリエンテーション 【キーワード】全体説明
2	8月27日	暮らしとつながる自然(1) 【キーワード】琵琶湖の150年といま(1)
3	8月27日	暮らしとつながる自然(2) 【キーワード】琵琶湖の150年といま(2)
4	8月28日	自然と暮らしの歴史(1) 【キーワード】琵琶湖の漁業のいまと環境政策口
5	8月28日	自然と暮らしの歴史(2) 【キーワード】琵琶湖の魚と人の歴史(1)
6	8月28日	自然と暮らしの歴史(3) 【キーワード】琵琶湖の魚と人の歴史(2)
7	8月29日	琵琶湖の自然と生い立ち(1) 【キーワード】琵琶湖の森のいまと環境政策
8	8月29日	琵琶湖の自然と生い立ち(2) 【キーワード】森の歴史といま(1)
9	8月29日	琵琶湖の自然と生い立ち(3) 【キーワード】森の歴史といま(2)
10	8月30日	琵琶湖博物館A展示室見学「湖の400万年と私たち ～琵琶湖の自然と生い立ち～」・課題学習 【キーワード】展示解説と課題提示
11	8月30日	琵琶湖博物館B展示室見学「湖の2万年と私たち ～自然と暮らしの歴史～」・課題学習 【キーワード】展示解説と課題提示
12	8月30日	琵琶湖博物館C展示室見学「湖のいまと私たち ～暮らしとつながる自然～」・課題学習 【キーワード】展示解説と課題提示
13	8月31日	琵琶湖博物館水族展示室見学「湖のいまと私たち ～水の生き物と暮らし～」・課題学習 【キーワード】展示解説と課題提示
14	8月31日	企画展示見学・課題学習 【キーワード】展示解説と課題提示
15	8月31日	まとめと課題レポート作成

<教科書・参考書>**【参考URL】**

滋賀県立琵琶湖博物館 (<https://www.biwahaku.jp/>)

科目番号	61	科目名	環境社会学		
英文科目名	Environmental Sociology				
大学・短期大学名	龍谷			大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5				
	TEL :	077-543-7739		FAX :	077-543-7674
担当教員	閻 美芳 (社会 学部 講師)				
実施方法	①対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教室名		会場	瀬田		
授業期間	2024 年 9 月 23 日 (月) ~ 2025 年 1 月 20 日 (月) <毎週 月曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験 (筆記)	70	【備考】	%	
	レポート試験 (期末)		期末レポート	%	
	平常点 (出席・授業態度)	30	【備考】	%	
	その他 ()		コミュニケーションシートの内容	%	
別途負担費用	なし () あり () 円				
その他特記事項	<p>【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 授業の際に通知する。</p> <p>【履修上の注意・担当者からの一言】 ・グループディスカッションに参加できるように、予習・復習をしっかりと行ったうえで授業に臨んでください。 ・普段から意識的に報道等に接し、社会にアンテナをはっておいてください。</p> <p>【オフィスアワー・教員との連絡方法】 月曜日の昼休み@研究室(2号館335)。連絡方法:連絡についてメールでお願いします。メールアドレスは授業中に指示します。</p>				
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】 この講義では、環境問題を分析する方法として、環境社会学の基本的な理論枠組みについて概説する。とりわけ生活環境主義という考え方に焦点を当て、環境問題に立ち向かう人びとの動きを地域コミュニティの側から考えることの必要性や重要性に焦点を当てて論じていく。					
【到達目標】 ・環境問題に対する様々なアプローチの仕方について理解するとともに、それらを踏まえて問題を自分で考え、社会的に分析ができる。 ・環境社会的な観点(生活環境主義)から身近な自然環境と人間の暮らしの関係を分析し、説明できる。					
【講義方法】 講義形式を基本とするが、あわせて授業中にグループディスカッションを導入する。また、毎回、授業で感じた疑問点や次回の授業への要望などについて、コミュニケーションシートの提出を求める。授業では、各事例のリアリティを伝えるため、教員が撮影した写真やビデオ資料を呈示するほか、必要に応じて既存の映像資料も使用する。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9 月 23 日	オリエンテーション			
2	9 月 30 日	環境問題における加害と被害			

3	10月7日	環境問題における受益・受苦
4	10月14日	社会的ジレンマとしての環境問題
5	10月21日	生活環境主義の考え方—誰がしっかりすれば環境は守られるのか
6	10月28日	暮らしとともにある環境はどのように管理されるのか
7	11月11日	嫌がられる環境を誰が受け入れるのか
8	11月18日	人はどのように環境と遊んできたのか
9	11月25日	日本の草原はどのように維持されてきたのか
10	12月2日	公園は都市の環境を豊かにしてきたのか
11	12月9日	これまでのし尿はどのように処理されてきたのか
12	12月16日	環境と観光はどのように両立されるのか
13	12月23日	人と野生動物はどのような関係を築かれるのか
14	1月6日	未曾有の災害に人はどのように対応していくのか
15	1月20日	講義の振り返りとまとめ
<p><教科書・参考書></p> <p>【テキスト】 足立重和・金菱清 『環境社会学の考え方—暮らしをみつめる12の視点』 (ミネルヴァ書房) (ISBN:978-4-623-08527-9)</p> <p>【参考文献】 鳥越皓之・帯谷博明 『よくわかる環境社会学』 (ミネルヴァ書房) (ISBN:978-4-623-07934-6)</p>		

科目番号	62	科目名	コミュニティ論	
英文科目名	Local Community Studies			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	坂本 清彦		(社会 学部 准教授(特任))	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名		会場	瀬田	
授業期間	2024 年 9 月 24 日 (火) ~ 2025 年 1 月 14 日 (火) <毎週 火曜日> 4 時限・講時 15 : 15 ~ 16 : 45			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%
	レポート試験 (期末)	50	【備考】 授業で学んだことをもとに1000字程度の学期末レポートとして提出します。概念の理解度、応用力、文章の質などを評価します。	%
	平常点 (出席・授業態度)	50	【備考】 授業の参加(予習やグループワーク内容の記入などの取り組み)姿勢を評価します。	%
	その他 ()			%
	自由記載		【授業参加姿勢について】 対面授業のグループメンバーによるグループワークへの取り組み姿勢の評価も加点、減点の要素とします。 【レポートについて】 レポート課題は、授業で学んだ「概念」「用語」「理論」などを自分の経験に適用して理解を深めるものです。また、レポートは文字数そろえて提出すればよいというものではありません。基準に沿って評価しますので、要求を満たせないと低い点になる(さらに平常点が低いと単位を落とす)こともありえます。レポート課題についてその他具体的内容は学期中に説明、指示します。	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	<p>【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 学期を通じて文献を読み、リフレクションノートに記入してもらいます。 また、レポートのための文献探索やインタビュー調査も必要となる場合もあります。</p> <p>【履修上の注意・担当者からの一言】 【受講者をお願いしたいこと】 オンライン+対面という変わった形式です。特に対面授業日の日程に注意してください。対面授業日のグループワークに参加できない場合は、追加の課題を課すことがあります。</p> <p>「コミュニティ」という概念は多様で奥行きも深く、理解するのは容易ではありませんが、大学らしい挑戦的な学びを体験したい人にはお勧めです(難しいとはいえ、きちんと授業に参加してくれたら、単位はとれます)。</p> <p>この授業は1回生から4回生まで、そして他学科・他学部・(京都と滋賀の)他大学の学生にも開放していますから、背景、関心、知識、理解度が異なる多様な受講生が集まり、さらにアシスタント、ボランティア、ゲストも加わりま す。 それゆえに、講義を聞いて1人だけで学ぶのではなく、わかったこと、わからないことを共有し、参加者がお互いに 補い合って、他の受講生や授業参加者との協働を通じ、積極的に学ぶ場(それぞれコミュニティ)としての授業を一 緒に創り上げながら理解を進めます。</p> <p>そして、1つ、皆さんをお願いしたい(いや、約束してほしい)ことがあります。 それは、わからないことや困ったことがあったら、教員、アシスタントやボランティアに相談してください、というこ とです。 この授業は、オンラインを基本としながら対面も取り入れる「実験的」なこともやるので、授業の内容だけでなく、授 業の進め方について不明、不安なことがあれば、「こんなことを訊いていいのかわからないか？」などと思わず質問してくだ さい。 ということで、「わからなかったら質問する」と約束してください。</p> <p>【授業内容の変更について】 講義内容やレポートを含む課題、授業の進め方については、社会情勢やそれを踏まえた大学の方針、学生の理 解度や意向などにより、変更することがあります。 そうしたことが起きる際の基本的な方針として、変更に伴う受講生への不利益を可能な限り避けるため、①受講生 には事前にできるだけ早く変更を知らせる、②受講生の負担を理不尽に増やさない、ことを明確にしておきます。</p>			

【オフィスアワー・教員との連絡方法】
 毎週火曜日2講時をオフィスアワーとしています。その他、事前にアポイントメントで相談時間を設けます。
 資料配布や授業関連の連絡にはManaba、LINE、メール等を使います。
 これらのいずれかから連絡を受け取れるようにしておいてください。
 教員のメールアドレスは a17248@mail.ryukoku.ac.jp です。

<講義概要・到達目標>

【講義概要】

**** 重要 ****

この授業はオンラインの回と対面の回が混じるユニークな形式です。
 15回のうち10回がオンライン(オンデマンド)の講義形式、5回が対面のグループディスカッション中心の授業になります。
 対面の授業日は予め決まっています(下記「講義方法」参照)ので、必ず参加するようスケジュールしてください。

あなたにとって「コミュニティ」とは大事なものですか？それとも厄介なものですか？

この講義では、

- ・「コミュニティ」にまつわるさまざまな概念や理論、コミュニティをめぐる諸課題を学び、
- ・大学周辺の地域「コミュニティ」について調べ、学んだ概念・理論を適用してその理解を深め、
- ・これらの学習を通じて、今の時代に「コミュニティ」なるものがなぜ重要であると同時に厄介な存在であるのかを考察し、
- ・私たちは「コミュニティ」とどう生きていくべきなのかを考えていきます。

授業は指定テキストを読み進めながら展開し、教員の研究テーマで農業と福祉をつなぎコミュニティをつくる「農福連携」についてもとりあげます。

この授業には、教員のほか、アシスタントやボランティア、学内外のゲストが参加し、さまざまな形で受講生の皆さんの理解を促すよう働きかけてくれます。様々な人たちとのかかわりながら、積極的な学びの「コミュニティ」としての授業を自分たちで創り上げるつもりで授業に参加してください。

【到達目標】

- ・コミュニティに関して多様な概念や用語があり、そのうち基礎的なものを理解し、現実社会の理解に応用できる。
- ・なぜ「コミュニティ」が重視されるのか、批判的に理解し、自分の生き方に生かす心構えをもつ
- ・他の受講生やボランティア、自分のコミュニティの人々と協力し働く姿勢とスキルを身につける

【講義方法】

**** 重要 ****

対面の授業日は①10月8日、②10月29日、③11月19日、④12月10日、⑤1月14日です。これらの日には教室で授業に参加し、教科書やオンライン講義の内容についてグループで議論したり、課題をこなしてもらいます。ただし1月14日は、事前に連絡のあった場合のみオンラインでのグループワーク参加を認めます。

対面授業日以外はオンライン講義で火曜日4講時に配信します。講義録画はオンデマンドで視聴できます。

配信終了後おおむね1週間以内に、学んだことを要約してManabaに記入する課題があるほか、クイズ(小テスト)に答えてもらうことがあ

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	9月24日	(オンライン)ガイダンス テキスト「はじめに、第1章コミュニティから幸せを考える」
2	10月1日	(オンライン)テキスト「第2章 日本人の幸福感、第3章 助け合わない日本人」 【キーワード】コミュニティ、概念、幸福感、信頼
3	10月8日	(対面)グループワーク「シニアの地域ボランティア レイカディア大学の活動について」 【キーワード】ボランティア
4	10月15日	(オンライン)テキスト「第4章 ウチ・ソト文化」 【キーワード】ボランティア、ウチとソト
5	10月22日	(オンライン)テキスト「第5章 地域コミュニティ」 【キーワード】地域コミュニティ
6	10月29日	(対面)グループワーク「子供・若者の居場所」 テキスト「第6章 居場所を考える」 【キーワード】子ども、若者、居場所
7	11月5日	(オンライン)テキスト「第7章 インターネットとコミュニティ」 【キーワード】インターネットネットコミュニティ
8	11月12日	(オンライン)テキスト「第8章 当事者とコミュニティ」 【キーワード】子ども、若者、居場所
9	11月19日	(対面)グループワーク「LGBT」 【キーワード】当事者、LGBT
10	11月26日	(オンライン)テキスト「第9章 働くことを考える・社会的包摂」 【キーワード】社会的包摂
11	12月3日	(オンライン)テキスト「第10章 コミュニティとトラブル、排除」 【キーワード】排除、NIMBY

12	12月10日	(対面)グループワーク「社会的包摂と排除するコミュニティ」 【キーワード】排除、NIMBY
13	12月17日	(オンライン)テキスト「第11章 コミュニティづくり」 【キーワード】コミュニティづくり
14	1月7日	(オンライン)農福連携について 【キーワード】農福連携
15	1月14日	(対面+オンライン)グループワーク「コミュニティづくりと農福連携について」 【キーワード】コミュニティづくり、農福連携
<p><教科書・参考書></p> <p>【参考文献】 吉田行郷・里見喜久夫・季刊『コトノネ』編集部 『農福連携が農業と地域をおもしろくする』（株式会社コトノネ生活） (ISBN:9784907140) 指定テキストに加えて、別途関連文献資料を読んでもらうことがあります。</p> <p>【テキスト】 桜井政成 『コミュニティの幸福論—助け合うことの社会学—』（明石書店）(ISBN:9784750350899) 指定テキストは学期を通じて読んでもらいますので、必ず購入してください。</p>		

科目番号	63	科目名	社会貢献論			
英文科目名	Social Contributions					
大学・短期大学名	龍谷		大学			
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5					
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674		
担当教員	川中 大輔 (社会 学部 准教授)					
実施方法	②対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用					
教室名		会場	瀬田			
授業期間	2024 年 4 月 11 日 (木) ~ 2024 年 7 月 18 日 (木) <毎週 木曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30					
超過時の選考方法						
成績評価方法	定期試験 (筆記)				%	
	レポート試験 (期末)	60	【備考】 到達目標(1)(4)に対応して、授業内発表及び期末レポートにおける記述の厚さ、その問題の構造的理解の深度を評価する			%
	平常点 (出席・授業態度)	40	【備考】 到達目標(2)(3)に対応して、毎授業での「コミュニケーションシート」での授業内容の理解度や各自の見解の論理性／明確性を評価する。 【自由記載】 以下に該当した場合は原則不可とする。 1. 期末レポートを提出しなかった場合 2. 授業内発表を行わなかった場合 3. 出席回数が10回に満たなかった場合			%
	その他 ()					%
別途負担費用	なし		あり ()円			
その他特記事項	<p>【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 教室内でのワークがデータに裏付けられるものとなるよう、授業外に個々人で必要に応じた情報収集を行うこと。また、読書課題を出した場合は指定箇所を读了ること(各回所要時間:1.5時間)。</p> <p>【履修上の注意・担当者からの一言】 受講にあたって、事前に特別な知識や経験は求めない。ただし、グループワーク等の参加型の形式も用いて授業を進めていくため、積極的かつ協力的な参加と、自分の頭で考える力が求められる。また、教室内でのグループワークがデータに裏付けられるものとなるよう、授業外に個々人で若しくはグループで、必要に応じた情報収集が求められる。なお、参加型の授業では途中からの参加が難しいため、遅刻・欠席をしないよう、強く求めたい。</p> <p>【オフィスアワー・教員との連絡方法】 ・manaba掲示板やE-mail ・オフィスアワー(金曜日3限/6号館205研究室) ・コミュニケーションペーパー ・授業前後の学生との直接対話</p>					
<p><講義概要・到達目標> 【講義概要】 私たちの暮らしの中には、様々な困りごとや悩みごとが、それぞれに異なった形で生じている。自らの、或いは他者の「困りごとや悩みごと」を前にして、「何とかしたい」という気持ちが起こってくることも少なくない。みなさんもこれまで生きてきた中で、社会的な問題に対して「ほっといたらアカンのちゃうか…」と思ったことはないだろうか。例えば、大規模災害の際には、非常に多くの人々がそうした思いを胸に抱いて、寄付をしたり、被災地に駆けつけてボランティア活動を行うこととなる。また、そこまで強い動機を抱いていない場合でも、友人などに誘われて現場で活動している内に気がつけば「この問題を何とかした方がいいんじゃないのか」と思うこともあるだろう。</p>						

本講義では、このような思いを継続的な行動にうつす「アマチュアの市民」による社会貢献活動を中心に扱う。社会問題はプロフェッショナル(専門職)だけで解決されることはない。「何とかしたい」「ほっとけない」「社会のお役に立ちたい」…といった思いと何かしらの形で結びついた行動によって発揮される市民の力が求められる。では、市民はどのように社会貢献活動への歩みを踏み出せばいいのだろうか。社会貢献活動にはどのような広がりがあるのだろうか(企業による社会貢献も含む)。社会貢献活動は活動する市民に何をもたらすのだろうか。そもそも、「踏み出し」を支えているものは何だろうか。このような問いを手がかりに、社会貢献の学びを開いていく。

なお、本講義は教育やまちづくり等の複数分野のNPOでの実務経験を有する教員が担当しており、その経験を活かして、「現場」の動きの実際や最新動向も積極的に取り扱っていくこととする。

【到達目標】

- (1)社会貢献活動が求められている社会問題を自ら探索していこうとする姿勢を形成する。
- (2)市民の社会貢献活動の形態の多様性を理解する。
- (3)社会貢献活動に関わる「あり方」について自らの考えを明らかとする。
- (4)自らの社会問題意識を掘り起し、自発的な社会貢献活動に向けた素地を形成する。

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月11日	「コースオリエンテーション:どのような社会貢献を目指すのか？」 「社会貢献」に対する認識を共有した上で、本コースで目指す社会貢献の方向性を理解する。 【キーワード】 社会貢献、下からのイニシアティブ、活私開公
2	4月18日	「なぜ社会貢献をするのか？すすめるのか？(1)」 社会貢献の実践を概観しながら、社会にもたらすものを探る。 【キーワード】 自治、NPO、市民政治
3	4月25日	「なぜ社会貢献をするのか？すすめるのか？(2)」 社会貢献で活動している人の声に耳を傾け、社会貢献が人々にもたらすものを探る。 【キーワード】 学習／脱学習、人間交際関係の多様化
4	5月2日	「なぜ社会貢献をす 社会貢献の活動の特性を理論的に考察し、個人と社会にもたらすものを整理する。 【キーワード】 社会構成主義、バルネラビリティ、リゾーム
5	5月9日	「私の社会貢献が求められているフィールドとは？」 「幸せな社会」とは何かを考えた上で、私の生活から社会問題へのつながりを見いだす。 【キーワード】 幸福の加算、不幸の減算、不幸の三要件、アクティブ・ラーニング
6	5月16日	「取り組む問題の現場では何が起きているのか？」 自らが取り組む社会問題を巡る現在の動きを把握する問いを立て、同時にその現状に対する変革の目標を立てる。 【キーワード】 社会学の4つの問い、ミッション、ビジョンと成果目標、アクティブ・ラーニング

7	5月23日	<p>「問題のどこに斬り込む必要があるか？」(1) 自らが取り組む社会問題の原因と機会を分析する。</p> <p>【キーワード】 problem talk、solution talk、5W1H、アクティブ・ラーニング</p>
8	5月30日	<p>「問題のどこに斬り込む必要があるか？」(2) 自らが取り組む社会貢献活動の方向性を見いだす。</p> <p>【キーワード】 視野と視点、仮説、コンセプト、アクティブ・ラーニング</p>
9	6月6日	<p>「どのように社会貢献活動はデザインされているか？」 先駆的な社会貢献実践から社会問題解決の発想法について理解する。</p> <p>【キーワード】 「不」への着目、共創、環境デザイン</p>
10	6月13日	<p>「どのような社会貢献活動を行なうのか？」 自らが取り組む社会問題の解決アイデアを練る。</p> <p>【キーワード】 マーケティング分析、ポテンシャル分析、アイデアのつくり方、アクティブ・ラーニング</p>
11	6月20日	<p>「市民は国際問題にどう貢献しうるのか？」 国際協力分野の実践から世界市民としての活動について理解する。</p> <p>【キーワード】 国際福祉、国際貢献、世界市民</p>
12	6月27日	<p>「社会貢献活動プランを発表する！」 自らがデザインした社会貢献活動を発表する</p> <p>【キーワード】 交感と交響、アクティブ・ラーニング</p>
13	7月4日	<p>「社会貢献と経済をどうつなげるか？」 EU型社会的企業がつくりだす経済領域について学び、社会貢献と社会的連帯経済との結びつけ方を理解する。</p> <p>【キーワード】 社会的連帯経済、社会的企業、社会的包摂</p>
14	7月11日	<p>「社会貢献は市民だけが行なうものなのか？」 企業の社会貢献を巡る動向を理解する。</p> <p>【キーワード】 CSR、マルチステークホルダーエンゲージメント、プロボノ</p>
15	7月18日	<p>「総括：社会貢献の『これから』の課題は何か？」 社会貢献活動の過去と現在の動向を理解し、未来に向けてどのようなチャレンジが望まれているのかを理解する。</p> <p>【キーワード】 シティズンシップ、公共圏、市民社会、協働ガバナンス</p>

<教科書・参考書>

【参考文献】

加藤哲夫『市民の日本語』（ひつじ書房）
加藤哲夫『市民のネットワーク』（メディアデザイン）
J.リップナック+J.スタンプス『ネットワーク』（プレジデント社）
金子郁容『ボランティア』（岩波書店）
渥美公秀『ボランティアの知』（大阪大学出版会）
仁平典宏『「ボランティア」の誕生と終焉』（名古屋大学出版会）
桜井政成『コミュニティの幸福論』（明石書店）
宮垣元編『入門ソーシャルセクター』（ミネルヴァ書房）
西村仁志編『ソーシャル・イノベーションが拓く世界』（法律文化社）
笈裕介『ソーシャルデザイン実践ガイド』（英治出版）
笈裕介『持続可能な地域のつくり方』（英治出版）
ソーシャルデザイン会議実行委員会『希望をつくる仕事』（宣伝会議）
グリーンズ編『ソーシャルデザイン』（朝日出版社）
グリーンズ編『日本をソーシャルデザインする』（朝日出版社）
齋藤慎『世界をよくする簡単な100の方法』（講談社）
鬼丸昌也『僕が学んだゼロから始める世界の変え方』（扶桑社）
藤井敦史・原田晃樹・大高研道編『闘う社会的企業』（勁草書房）
谷本寛治編『ソーシャル・エンタープライズ』（中央経済社）
紫牟田伸子・フィルムアート社編『日本のシビック・エコノミー』（フィルムアート社）
関正雄『SDGs経営の時代に求められるCSRとは何か』（第一法規）
日本財団編『企業と震災』（木楽舎）
佐藤真久・関正雄・川北秀人編『SDGs時代のパートナーシップ』（学文社）
田中治彦・枝廣淳子・久保田崇編『SDGsとまちづくり』（学文社）
小崎哲哉・Think the Earth編『続・百年の愚行』（Think the Earth）
河合雅司『未来の年表2』（講談社現代新書）
その他、授業内に適宜紹介する。

【参考URL】

greenz.jp (<http://greenz.jp>)
NPO CROSS(日本NPOセンター) (<https://npocross.net/>)
Academic Research on Donations(日本寄付財団) (<https://nippon-donation.org/academic-research-on-donations/>)

科目番号	64	科目名	植物生理・生化学 I	
英文科目名	Plant Physiology and Biochemistry I			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	古本 強 (農 学部 教授)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名		会場		
授業期間	2024 年 9 月 25 日 (水) ~ 2025 年 1 月 15 日 (水) <毎週 水曜日> 1 時限・講時 9 : 15 ~ 10 : 45			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験 (筆記)	50	%	
	レポート試験 (期末)	20	%	
	平常点 (出席・授業態度)	15	%	
	その他 (小テスト)	15	%	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	<p>高校で生物学と化学を履修していない人は、講義に並行して生物学基礎の受講、高校生物、化学の自習を薦めます。</p> <p>授業の最後に、授業資料の視聴を確認するために実施するアンケートへの参加状況をもって出席とし、この評価をもって授業の2/3以上出席した者を最終評価の対象とします。</p>			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
<p>近年の分子生物学、細胞生物学、結晶構造学の急速な進展により、植物における多くの重要な生理生化学的現象が分子レベルで理解できるようになりました。本講義では、「生きている」ということを「(細胞の活動エネルギーとなる)ATPを生産できる」という観点から捉え、主に植物がどのようにATPを生産しているのかを中心に、細胞レベル・タンパク質レベル・分子レベルの複数のレベルで、多角度から解説します。</p> <p>最初に細胞構造を解説し、ついで、各種の代謝について基礎的な事項から解説し、後半では特に生命現象を示す分子レベルでの事象(タンパク質の構造変化と機能の相関)を中心に、代謝の制御機構に触れつつ、できるだけ平易に講述します。</p>				
【到達目標】				
<p>まず、全ての生命の最小単位である「細胞」を理解することを目指します。ついで、細胞機能を支える代謝や膜の機能を理解し、多くのタンパク質の機能やその調節機構を認識することで、生命現象が精緻で巧妙な分子機構に基づいていることを学びます。植物の基本機能である光合成や呼吸などの生化学的現象を分子レベルで説明できるようになることを目標とします。</p>				
【講義方法】				
<p>パワーポイントでの講義が中心です。必要最低限の資料はプリントアウトし、配布します。授業の振り返りをアンケートとして回収して、そのアンケートの中から理解が不足している点などを追加で説明するなど、十分に授業についてきているかをモニターしながら進めます。</p>				
【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】				
<p>配布プリントに必要事項を記入し、それを復習すること。復習の助けとして、講義動画を授業期間限定で公開します。質問はmanabaの公開期間に受け付けます。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9 月 25 日	ガイダンス 生理生化学とは		
2	10 月 2 日	代謝概論 各種反応論		
3	10 月 9 日	代謝研究法		
4	10 月 16 日	解糖系(1) グルコースからピルビン酸		
5	10 月 23 日	解糖系(2) ピルビン酸の行方		
6	10 月 30 日	電子伝達系と酸化的リン酸化		

7	11月6日	クエン酸回路と他の代謝とのつながり
8	11月13日	代謝の調節と制御
9	11月20日	光合成(1) 光受容
10	11月27日	光合成(2) 光化学系と電子伝達
11	12月4日	光合成(3) 炭素代謝
12	12月11日	光合成(4) C4光合成とCAM型光合成
13	12月18日	物質輸送 輸送タンパク質
14	1月8日	輸送タンパク質のエネルギー収支
15	1月15日	全体のまとめと展望

<教科書・参考書>

【教科書】

高橋裕一郎、園池公毅、古本強 『光合成』 (朝倉書店) 3,600円 (ISBN:9784254171761)
 高校での生物未履修者にも対応しますが、どうしても難易度が高くなる部分があります。高校生物の資料集や参考書を授業前に読み込んでおく予習を勧めます。オフィスアワーを利用して質問等を受け付けます。

【参考書】

三村徹郎、深城英弘、鶴見誠二 『植物生理学』 (化学同人) 3,400円 (ISBN:9784759819977)
 HansWater Heldt (金井龍二 訳) 『植物生化学』 (Springer) 8,600円 (ISBN:443170857X)
 D・サダヴァ 『大学生物学の教科書 第1巻 細胞生物学』 (Blue Backs) 1,300円 (ISBN:9784062576727)
 芦原坦・加藤美砂子 『代謝と生合成 30講』 (朝倉書店) 3,400円 (ISBN:978425417715)
 参考資料としてプリントを配布する。

科目番号	65	科目名	食の文化論	
英文科目名	Food Culture			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	尾崎 智子 (農 学部 講師)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名			会場	
授業期間	2024 年 4 月 9 日 (火) ~ 2024 年 7 月 23 日 (火) <毎週 火曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%
	レポート試験 (期末)	70		%
	平常点 (出席・授業態度)	30		%
	その他 ()			%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	特になし			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】 古代から近代までの日本の食文化とその変化について論じる。滋賀の食文化についても折にふれて論じたい。				
【到達目標】 1、日本史の流れに沿い、食文化の変容について具体的に理解する。 2、「食」をめぐる歴史について、探求心を持って課題設定をすることができる。 3、自ら発見した課題を論理的に分析し、考えを文章で表現できる。				
【講義方法】 毎回、パワーポイントや映像を用いながら講義を進める。 平常点および、中間テストと期末テストで評価を行う。				
【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 予習:高校の日本史の教科書を読む、あるいはインターネットで調べるなどしてそれぞれの時代のおおまかなイメージをつかむ。 復習:PowerPointを配布するのでそれをよく読み、毎回アンケートに回答する。授業中に紹介する文献等に触れ、理解を深める。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 9 日	イントロダクション 和食とは何か		
2	4 月 16 日	縄文時代の食		
3	4 月 23 日	弥生時代の食		
4	4 月 30 日	律令国家成立と食		
5	5 月 7 日	『枕草子』にみる平安時代の食		
6	5 月 14 日	鎌倉時代の食		
7	5 月 28 日	室町時代の食、「南蛮」からもたらされた食		
8	6 月 4 日	中間テスト		
9	6 月 11 日	戦国時代の新田開発、陣中食		
10	6 月 18 日	江戸の食生活 大名から庶民まで		
11	6 月 25 日	北前船からみる江戸時代の食、近江商人の活躍口		

12	7月2日	ペリー来航と洋食の流入
13	7月9日	洋食の定着と中華料理の流入
14	7月16日	戦争の時代の食
15	7月23日	講義のまとめ、期末テストの準備
<p><教科書・参考書></p> <p>【教科書】 特になし</p> <p>【参考書】 江原絢子編著、荒尾美代 [ほか] 著 『日本食の文化』（アイ・ケイコーポレーション）2,800円 (ISBN:9784874923757) 永山久夫、山本博文監修 『歴史ごはん 第3巻』（くもん出版）2,800円 (ISBN:9784774327747) 永山久夫、山本博文監修 『歴史ごはん 第2巻』（くもん出版）2,800円 (ISBN:9784774327747) 永山久夫、山本博文監修 『歴史ごはん 第1巻』（くもん出版）2,800円 (ISBN:9784774327730)</p>		